

2009 中野区 区民意識調査
《報告書》

2010 年（平成 22 年）3 月

中 野 区

はじめに

一昨年秋に始まった経済危機は、いまなお深刻な影響が続いています。景気回復の見通しは依然不透明であり、この経済危機による区財政への影響は極めて大きなものです。

しかし、このような厳しい財政環境の中でも、厳しさを増す区民の暮らしを支える事業は着実に遂行していかなければなりません。

中野区では、区民の生活に関する実態や意識を様々な観点から調査することにより、多様化する区民ニーズの把握・分析を行い、区の施策をすすめていくための基礎資料とすることを目的として、「中野区区民意識調査」を実施しています。

今年度は、「定住意向」「生活環境の満足度」「施策への要望」などの経年の調査項目のほか「仕事」や、平成18年に実施した「生活に対する満足度」についても再度調査を行いました。

また、昨年調査を行った「生活の安全（防災）」に引き続き、「生活の安全（防犯）」として、日頃行っている防犯対策や、区が取り組むべき防犯対策などについてもお聞きしました。

今回の調査結果は、区政運営の様々な場面で資料として活用してまいります。多くの皆さまにも参考としていただければ幸いです。

最後になりましたが、今回の調査の実施にあたり、ご協力いただきました区民並びに関係者の皆さまに、心からお礼を申し上げます。

2010年（平成22年）3月

中野区長 田中大輔

～ 目 次 ～

I	調査概要	3
II	回答者の属性	9
III	質問と回答	13
IV	結果と分析	27
1	定住意向	27
	(1) 居住年数.....	27
	(2) 定住意向.....	30
	(2-1) 転出理由.....	35
	(3) 居住形態.....	38
	(4) 床面積.....	40
2	生活環境の満足度	43
	(1) 生活環境の満足度.....	43
	(2) 近所づきあいの程度.....	48
3	生活の安全（防犯）	52
	(1) 犯罪などに対する不安.....	52
	(1-1) 日ごろの生活の中で感じる危険.....	55
	(2) 日ごろ行っている防犯対策.....	58
	(2-1) 防犯対策をはじめたきっかけ.....	60
	(3) 『まちの安全のための活動』への参加状況.....	61
	(3-1) 参加している『まちの安全のための活動』.....	63
	(3-2) 『まちの安全のための活動』への参加意向.....	64
	(3-3) 参加したい『まちの安全のための活動』.....	65
	(3-4) 参加したくない理由.....	66
	(4) 犯罪防止に有効な取組み.....	67
	(5) 区が取り組むべき防犯対策.....	68
4	仕事	71
	(1) 就労状況.....	71
	(1-1) 1日の勤務時間.....	73
	(1-2) 片道通勤時間.....	76
	(1-3) 仕事をする目的.....	77
	(1-4) 仕事を探し始めた理由.....	80
	(1-5) 仕事をしていない理由.....	81

5	生活に対する満足度	82
	(1) 生活に対する満足度.....	82
	(1-1) 生活に満足している理由.....	87
	(1-2) 不満を感じている理由.....	89
	(2) 今後の生活で重視したいこと.....	91
6	インターネットの利用状況	93
	(1) インターネットの利用状況.....	93
	(1-1) インターネットの利用機器.....	95
	(1-2) インターネットの利用時間.....	96
	(1-3) インターネットの利用目的.....	98
7	施策への要望	100
	(1) 区の施策への評価.....	100
	(2) 区の施策への要望.....	103
V	集計表	115

I 調査の概要

1 調査目的

広く区民を対象として、定住意向といった経年調査事項のほか、テーマ別調査を継続的に行うことにより、区民意識の変遷をとらえ、施策立案のための統計的・基礎資料とする。

2 調査の内容

- (1) 定住意向
- (2) 生活環境の満足度
- (3) 生活の安全（防犯）
- (4) 仕事
- (5) 生活に対する満足度
- (6) インターネットの利用状況
- (7) 施策への要望
- (8) フェイスシート

3 調査の設計

- (1) 対象地域 中野区全域
- (2) 調査対象 中野区民で20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 1,300人
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送配布・訪問回収
- (6) 調査期間 平成21年9月16日（水）～平成21年10月7日（水）
- (7) 調査機関 （株）アイ・アール・エス

4 回収結果

- (1) 標本数 1,300
- (2) 回収数 1,029 (79.2%)
- (3) 有効回収数 1,019 (78.4%)
- (4) 回収不能数 281 (21.6%)

回収不能数 理由の内訳

	転居	不在	住所不明	調査拒否	入院・死亡	その他	合計
件数	16件	128件	8件	94件	12件	23件	281件
(%)	(5.7)	(45.6)	(2.8)	(33.5)	(4.3)	(8.2)	(100.0)

※（ ）内の百分比は小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(5) 地域センター担当区域別調査区域図



地 域	20歳以上の人口	標本数	有効回収数	有効回収率
南 中 野	24,629	129	112	86.8%
弥 生 ・ 東 部	41,430	218	164	75.2%
鍋 横 ・ 桃 園	30,220	159	103	64.8%
昭 和 ・ 東 中 野	19,693	103	82	79.6%
上 高 田 ・ 新 井	25,198	133	103	77.4%
江 古 田 ・ 沼 袋	32,394	169	127	75.1%
野 方 ・ 大 和	34,093	178	140	78.7%
鷺 宮 ・ 上 鷺 宮	40,142	211	188	89.1%
計	247,799	1,300	1,019	78.4%

※20歳以上の人口は平成21年8月1日現在

(6) 地域センター担当区域一覧

地 域	担 当 町 丁
南中野	南台1～5丁目、弥生町1～2丁目の一部、弥生町3～6丁目
弥生・東部	弥生町1～2丁目の一部、本町1～3丁目、本町4丁目の一部、中央1～2丁目 中央3丁目の一部、東中野1～2丁目、中野1丁目の一部
鍋横・桃園	本町4丁目の一部、本町5～6丁目、中央3丁目の一部、中央4～5丁目 中野1丁目の一部、中野2～3丁目、中野4～5丁目の一部
昭和・東中野	東中野3～5丁目、中野5丁目の一部、中野6丁目、上高田1～2丁目の一部 新井1丁目の一部
上高田・新井	上高田1～2丁目の一部、上高田3～5丁目、中野4～5丁目の一部 新井1～3丁目の一部、新井4～5丁目
江古田・沼袋	松が丘1～2丁目、江原町1～3丁目、江古田1～4丁目、沼袋1～4丁目
野方・大和	中野4丁目の一部、新井2～3丁目の一部、丸山1丁目、丸山2丁目の一部 野方1～4丁目、野方5～6丁目の一部、大和町1～3丁目、大和町4丁目の一部 若宮1～2丁目の一部
鷺宮・上鷺宮	丸山2丁目の一部、野方5～6丁目の一部、大和町4丁目の一部、若宮1～2丁目 の一部、若宮3丁目、白鷺1～3丁目、鷺宮1～6丁目、上鷺宮1～5丁目

5 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、百分比の合計が100%に満たない、または上回る場合がある。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべて比率を合計すると100%を超えることがある。
- (3) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。
- (4) 集計は、すべて単純集計、必要に応じて属性別クロス集計を行った。また、分析の必要に応じて設問間クロス集計を行った。
- (5) 分析軸に使用した属性項目は、無回答を除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と一致しないことがある。また、設問間クロス集計についても、視点の明確化を図るため、必要選択肢にのみしぼって使用している場合があるため同様となっている。
- (6) グラフに表記されている「n=*」(*は数字)は、対象の母数を表している。
- (7) この調査の標本誤差は、おおよそ下表のとおりである。標本誤差は、次式によって得られ、①比率算出の基数(n)および②回答の比率(P)によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \quad \begin{array}{l} N = \text{母集団数} \\ n = \text{比率算出の基数 (回答者数)} \\ P = \text{回答の比率} \end{array}$$

(2段抽出)

回答の比率 (P) 基数(n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
1,019	±2.7%	±3.5%	±4.1%	±4.3%	±4.4%
800	±3.0%	±4.0%	±4.6%	±4.9%	±5.0%
600	±3.5%	±4.6%	±5.3%	±5.7%	±5.8%
400	±4.2%	±5.7%	±6.5%	±6.9%	±7.1%
200	±6.0%	±8.0%	±9.2%	±9.8%	±10.0%
100	±8.5%	±11.3%	±13.0%	±13.9%	±14.1%

(注) 1 表は $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として算出した。

2 この表の見方は次のとおりである。

「ある設問の回答者が1,019人であり、その設問中の選択肢の回答比率が70%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも4.1%である。」とみることができる。

II 回答者の属性

図1 性・年代別

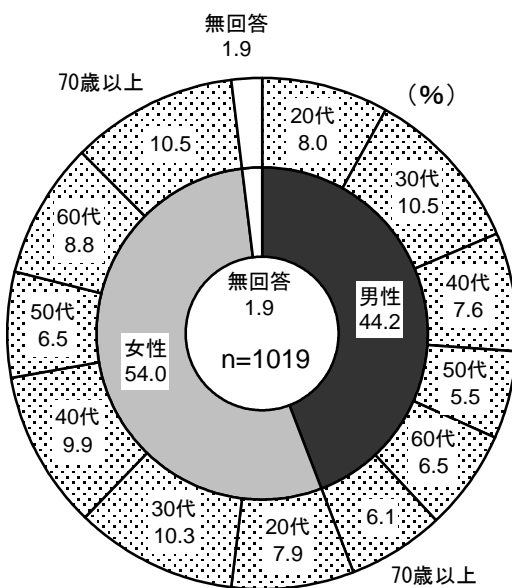


図2 年代別

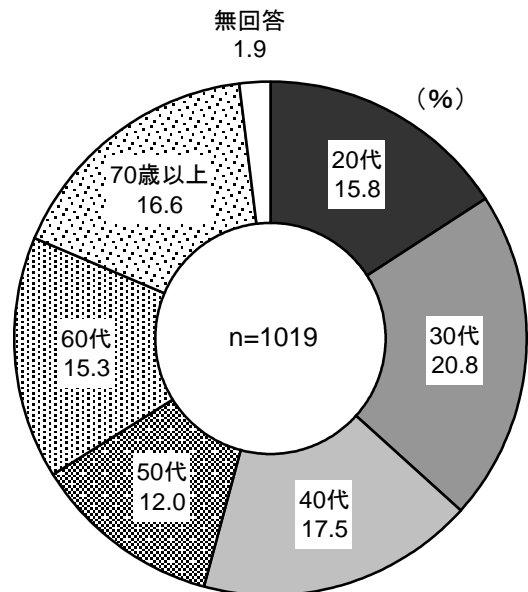


図3 母集団との比較 ー性・年代別ー

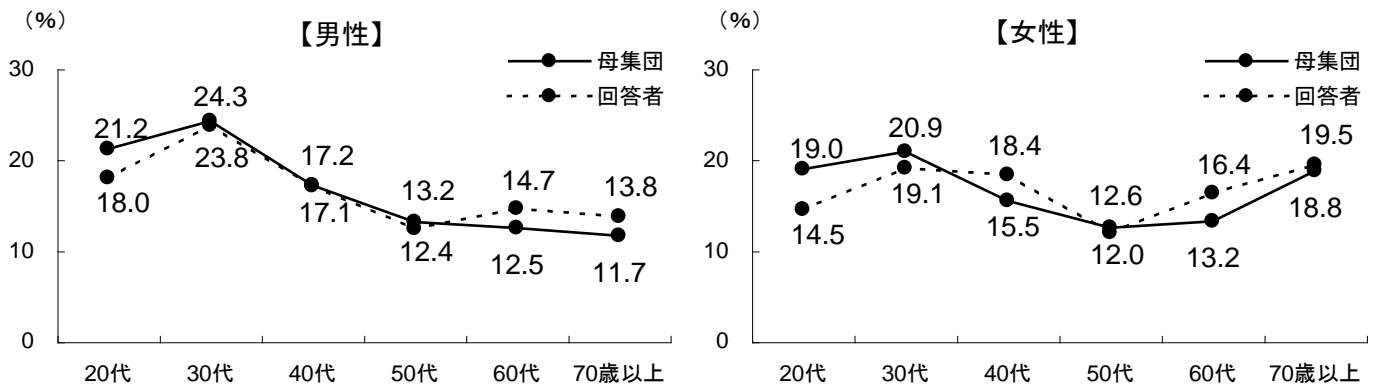


図4 職業

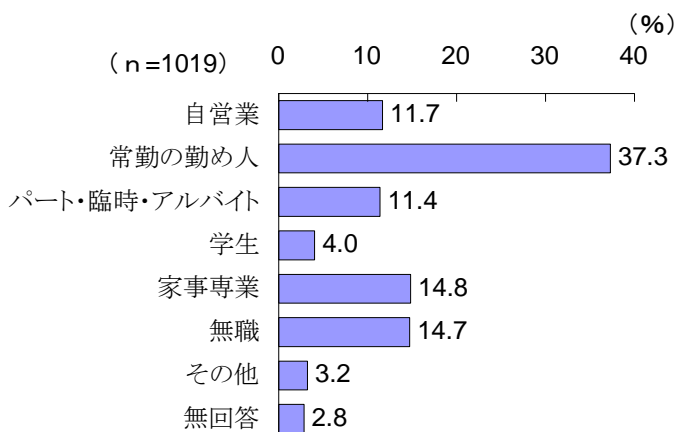


図5 通勤・通学先

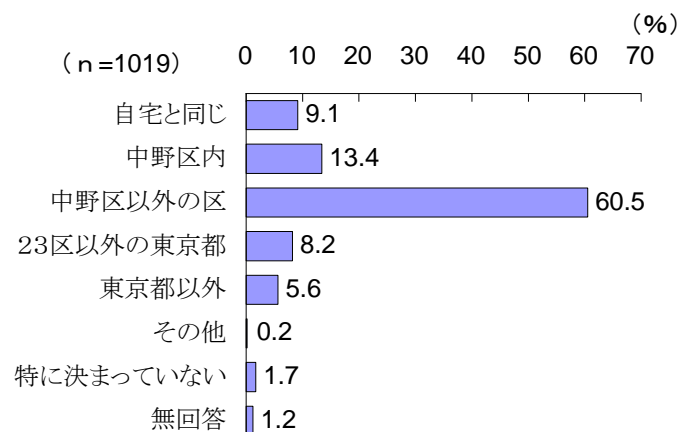


図6 世帯人員

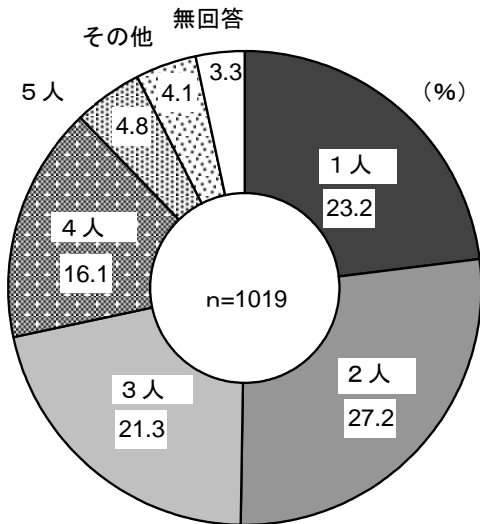


図7 家族形態

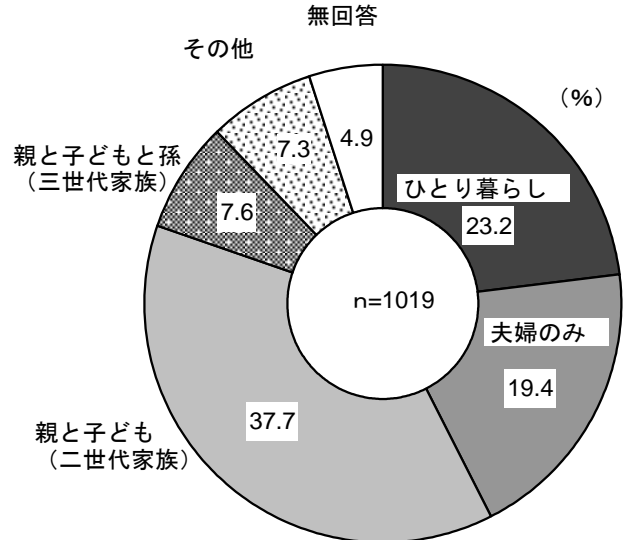


図8 ライフステージ

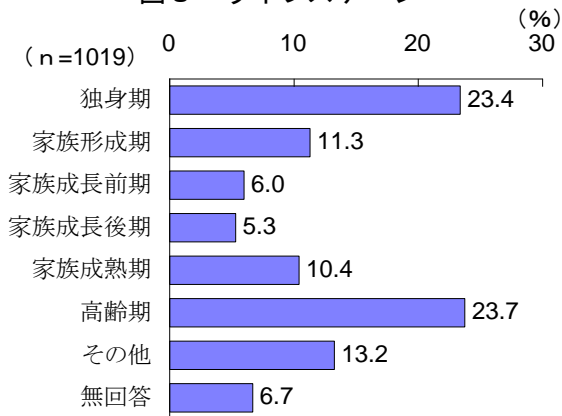
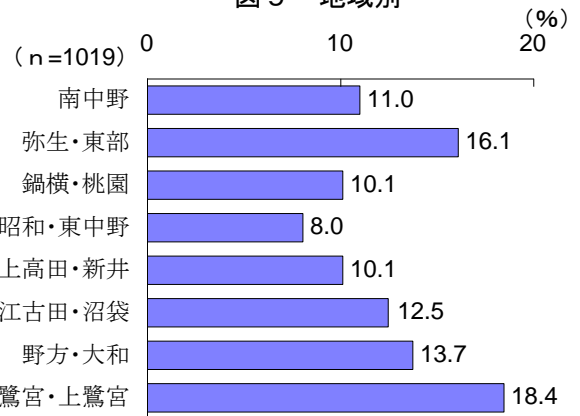


図9 地域別



独身期	→ 20・30代の独身
家族形成期	→ 20・30代で子どものいない夫婦、一番上の子どもが小学校入学前
家族成長前期	→ 一番上の子どもが小・中学生
家族成長後期	→ 一番上の子どもが高校・大学生
家族成熟期	→ 本人が64歳以下で、一番上の子どもが学校卒業
高齢期	→ 65歳以上
その他	→ 40～64歳で独身か夫婦のみ

図10 居住年数

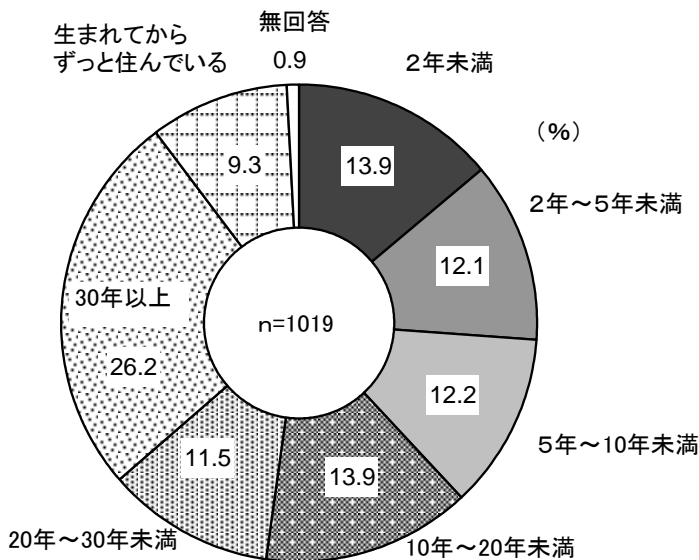
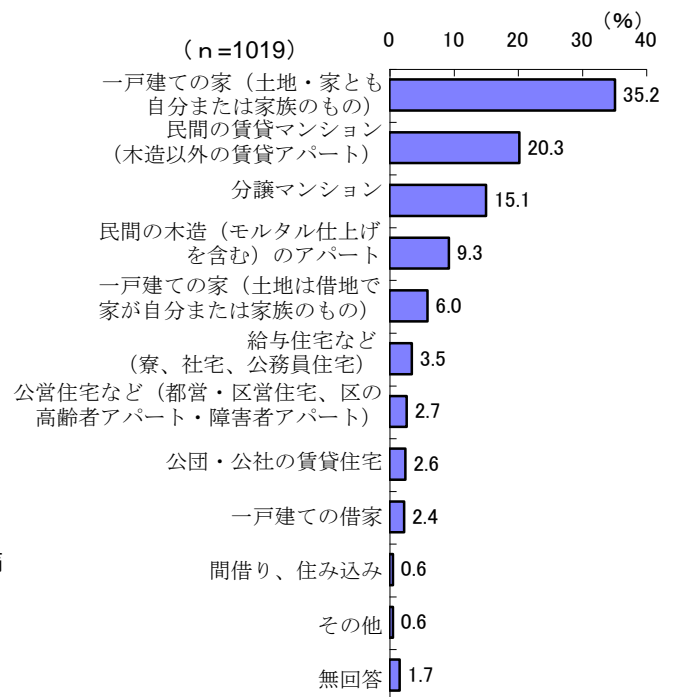


図11 居住形態



地区番号:

Ⅲ 質問と回答

2009中野区区民意識調査

皆様におかれましては、日ごろから区政の運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび中野区では、区民の皆様のお考えや、日常の生活実態などをお伺いし、今後の区政推進の基礎資料とすることを目的に、「中野区区民意識調査」を行うことといたしました。

今回の調査は、区内にお住まいの20歳以上の区民の皆様1,300人を対象に、「生活環境の満足度」「定住意向」「施策への要望」などについて実施します。

また、今回、あなた様にこの調査票をお送りしたのは、中野区民の中から統計的手法によって無作為に選ばせていただいた結果です。調査は無記名でお願いし、お答えいただいた内容は統計的数値としてまとめますので、個人のお名前や回答内容が外部に漏れるなど、ご迷惑をおかけすることはありません。お忙しいところ恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査の実施につきましては、世論調査の専門機関である「株式会社 アイ アール エス」に委託しております。調査内容や回収方法について、ご不明の点などがありましたら、下記までお問い合わせください。

平成21年9月

中野区政策室調査研究分野統計調査担当

☆ご記入にあたってのお願い

- ◇ 調査票は、あて名のご本人がご記入ください。
- ◇ 濃いえんぴつ、ボールペンまたは万年筆でご記入ください。
- ◇ お答えは、あてはまる回答の番号に○を付けてください。なお、複数回答もごございますので、○は（ ）の中に指定した個数まで付けてください。
- ◇ お答えの中で「その他」を選んだときは、その内容をできるだけ具体的に（ ）の中にご記入ください。

ご記入後、本調査票は、お手元で保管してください。

9月16日～10月7日までの間に、調査員が調査票をいただきにまいりますので、その際にお渡しくださいますようお願いいたします。なお、郵送による回答をご希望の方は、返信用封筒（中野区役所担当宛）をお届けしますので、株式会社 アイ アール エス までご連絡ください。

<問い合わせ先>

調査内容については： 中野区政策室調査研究分野統計調査担当
〒164-8501 中野区中野四丁目8番1号
電話 03-3228-8892（直通）

回収については： 委託先：株式会社 アイ アール エス
渋谷区千駄ヶ谷五丁目16番11号 代々木ビル3F
電話 03-3357-7181（担当：村岡・池田）
（受付時間 土・日・祝日を除く 9:30～18:00）

※「地区番号」について

調査票右上の番号は、お住まいの地域に該当する01～15の番号です。統計的数値として処理し、個人を特定するものではありませんので、ご理解ください。

1 定住意向

問1 あなたは、中野区にお住まいになって何年になりますか。(1つに○) n=1019

1	2年未満	13.9%	5	20年～30年未満	11.5
2	2年～5年未満	12.1	6	30年以上	26.2
3	5年～10年未満	12.2	7	生まれてからずっと住んでいる	9.3
4	10年～20年未満	13.9		無回答	0.9

問2 これからも引き続いて中野区にお住まいになりますか。(1つに○) n=1019

問3へ	1	ずっと住み続けるつもり	32.8%	4	近いうち転出するつもり	2.5
	2	今のところは住み続けるつもり	42.6	5	わからない----> 問3へ	8.2
	3	いずれ転出するつもり	11.4		無回答	2.6

【問2で「3 いずれ転出するつもり」「4 近いうち転出するつもり」と答えた方に伺います】

問2-1 中野区から転出する理由は何ですか。(いくつでも○) n=141

1	自分の結婚、学業、仕事などの都合のため	48.2%	7	現在の住宅の広さに不満があるため	9.9
2	家族の結婚、仕事などの都合のため	9.9	8	現在の住宅が古くなったから	7.1
3	子どもの誕生や成長、教育のため	5.0	9	持家を取得するため	14.2
4	親や子ども、友人などとの同居・別居のため	7.8	10	現在の住宅の家賃やローンが高いから	5.0
5	賃貸借契約等の期限切れ、家主からの立退き要求などのため	5.0	11	現在の住宅は通勤・通学に不便だから	0.7
6	現在の住宅の周りの環境に不満があるため	7.1	12	その他	8.5
				無回答	-

問3 現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。(1つに○) n=1019

1	一戸建ての家(土地・家とも自分または家族のもの)	35.2%
2	一戸建ての家(土地は借地で家が自分または家族のもの)	6.0
3	一戸建ての借家	2.4
4	分譲マンション	15.1
5	民間の賃貸マンション(木造以外の賃貸アパート)	20.3
6	民間の木造(モルタル仕上げを含む)のアパート	9.3
7	公団・公社の賃貸住宅	2.6
8	公営住宅など(都営・区営住宅、区の高齢者アパート・障害者アパート)	2.7
9	給与住宅など(寮、社宅、公務員住宅)	3.5
10	間借り、住み込み	0.6
11	その他	0.6
	無回答	1.7

問4 現在お住まいの床面積の合計は、この中のどれにあたりますか。(床面積には、居住室のほか、玄関・台所・トイレ・浴室・廊下・押入れなども含みます。)(1つに○) [参考 6畳=9.9㎡]

n=1019

1	2.5㎡未満	13.2%	5	5.0～7.5㎡未満	21.9
2	2.5～3.0㎡未満	8.1	6	7.5～9.5㎡未満	11.1
3	3.0～4.0㎡未満	10.8	7	9.5㎡以上	18.9
4	4.0～5.0㎡未満	10.1		無回答	5.8

2 生活環境の満足度

問5 あなたは、自宅周辺の生活環境についてどのように感じていますか。項目ごとにお答えください。(それぞれ1つずつ○)

n=1019

	良い	どちらかといえば良い	どちらかといえば悪い	悪い	無回答
(ア) 交通の便	61.1%	30.1	6.5	1.1	1.2
(イ) 買い物の便	45.2	37.1	12.9	3.1	1.7
(ウ) みどりの豊かさ	14.8	39.6	30.5	12.3	2.7
(エ) 公園や広場	13.8	37.7	32.2	13.2	3.0
(オ) 近所付き合い	13.0	44.1	27.5	13.0	2.6
(カ) 交通の安全性	18.0	47.6	25.4	6.0	3.0
(キ) 災害時の安全性	8.5	43.1	33.2	11.1	4.1
(ク) 風紀や治安	15.1	57.0	19.9	4.1	3.8
(ケ) 景観や街並み	8.8	51.4	30.7	5.9	3.1
(コ) 騒音や大気汚染	11.5	43.0	30.0	12.8	2.7
(サ) ごみ出しやリサイクル	21.0	57.8	14.9	4.0	2.3
(シ) 全体としての住みやすさ	24.0	64.6	8.2	0.9	2.3

問6 あなたは、隣近所の方々とどのようにお付き合いをされていますか。(1つに○)

n=1019

1	家族ぐるみで親しくしているところがある	9.8%	4	会えばあいさつをする程度	45.9
2	困った時に協力しているところがある	10.4	5	ほとんど付き合いはない	15.0
3	ときどき世間話をする程度	16.5	6	その他	0.5
				無回答	1.9

3 生活の安全（防犯）

問7 あなたは日ごろの生活の中で、犯罪などにより安全を脅かされる不安を感じることがありますか。
(1つに○) n=1019

1 よく感じる	2.7%	4 あまり感じない	39.4
2 ときどき感じる	27.2	5 感じない	10.9
3 どちらともいえない	15.8	無回答	4.0

【問7で「1 よく感じる」「2 ときどき感じる」と答えた方に伺います】

問7-1 日ごろの生活の中で感じる犯罪などの危険は、どのようなものですか。(いくつでも○)

n=305

1 ひったくりや車上ねらい	41.0%	5 痴漢や不審者の出没	49.5
2 空き巣	59.3	6 自転車の盗難	27.9
3 振り込め詐欺	14.8	7 落書きなどの器物損壊	24.6
4 不審者による子どもへの声かけ	19.0	8 その他	13.4
		無回答	1.3

問8 あなたが日ごろ行なっている防犯対策は何ですか。(いくつでも○) n=1019

1 ひったくり防止ネットを使用している	10.5%	6 車内に貴重品やカバン等を置かないようにしている	29.9
2 防犯ブザーなどの防犯用品を携帯している	3.1	7 道を歩く時はバッグなどを扉や建物等の壁側に持つようにしている	31.8
3 玄関等に防犯カメラやセンサー等の機器を設置している	12.6	8 ドアや窓には2つ以上の鍵をつけている	23.6
4 回覧や街頭などで配られているチラシに目を通して	33.7	9 自転車には2つ以上の鍵をつけている	4.6
5 ごみ出しの時も鍵をかけている	25.6	10 その他	1.4
		11 特にない	20.0
		無回答	3.5

【問8で「1」～「10」と答えた方に伺います】

問8-1 あなたが防犯対策をはじめたきっかけは何ですか。(1つに○) n=779

1 治安が悪いと感じたから	18.4%	4 区や警察の広報を見たり、指導を受けたから	27.6
2 自分や家族、知人が被害にあった(あいさうになった)から	23.1	5 その他	13.2
3 色々な防犯機器があるのを知ったから	6.7	無回答	11.0

問9 あなたは町会・自治会やPTAなどの地域団体が行うまちの安全のための活動に参加していますか。(1つに○) n=1019

1 参加している →問9-1へ	8.1%	2 参加していない →問9-2へ	88.4
		無回答	3.4

【問9で「1 参加している」と答えた方に伺います】

問9-1 あなたはどのような活動に参加していますか。(いくつでも○) n=83

1 地域の防犯パトロール	45.8%	4 通学路で子どもの安全を見守る活動	34.9
2 危険箇所の点検活動	8.4	5 防犯に関する知識を地域に普及する活動	8.4
3 防犯マップの作成	3.6	6 その他	18.1
		無回答	4.8

【問9で「2 参加していない」と答えた方に伺います】

問9-2 あなたは町会・自治会やPTAなどの地域団体が行うまちの安全のための活動に参加したいと思いませんか。 n=901

1 積極的に参加したい	1.3%	3 あまり参加したくない	50.5
2 誘われれば参加したい	24.4	4 参加したくない	19.6
		無回答	4.1

▶問9-4へ

【問9-2で「1 積極的に参加したい」「2 誘われれば参加したい」と答えた方に伺います】

問9-3 あなたはどのような活動に参加したいと思いませんか。(いくつでも○) n=232

1 地域の防犯パトロール	37.5%	4 通学路で子どもの安全を見守る活動	34.1
2 危険箇所の点検活動	31.0	5 防犯に関する知識を地域に普及する活動	27.2
3 防犯マップの作成	16.8	6 その他	1.7
		無回答	5.2

【問9-2で「3 あまり参加したくない」「4 参加したくない」と答えた方に伺います】

問9-4 参加したくない理由は何ですか。(1つに○) n=632

1 防犯活動に関心がないから	7.1%	3 危険な目に遭うかもしれないから	3.5%
2 忙しくて時間がないから	72.5%	4 その他	15.3%
		無回答	1.6%

問10 あなたのお住まいの地域で、犯罪を未然に防止するためには、どのような取組みが有効だと思いますか。(2つまで○) n=1019

1 犯罪情報の提供	30.6%	8 一人暮らし高齢者への個別訪問による	
2 防犯ポスターなどの掲示	7.8	防犯指導	13.0
3 地域の防犯パトロールの強化	45.2	9 子どもの安全確保のための取り組みの	
4 街頭でのチラシ配布などの広報	1.8	強化(防犯ブザーの携帯等)	13.9
5 区内企業などによる防犯協力	4.3	10 その他	3.0
6 防犯のための講習会の開催	1.6	11 特にない	3.4
7 街灯の明るさの確保による防犯	48.8	無回答	3.4

問11 あなたは区が取り組むべき最も重要な防犯対策は何だと思えますか。(1つに○)

n=1019

1 防犯パトロールカーによる区内巡回	34.5%	5 防犯資器材の携帯など子どもの安全確保	3.4
2 地域の防犯団体への支援	3.8	6 地域や警察との連携の強化	23.5
3 施設・設備の整備など犯罪に強い環境づくり	15.7	7 その他	1.8
4 犯罪や防犯情報の発信	8.8	8 特にない	3.4
		無回答	5.0

4 仕事

※以下の設問での「仕事」とは収入を伴うものをいい、自家営業の手伝いや内職も含みます。

問12 あなたはこの1週間に、仕事をしましたか。(1つに○)

問12-4へ

n=1019

1 主に仕事をしていました	55.7%	4 仕事を探していた	2.8
2 通学のかたわらに仕事をしていました	1.5	5 仕事はしていなかった	28.4
3 家事などのかたわらに仕事をしていました	7.0	無回答	4.6

【問12で「1」～「3」と答えた方に伺います】

問12-1 あなたのふだんの1日の勤務時間はおよそ何時間ですか。残業時間を含めてお答えください。(1つに○)

n=654

1 4時間未満	4.4%	4 8時間～10時間未満	36.9
2 4時間～6時間未満	9.5	5 10時間以上	20.8
3 6時間～8時間未満	19.6	6 日によって大きく異なる	7.5
		無回答	1.4

【問12で「1」～「3」と答えた方に伺います】

問12-2 あなたのふだんの片道通勤時間はおよそ何時間ですか。(1つに○)

n=654

1 1時間未満	73.5%	4 3時間以上	0.2
2 1時間～2時間未満	9.2	5 日によって大きく異なる	3.1
3 2時間～3時間未満	0.2	無回答	5.0

【問12で「1」～「3」と答えた方に伺います】

問12-3 あなたが仕事をしている目的はなんですか。(あなたの考えに近いもの1つに○)

n=654

1 お金を得るため	60.1%	4 生きがいを見つけるため	3.5
2 社会の一員として、務めを果たすため	9.9	5 その他	3.8
3 自分の才能や能力を発揮するため	9.9	6 わからない	0.6
		無回答	12.1

【問12で「4 仕事を探していた」と答えた方に伺います】

問12-4 あなたが仕事を探し始めた理由は何ですか。(1つに○)

n=29

1	定年または雇用契約の満了	13.8%	4	学校を卒業したから	13.8
2	勤め先や事業の都合	20.7	5	収入を得る必要が生じたから	27.6
3	自分や家族の都合	20.7	6	その他	3.4
				無回答	-

【問12で「5 仕事はしていなかった」と答えた方に伺います】

問12-5 あなたが仕事をしていなかった理由はこの中のどれにあたりますか。(1つに○)

n=289

1	学生	6.2%	5	趣味や生きがいのために時間を使い	
2	家事専業	39.1		たいから	8.3
3	健康上の理由から	14.5	6	その他	21.5
4	経済的に仕事をする必要がないから	4.5		無回答	5.9

5 生活に対する満足度

問13 あなたは、現在の生活に満足していますか、満足していませんか。(1つに○)

n=1019

1	満足している	14.8%	5	どちらともいえない	5.1
2	まあ満足している	50.0	6	わからない	0.8
3	やや不満だ	17.8		無回答	2.9
4	不満だ	8.6			

問13-2へ

問14へ

【問13で「1 満足している」「2 まあ満足している」と答えた方に伺います】

問13-1 どのような理由で満足していますか。(いくつでも○)

n=660

1	健康であるから	74.4%	9	仕事や勉強がうまくいっているから	
2	衣生活が豊かだから	21.1			18.6
3	食生活が豊かだから	30.0	10	趣味、教養の時間が十分とれて	
4	住生活が豊かだから	25.8		充実しているから	21.5
5	家族との生活が充実しているから	51.4	11	家具、車など耐久消費財が	
6	友人、知人との人間関係が			そろっているから	8.9
	充実しているから	41.2	12	収入や貯蓄など金銭面が	
7	地域活動やボランティア活動などで			満たされているから	12.3
	社会に貢献しているから	4.5	13	悩みや心配ごとがないから	10.2
8	スポーツやレジャー活動が		14	その他	2.4
	充実しているから	11.2	15	わからない	1.7
				無回答	0.9

【問13で「3 やや不満だ」「4 不満だ」と答えた方に伺います】

問13-2 どのような理由で不満と感じていますか。(いくつでも○)

n=269

1 健康でないから	23.0%	9 仕事や勉強がうまくいっていないから	
2 衣生活が不十分だから	6.3		13.8
3 食生活が不十分だから	8.2	10 趣味、教養の時間が十分にとれないから	
4 住生活が不十分だから	24.9		23.4
5 家族との生活がうまくいっていないから	2.6	11 家具、車など欲しいものが買えないから	
			14.5
6 友人、知人との人間関係がうまくいっていないから	3.3	12 収入や貯蓄など、金銭面が満たされていないから	
			66.2
7 社会に貢献しているという充実感が ないから	11.2	13 悩みや心配ごとがあるから	
			28.3
8 スポーツやレジャー活動が思うように できないから	15.6	14 その他	
			8.2
		15 わからない	
			0.4
		無回答	
			3.0

問14 あなたは今後の生活において、何を重視していきたいと思えますか。重要と思うものを3つ以内で選び、1位から3位までの順位をつけて、それぞれの番号を口内に1つずつ記入してください。

n=1019

	第1位	第2位	第3位
1 健康	61.7%	16.7	6.7
2 家庭	18.4	38.7	5.6
3 友人・知人との人間関係	2.8	12.9	23.0
4 地域活動やボランティア活動	0.3	0.8	2.3
5 仕事	5.7	10.3	18.1
6 趣味や教養、スポーツ、レジャー	2.6	7.7	21.6
7 貯蓄や投資	2.5	5.1	10.2
8 その他	0.3	0.7	0.8
9 わからない	0.6	0.3	1.5
無回答	5.0	7.0	10.4

6 インターネットの利用状況

問15 現在、あなたは、仕事以外でインターネットを利用していますか。(1つに○) n=1019

1 利用している	60.8%	2 利用していない →問16へ	34.2
		無回答	4.9

【問15で「1 利用している」に○をした方に伺います】

問15-1 あなたはふだんどのような機器でインターネットを利用していますか。(いくつでも○) n=620

1 パソコンで利用している	93.9%	4 ゲーム機で利用している	4.8
2 携帯電話やPHSで利用している	53.4	5 PDA（携帯情報端末）で	
3 区立施設に設置した区民公開用		利用している	2.1
インターネット端末で利用している	0.5	6 その他	-
		無回答	0.3

【問15で「1 利用している」に○をした方に伺います】

問15-2 あなたはふだん1日におよそ何時間インターネットを利用していますか。(1つに○) n=620

1 30分未満	24.0%	4 3時間～5時間未満	6.5
2 30分～1時間未満	32.9	5 5時間以上	4.7
3 1時間～3時間未満	28.2	6 わからない	2.9
		無回答	0.8

【問15で「1 利用している」に○をした方に伺います】

問15-3 あなたがインターネットを利用する目的は何ですか。(いくつでも○) n=620

1 ホームページからの情報収集	90.2%	8 有料で提供されている情報の利用	5.0
2 電子メールのやりとり	64.7	9 飛行機や列車、ホテルなどの予約	33.2
3 チャットや掲示板サービス・SNS※	17.4	10 金融機関や証券会社などとの取引	13.7
4 インターネットを使った電話サービス		11 ホームページやブログの作成及び公開	10.0
(IP電話、テレビ電話など)	6.6	12 オンラインゲーム	7.7
5 書籍や衣類、チケットなど商品の		13 国や地方自治体への電子申請	3.4
購入・予約	39.8	14 地図情報の利用	41.0
6 オークションでの商品の売買	16.8	15 その他	2.7
7 音楽や映画、写真・動画などの		無回答	0.6
電子データの購入や鑑賞	24.8		

※SNS…人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型の会員制Webサイト

7 施策への要望

問16 つぎにあげる施策の中で、中野区が力を入れていると評価できるものを3つ以内で選び、番号を□内に記入してください。

また、今後特に力を入れてほしいものを3つ以内で選び、第1位から第3位までの順位をつけて、それぞれの番号を□内に1つずつ記入してください。

n=1019

	力を入れていると 評価できるもの	今後特に力を入れてほしいもの		
		第1位	第2位	第3位
1 平和	6.2%	1.7	0.5	0.7
2 人権	1.7	0.4	0.3	0.4
3 国際化	1.9	0.5	0.8	0.8
4 情報化（IT）の推進	2.0	2.1	0.7	0.4
5 防災	11.3	8.0	5.4	3.8
6 防犯	11.6	11.1	9.8	7.1
7 地域・自治活動	10.8	0.5	0.4	1.6
8 産業振興	4.7	3.4	2.5	3.1
9 消費者支援	1.5	1.2	1.6	1.4
10 環境改善	3.9	2.6	4.6	3.1
11 ごみ対策	34.2	2.4	3.6	3.6
12 子育て支援	5.4	8.1	4.1	2.6
13 子ども育成	4.1	1.7	5.5	2.6
14 男女平等	0.5	-	0.3	0.3
15 健康	10.8	4.1	4.1	4.3
16 公衆衛生	3.1	1.3	2.6	3.4
17 高齢者福祉	10.6	12.1	7.2	6.5
18 障害者福祉	3.8	1.6	2.8	1.9
19 低所得者支援	2.2	2.5	2.9	3.4
20 道路・交通	14.4	5.0	6.9	6.1
21 みどり・公園	10.9	6.3	7.5	7.7
22 住宅・まちづくり	1.2	2.1	3.4	4.1
23 駅前などの重点まちづくり	9.9	3.1	2.1	4.1
24 学校教育	2.4	2.6	2.4	4.2
25 文化・スポーツ	6.3	1.2	1.6	2.5
26 その他	0.6	1.0	0.7	0.2
27 特にない	11.0	1.4	-	0.3
無回答	21.0	12.3	15.8	19.9

8 フェイスシート

統計的に処理するために、あなた自身とご家族についてお聞きします。

F 1 あなたの性別はどちらですか。 n=1019

1 男	44.2%	2 女	54.0
		無回答	1.9

F 2 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。 n=1019

1 20～24歳	6.4%	6 45～49歳	8.9	11 70～74歳	5.2
2 25～29歳	9.5	7 50～54歳	5.2	12 75～79歳	4.6
3 30～34歳	11.4	8 55～59歳	6.8	13 80～84歳	4.0
4 35～39歳	9.4	9 60～64歳	8.3	14 85～89歳	2.1
5 40～44歳	8.6	10 65～69歳	7.1	15 90歳以上	0.8
				無回答	1.7

F 3 あなたのご職業は、次のどれにあたりますか。(主なもの1つに○) n=1019

1 自営業	11.7%	5 家事専業	14.8
2 常勤の勤め人	37.3	6 無職	14.7
3 パート・臨時・アルバイト	11.4	7 その他	3.2
4 学生	4.0	無回答	2.8

↓
【F 3で「1」～「4」に○をした方に伺います】

F 4へ

F 3-1 勤務先または通学先は、どちらですか。(1つに○) n=656

1 自宅と同じ	9.1%	5 東京都以外	5.6
2 中野区内	13.4	6 その他	0.2
3 中野区以外の区	60.5	7 特に決まっていない	1.7
4 23区以外の東京都	8.2	無回答	1.2

F 4 あなたに配偶者はいらっしゃいますか(届け出の有無に関係なく)。(1つに○) n=1019

1 はい	52.3%	2 いいえ	44.4
		無回答	3.3

F 5 あなたにお子さんはいらっしゃいますか(同居・別居を問わない)。(1つに○) n=1019

1 はい	50.5%	2 いいえ	46.0
		無回答	3.4

【F 5で「1 はい」に○をした方に伺います】

F 5-1 一番上のお子さんは、次のどれにあたりますか。(1つに○) n=515

1 就学前	12.6%	4 高校生	4.3	7 仕事をしている	48.2
2 小学生	8.0	5 短大・専門学校生	1.0	8 その他	14.6
3 中学生	4.3	6 大学生・大学院生	5.4	無回答	1.7

F 6 現在、いっしょにお住まいのご家族は、あなたを含め、何人ですか。(1つに○) n=1019

1 1人	23.2%	4 4人	16.1
2 2人	27.2	5 5人	4.8
3 3人	21.3	6 その他	4.1
		無回答	2.1

【F 6で「2」～「6」に○をした方に伺います】

F 6-1 いっしょにお住まいのご家族は、あなたを含め、次のどれにあたりますか。(1つに○) n=749

1 夫婦のみ	26.4%	3 親と子どもと孫(三世代家族)	10.3
2 親と子ども(二世代家族)	51.3	4 その他	9.9
		無回答	2.1

これで調査は終了です。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

なお、この調査の集計結果(概要)は、平成22年3月に区報とホームページでお知らせする予定です。

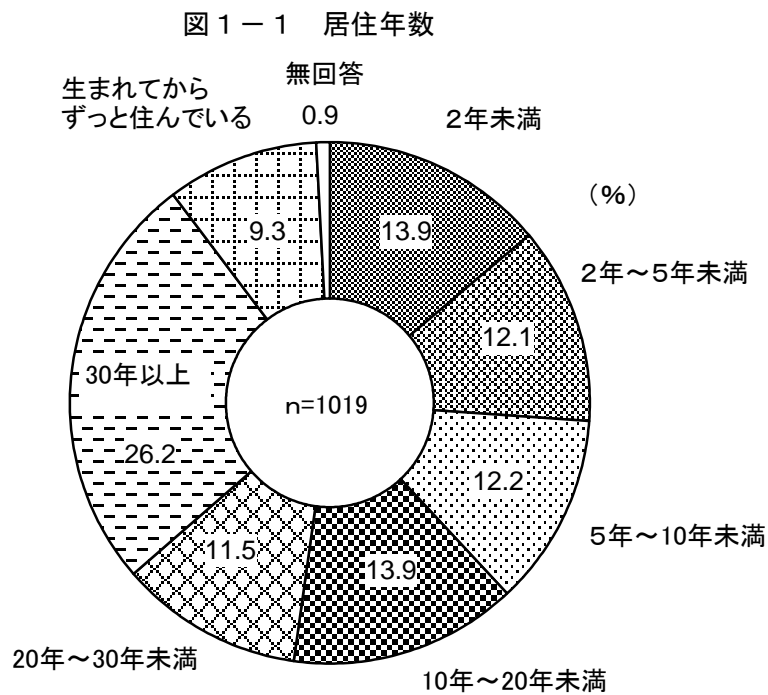
IV 結果と分析

1 定住意向

(1) 居住年数

◇『20年以上住んでいる』人が半数近く

問1 あなたは、中野区にお住まいになって何年になりますか。(1つに○)

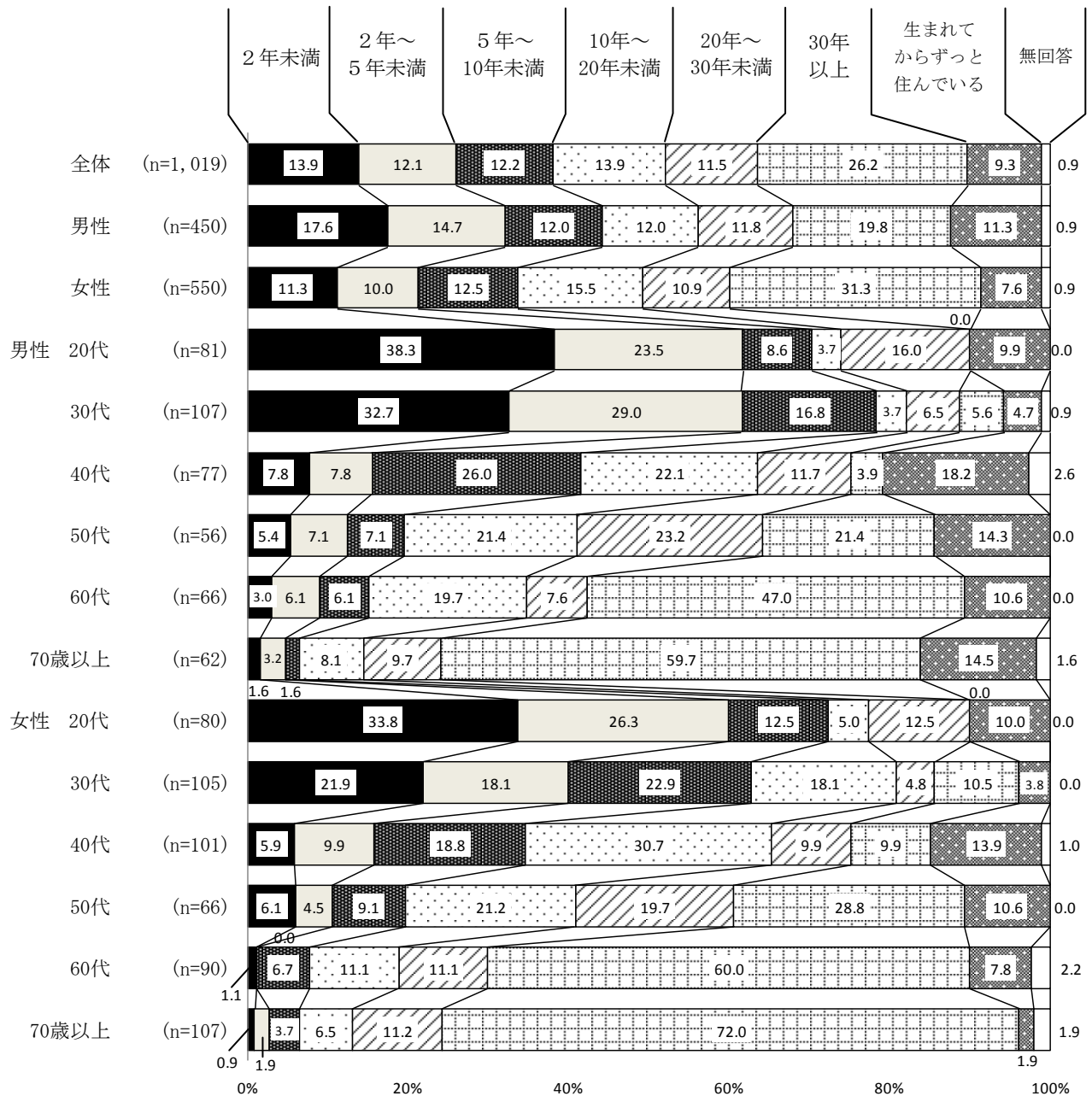


居住年数を聞いたところ、「20年～30年未満」、「30年以上」、「生まれてからずっと住んでいる」を合計した『20年以上住んでいる』が半数近くにのぼっている。(図1-1)

性別でみると、『5年未満』は、男性の方が高くなっており、「30年以上」では女性の方が高くなって
いる。

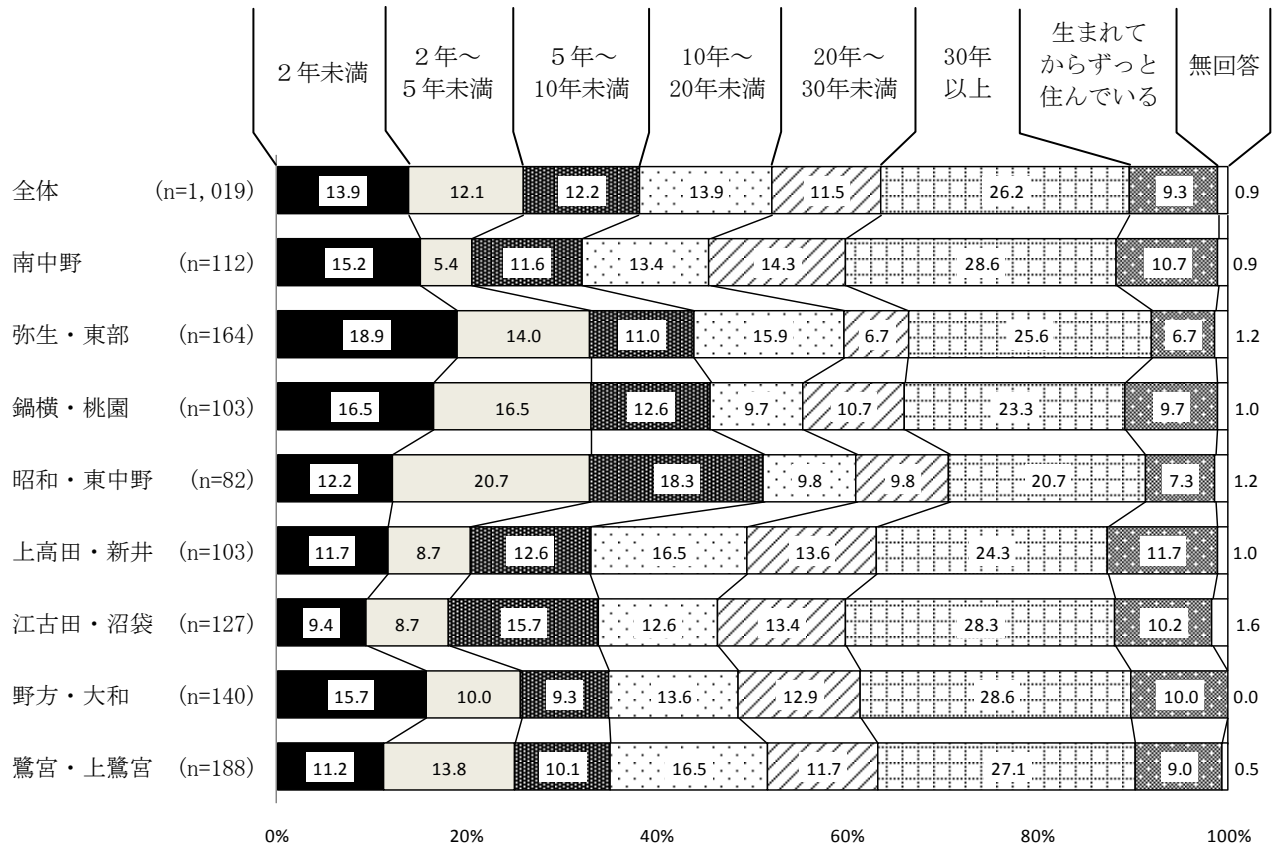
性・年代別でみると、男女とも、20代では約6割が『5年未満』であり、60代、70歳以上では「30年
以上」が圧倒的に高くなってている。(図1-2)

図1-2 居住年数 性別、性・年代別



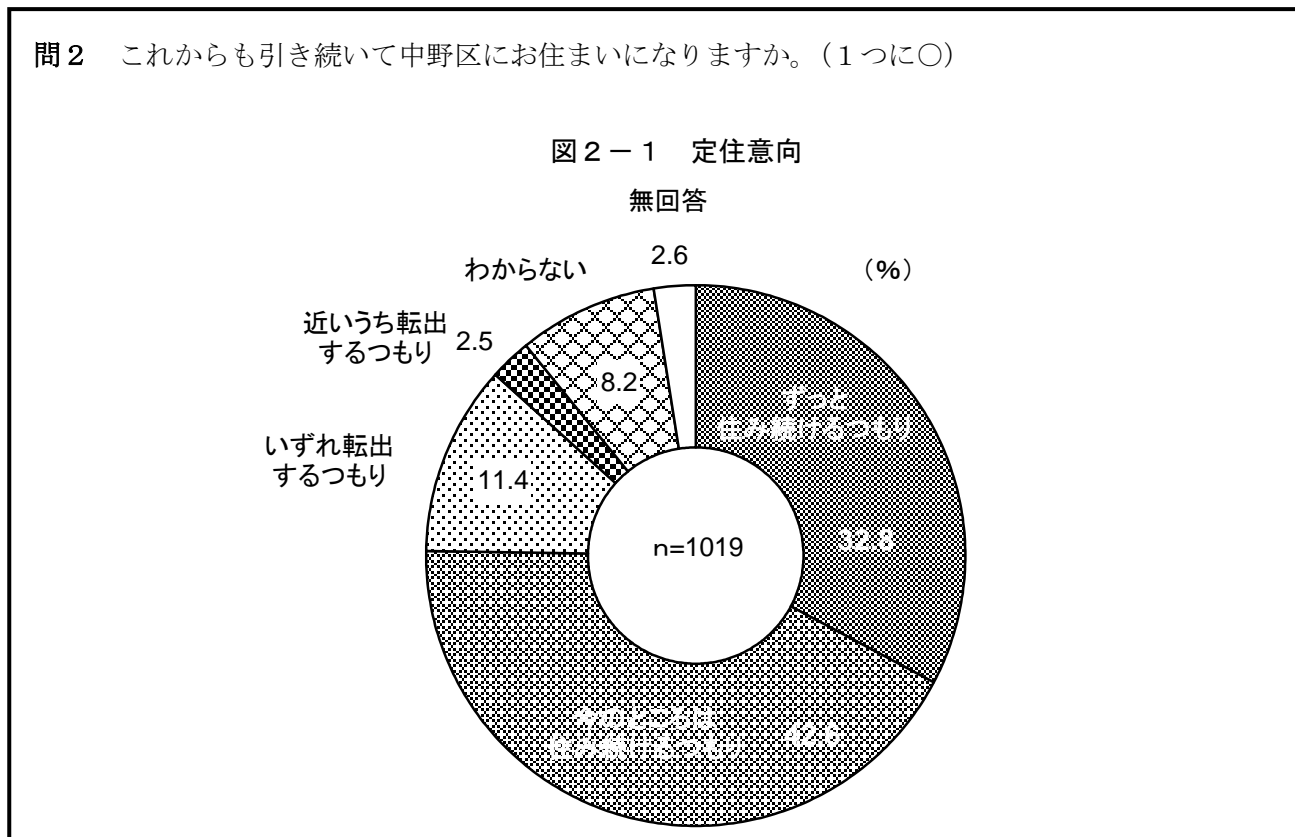
地域別でみると、弥生・東部、鍋横・桃園、昭和・東中野の3地域で『5年未満』が3割を超えている。中でも昭和・東中野は他の地域と比べ、「5年～10年未満」が最も高く、「30年以上」が最も低くなっている。(図1-3)

図1-3 居住年数 地域別



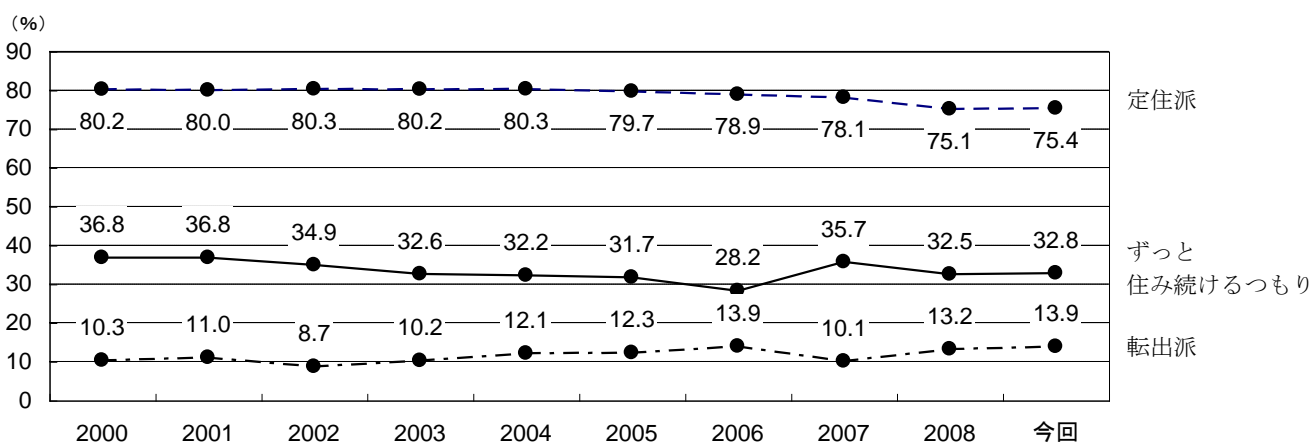
(2) 定住意向

◇『定住派』(「ずっと住み続けるつもり」「今のところは住み続けるつもり」の合計)が7割半ば



定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けるつもり」、「今のところは住み続けるつもり」の合計を『定住派』、「いずれ転出するつもり」「近いうち転出するつもり」の合計を『転出派』とすると、『定住派』が75.4%、『転出派』が13.9%となっている。(図2-1)

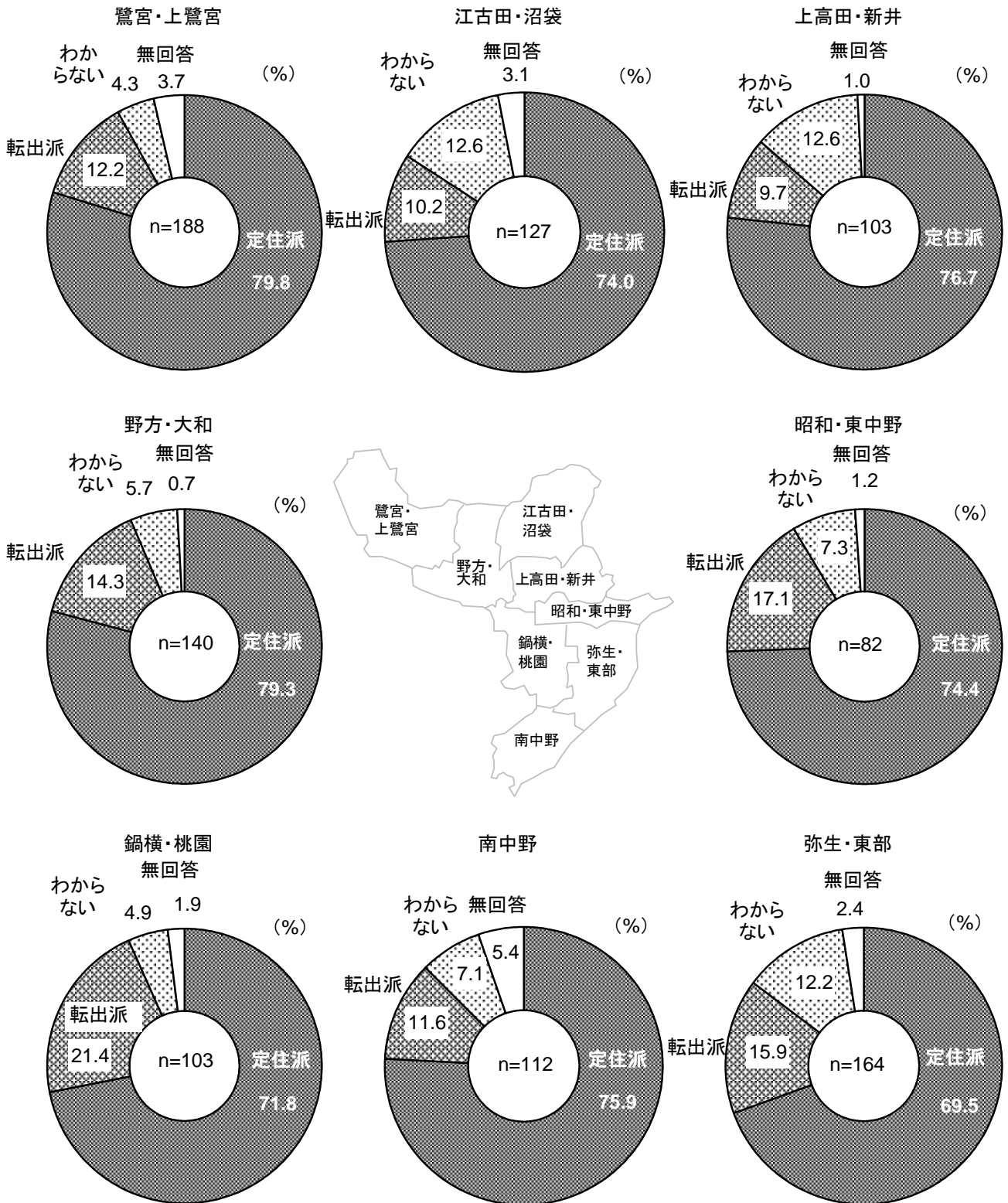
図2-2 定住意向の推移



定住意向の過去10年間の推移をみると、『定住派』は2005年以降減少傾向にあったが、前回より増加して75.4%となった。一方、『転出派』も増加し13.9%となった。(図2-2)

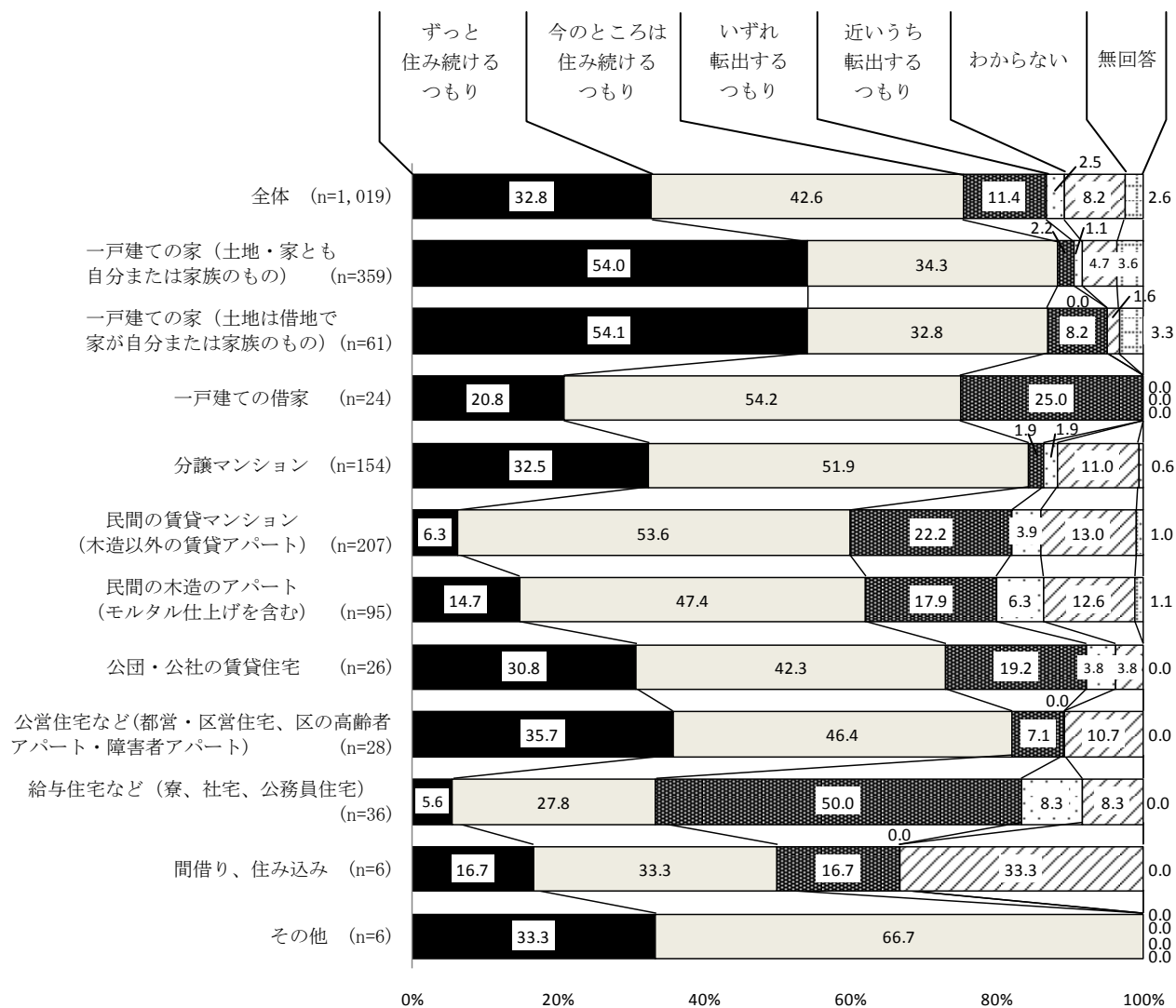
地域別でみると、『定住派』は鷺宮・上鷺宮（79.8%）が最も高くなっている。一方、『転出派』は鍋横・桃園（21.4%）、昭和・東中野（17.1%）、弥生・東部（15.9%）が上位となっており、問1の居住年数が『5年未満』の人の割合が高い地域と一致している。（図2-3）

図2-3 定住意向 地域別



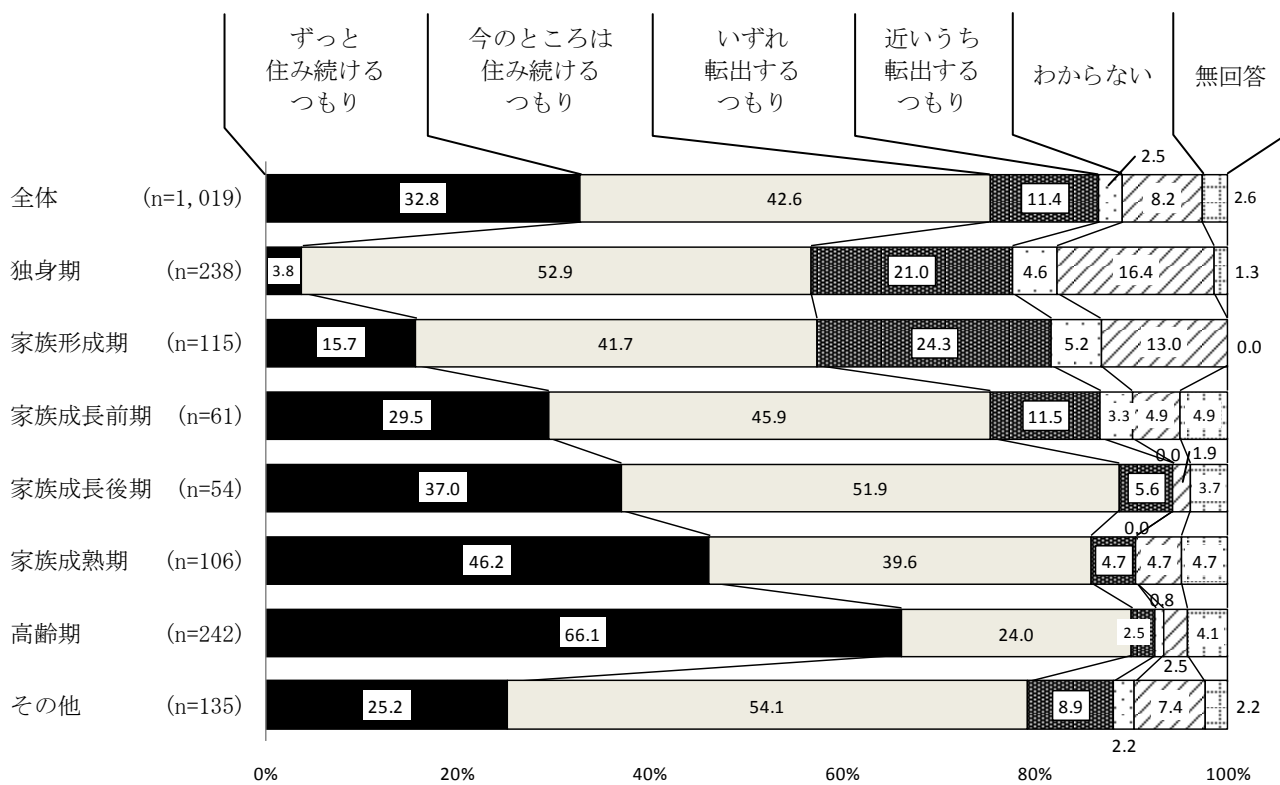
居住形態別でみると、「一戸建ての家（土地・家とも自分または家族のもの）」、「一戸建ての家（土地は借地で家が自分または家族のもの）」、「分譲マンション」、「公営住宅など（都営・区営住宅、区の高齢者アパート・障害者アパート）」では、『定住派』が8割を超えている。一方、「給与住宅など（寮、社宅、公務員住宅）」では『転出派』が5割を超え高くなっている。（図2-4）

図2-4 定住意向 居住形態別



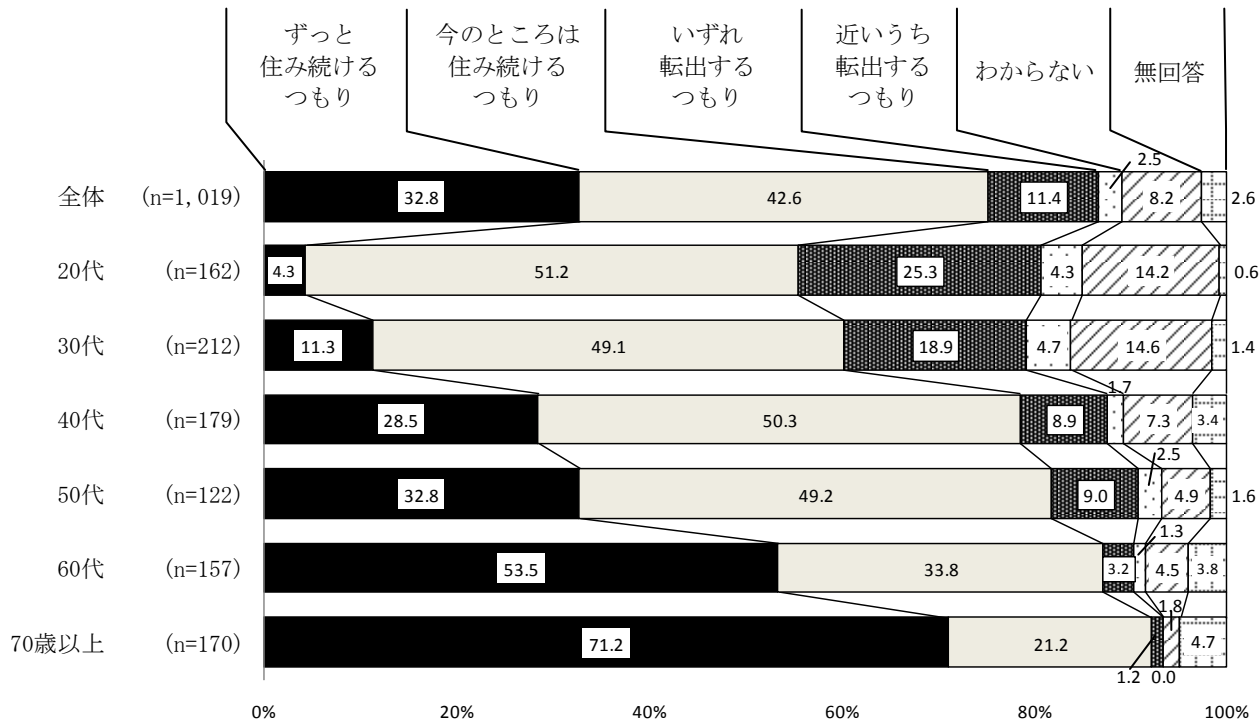
ライフステージ別でみると、独身期から高齢期へとすすむにつれて、「ずっと住み続けるつもり」が増加している。一方、「いずれ転出するつもり」は家族形成期（24.3%）、独身期（21.0%）が他のライフステージよりやや高くなっている。（図2-5）

図2-5 定住意向 ライフステージ別



年代別で見ると、『定住派』は年代が上がるにつれて高くなっており、更に60代、70歳以上では「ずっと住み続けるつもり」が半数以上となっている。一方、『転出派』は20代（29.6%）、30代（23.6%）が他の年代に比べかなり高くなっている。（図2-6）

図2-6 定住意向 年代別



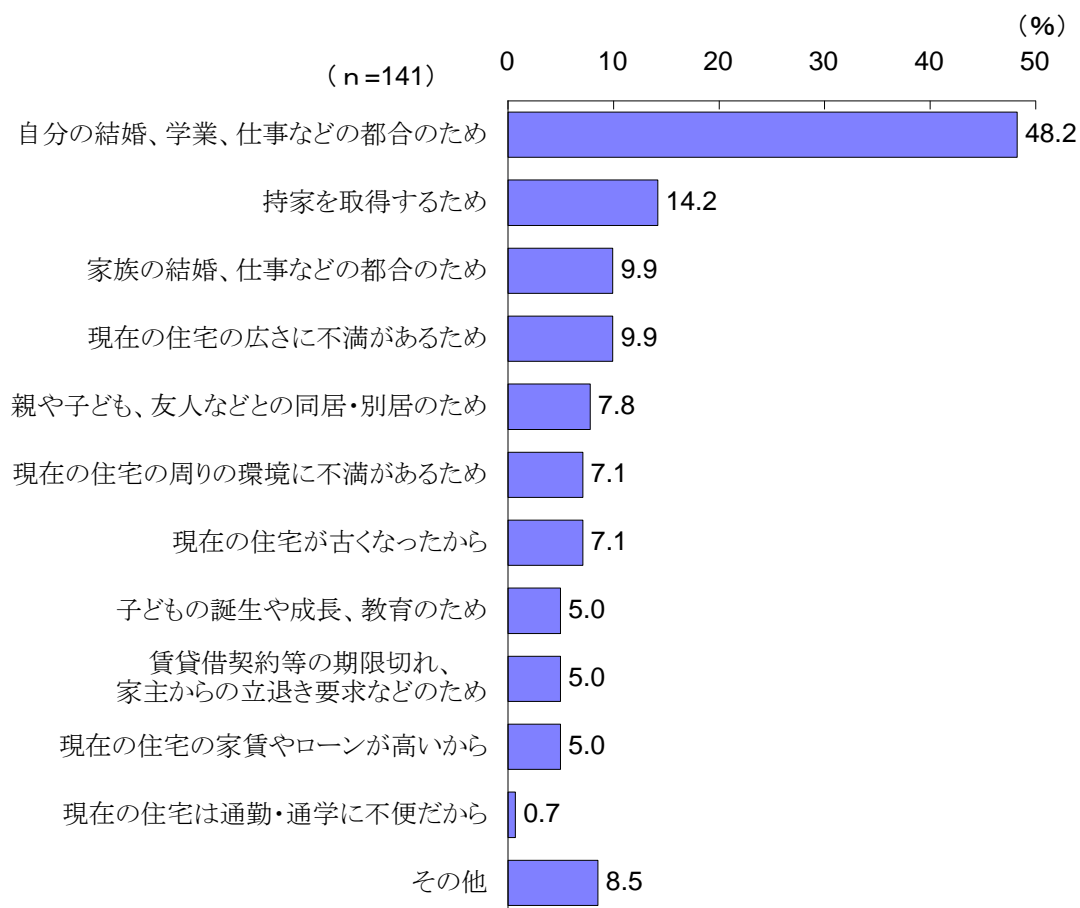
(2-1) 転出理由

◇半数近くが「自分の結婚、学業、仕事などの都合のため」に転出

【問2で「3 いずれ転出するつもり」「4 近いうち転出するつもり」と答えた方に伺います】

問2-1 中野区から転出する理由は何ですか。(いくつでも○)

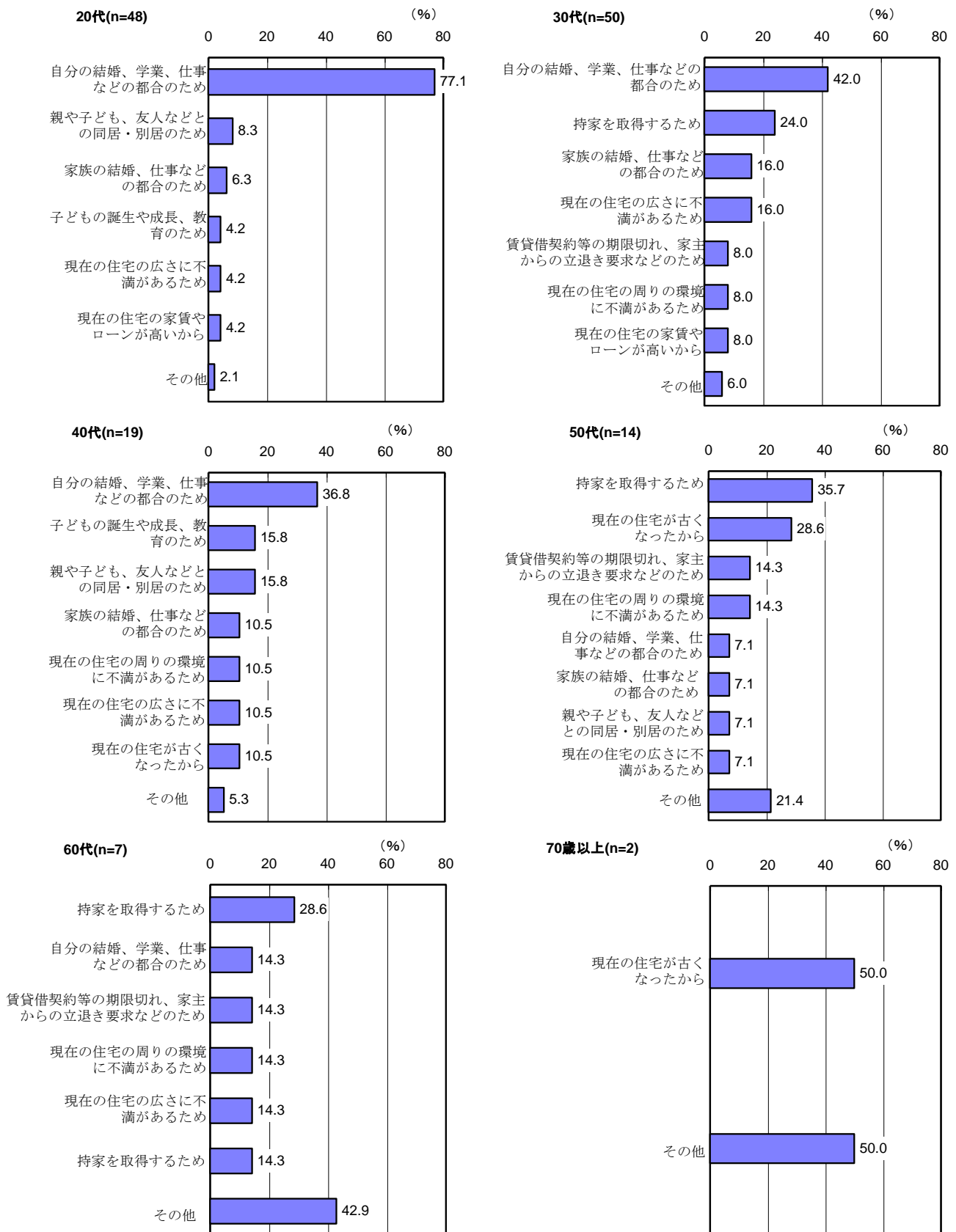
図3-1 転出理由



転出を考えている人に転出理由を聞いたところ、「自分の結婚、学業、仕事などの都合のため」(48.2%)が最も高く半数近くを占めた。次いで「持家を取得するため」(14.2%)、「家族の結婚、仕事などの都合のため」(9.9%)、「現在の住宅の広さに不満があるため」(9.9%)となっている。(図3-1)

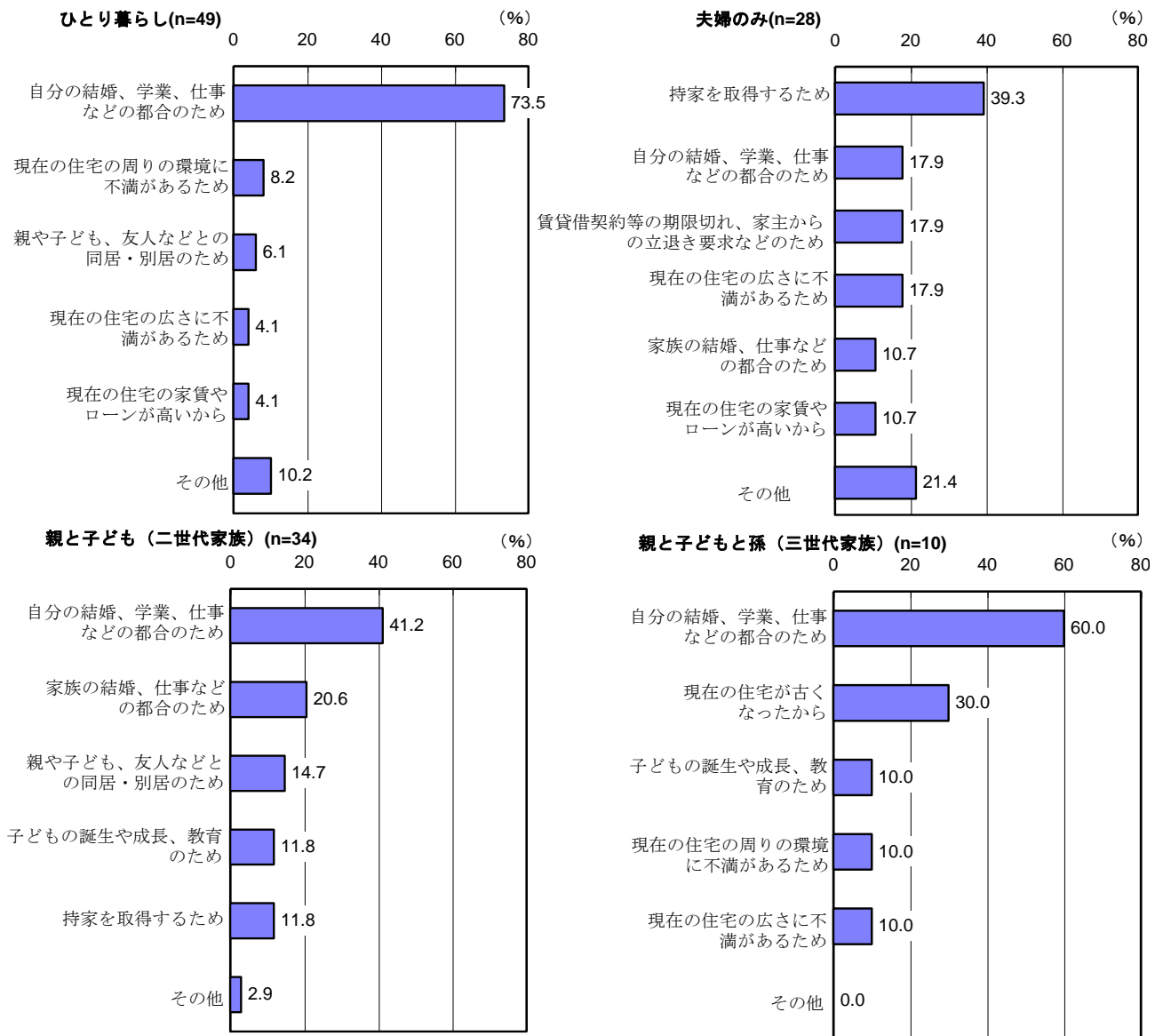
年代別でみると、20代、30代、40代では「自分の結婚、学業、仕事などの都合のため」が1位となっており、特に20代では8割近くを占めている。(図3-2)

図3-2 転出理由 年代別(上位5項目)



家族形態別でみると、ひとり暮らし、親と子ども（二世世代家族）、親と子どもと孫（三世世代家族）では「自分の結婚、学業、仕事などの都合のため」が1位となっており、特にひとり暮らしでは7割を越えている。夫婦のみでは、「持家を取得するため」が1位となっている。（図3-3）

図3-3 転出理由 家族形態別（上位5項目）

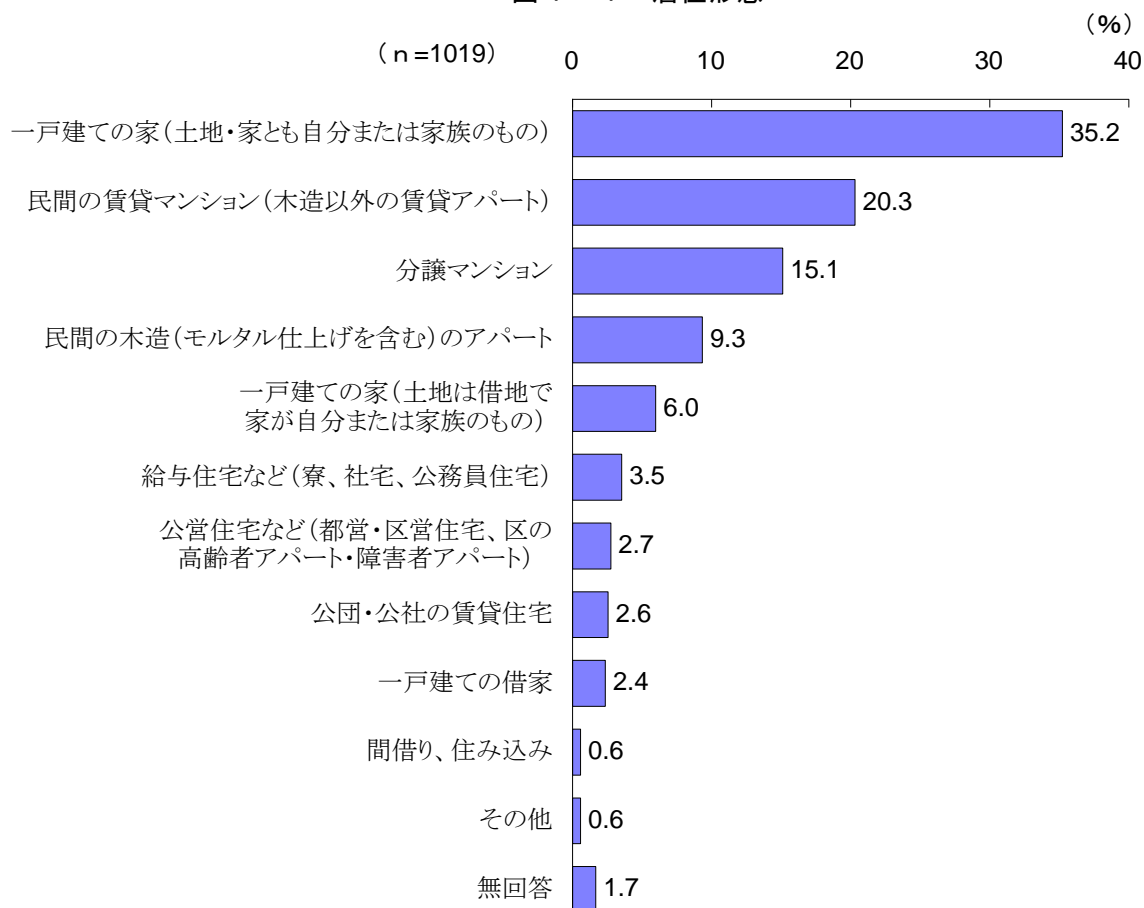


(3) 居住形態

◇『一戸建ての家（土地・家とも自分または家族のもの）』が3割半ば

問3 現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。（1つに○）

図4-1 居住形態



現在の住まいを聞いたところ、「一戸建ての家（土地・家とも自分または家族のもの）」（35.2%）が最も高く、次いで「民間の賃貸マンション（木造以外の賃貸アパート）」（20.3%）、「分譲マンション」（15.1%）となっている。

また、土地や家の名義を問わず『一戸建ての家』に住んでいる人は4割を超えている。（図4-1）

地域別でみると、「一戸建ての家（土地・家とも自分または家族のもの）」は野方・大和で半数を超えている。また、「分譲マンション」は昭和・東中野と弥生・東部が、「民間の賃貸マンション（木造以外の賃貸アパート）」は昭和・東中野と鍋横・桃園が、他の地域に比べ割合が高くなっている。

家族形態別でみると、「一戸建ての家（土地・家とも自分または家族のもの）」は親と子どもと孫（三世家族）が68.8%と最も高くなっており、「民間の賃貸マンション（木造以外の賃貸アパート）」はひとり暮らしが35.6%と最も高くなっている。（表4-1）

表4-1 居住形態 地域別 家族形態別

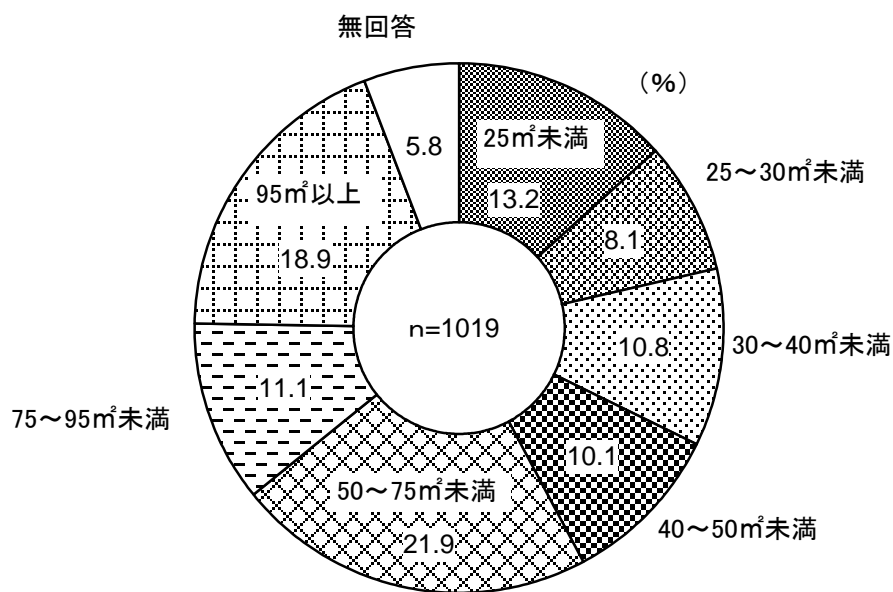
		一戸建ての家（土地・家とも自分または家族のもの）	一戸建ての家（土地は借地で家が自分または家族のもの）	一戸建ての借家	分譲マンション	民間の賃貸マンション（木造以外の賃貸アパート）	民間の木造（モルタル仕上げを含む）のアパート	公団・公社の賃貸住宅	公営住宅など（都営・区営住宅、区の高齢者アパート・障害者アパート）	給与住宅など（寮、社宅、公務員住宅）	間借り、住み込み	その他	無回答
全体(n=1019)		35.2	6.0	2.4	15.1	20.3	9.3	2.6	2.7	3.5	0.6	0.6	1.7
地域別	南中野(n=112)	33.9	7.1	2.7	16.1	21.4	8.0	1.8	4.5	1.8	0.0	0.9	1.8
	弥生・東部(n=164)	26.8	3.7	3.7	23.8	25.6	7.9	0.6	0.0	3.7	1.2	1.2	1.8
	鍋横・桃園(n=103)	32.0	5.8	0.0	14.6	29.1	4.9	3.9	0.0	6.8	1.0	1.0	1.0
	昭和・東中野(n=82)	19.5	3.7	3.7	28.0	29.3	9.8	0.0	0.0	3.7	1.2	0.0	1.2
	上高田・新井(n=103)	37.9	7.8	0.0	14.6	23.3	6.8	0.0	1.0	5.8	1.0	1.0	1.0
	江古田・沼袋(n=127)	26.8	10.2	3.1	18.1	15.0	8.7	3.1	7.9	4.7	0.0	0.8	1.6
	野方・大和(n=140)	52.1	5.0	3.6	7.1	15.0	11.4	0.7	0.0	2.1	0.7	0.0	2.1
	鷺宮・上鷺宮(n=188)	43.6	5.3	1.6	5.9	12.2	13.8	7.4	6.4	1.6	0.0	0.0	2.1
家族形態別	ひとり暮らし(n=236)	11.0	1.3	1.7	12.3	35.6	26.7	1.7	3.4	2.1	1.7	0.0	2.5
	夫婦のみ(n=198)	29.8	5.6	1.0	20.2	23.7	7.6	4.0	1.0	3.5	0.5	1.5	1.5
	親と子ども(二世家族)(n=384)	49.2	5.2	2.9	17.4	9.4	2.1	2.3	3.9	6.3	0.0	0.5	0.8
	親と子どもと孫(三世家族)(n=77)	68.8	15.6	1.3	3.9	3.9	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9
	その他(n=74)	24.3	14.9	6.8	5.4	33.8	8.1	4.1	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0

(4) 床面積

◇床面積『50㎡以上』が過半数

問4 現在お住まいの床面積の合計は、この中のどれにあたりますか。(床面積には、居住室のほか、玄関・台所・トイレ・浴室・廊下・押入れなども含みます。)(1つに○) [参考 6畳=9.9㎡]

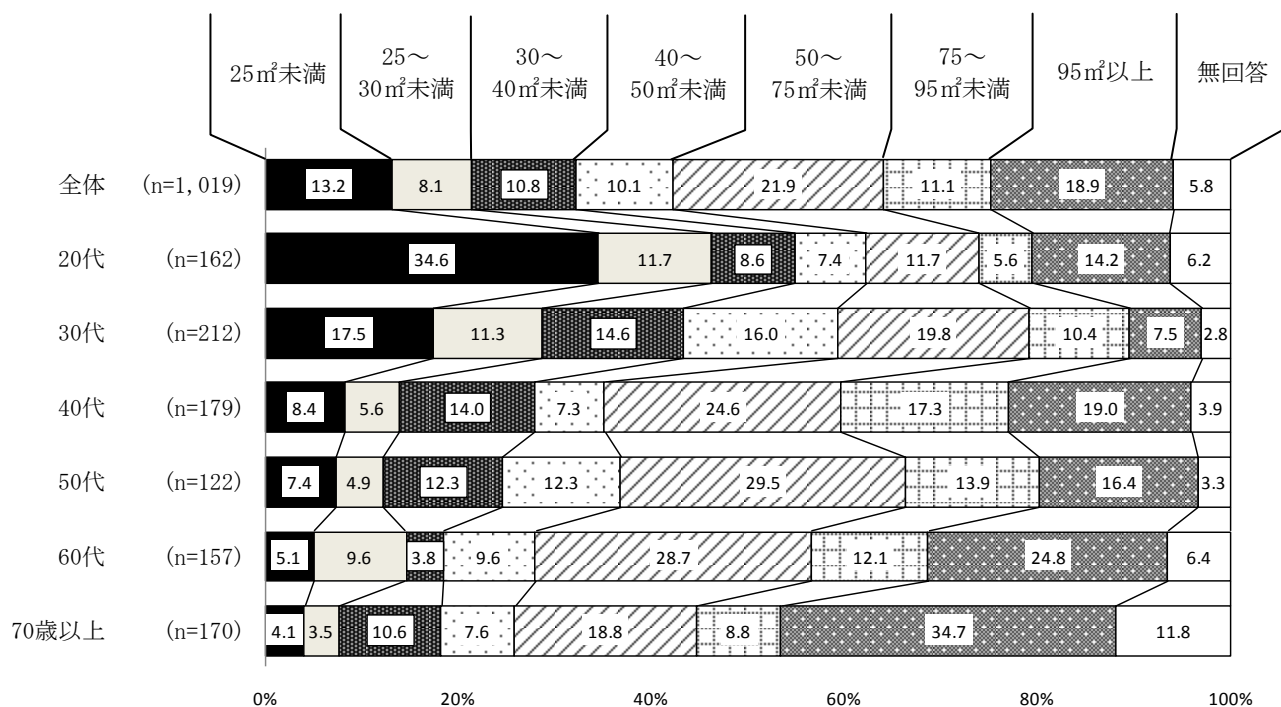
図5-1 床面積



床面積を聞いたところ、「50~75㎡未満」(21.9%)が最も高く、次いで「95㎡以上」(18.9%)、「25㎡未満」(13.2%)となっている。また、「50~75㎡未満」「75~95㎡未満」「95㎡以上」を合計した『50㎡以上』は過半数(51.9%)となっている。(図5-1)

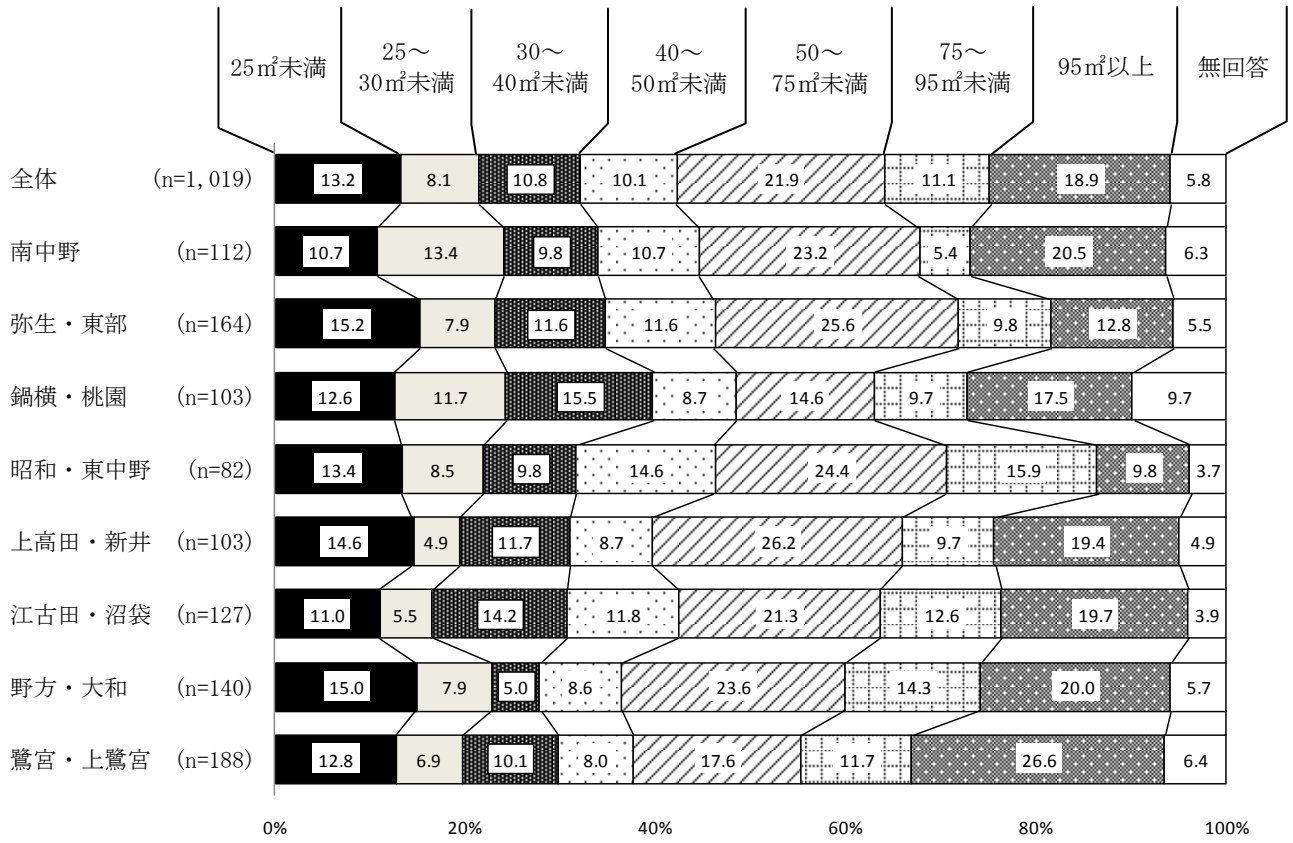
年代別でみると、「25㎡未満」は20代（34.6%）で最も高く、年代が上がるにつれ低くなっている。一方、「95㎡以上」は、70歳以上（34.7%）で最も高く、次いで60代（24.8%）、40代（19.0%）となっている。（図5-2）

図5-2 床面積 年代別



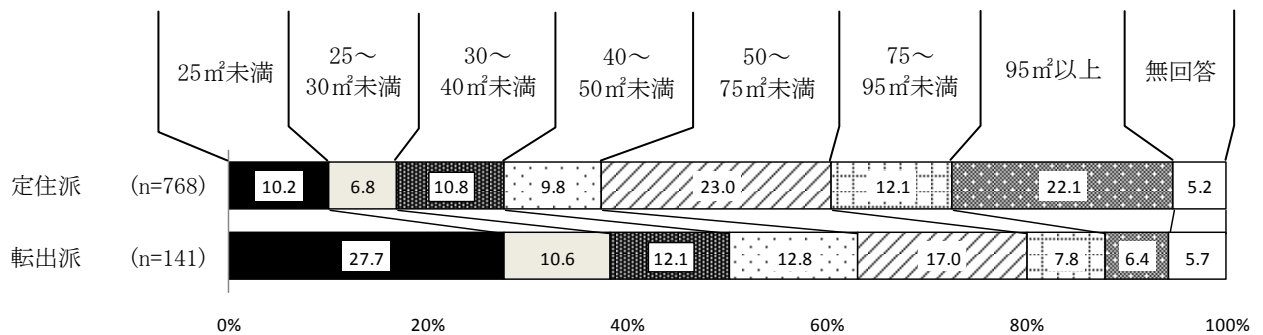
地域別でみると、「25㎡未満」は弥生・東部（15.2%）が最も高くなっているが、地域にあまり差は見られない。一方、「95㎡以上」は鷺宮・上鷺宮（26.6%）が最も高く、昭和・東中野（9.8%）が最も低くなっている。（図5-3）

図5-3 床面積 地域別



問2の定住意向（『定住派』と『転出派』）別でみると、「25㎡未満」は、『定住派』のうち10.2%なのに対し、『転出派』では27.7%に達している。（図5-4）

図5-4 床面積 問2『定住派』・『転出派』別



2 生活環境の満足度

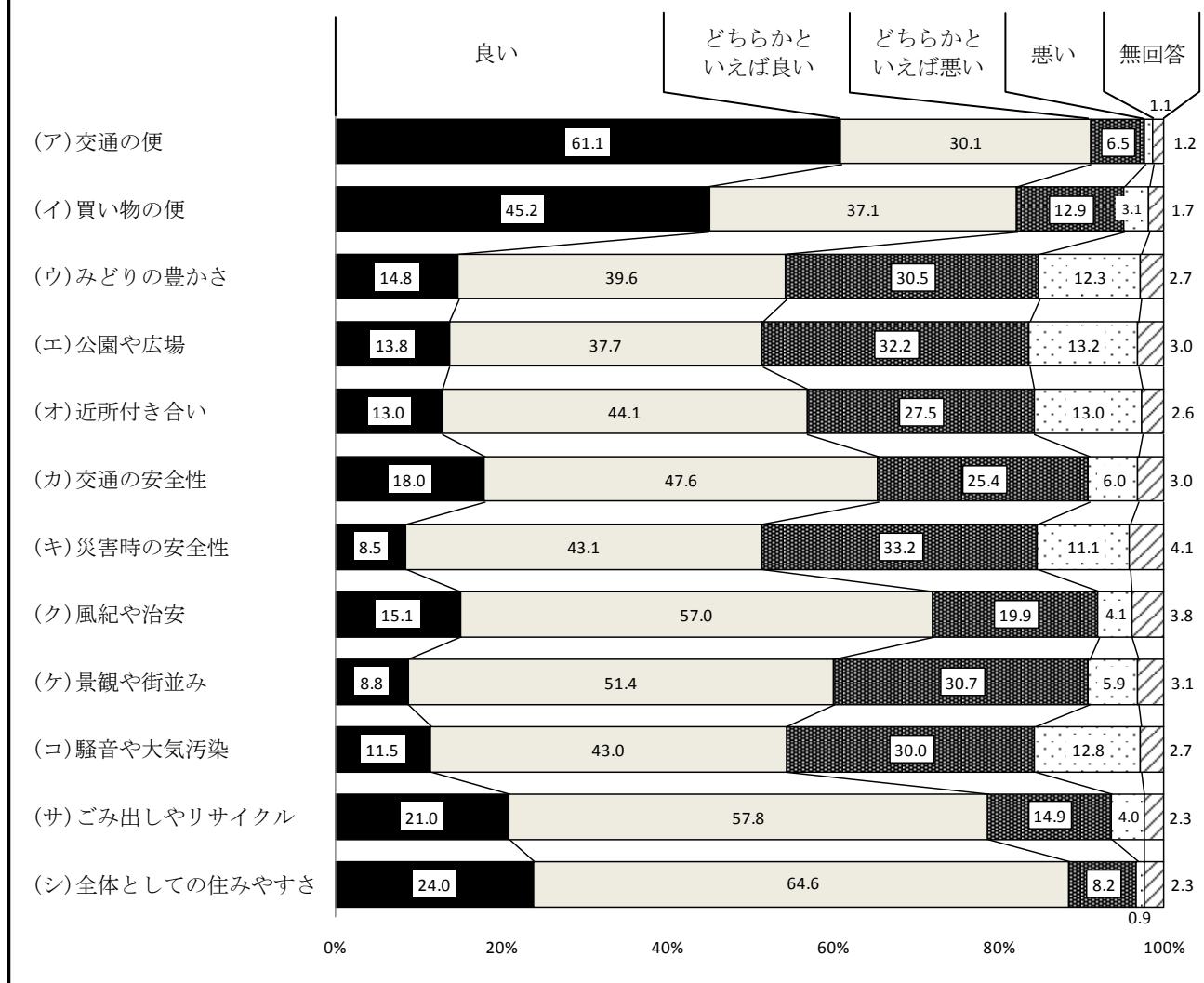
(1) 生活環境の満足度

◇良いと感じるのは「交通の便」で6割、次いで「買い物の便」が4割半ば

問5 あなたは、自宅周辺の生活環境についてどのように感じていますか。

項目ごとにお答えください。(それぞれ1つずつ○)

図6-1 生活環境の満足度



自宅周辺の生活環境に関する各項目について聞いたところ、「良い」、「どちらかといえば良い」を合計した『良い評価』は、「交通の便」(91.2%)が最も高く、次いで「全体としての住みやすさ」(88.6%)、「買い物の便」(82.3%)となっている。一方、「悪い」、「どちらかといえば悪い」を合計した『悪い評価』は、「公園や広場」(45.4%)、「災害時の安全性」(44.3%)、「みどりの豊かさ」(42.8%)、「騒音や大気汚染」(42.8%)となっている。(図6-1)

【生活環境の評価点】

満足度の比較をより明確にするために、4段階評価に点数を与え、下式により評価点を算出して、各項目の評価を行った。

$$\begin{aligned}
 & \text{「良い」の回答者} && \times & 4 \text{ 点} \\
 + & \text{「どちらかといえば良い」の回答者} && \times & 3 \text{ 点} \\
 + & \text{「どちらかといえば悪い」の回答者} && \times & 2 \text{ 点} \\
 + & \text{「悪い」の回答者} && \times & 1 \text{ 点}
 \end{aligned}$$

= (回答者の総評価点数)

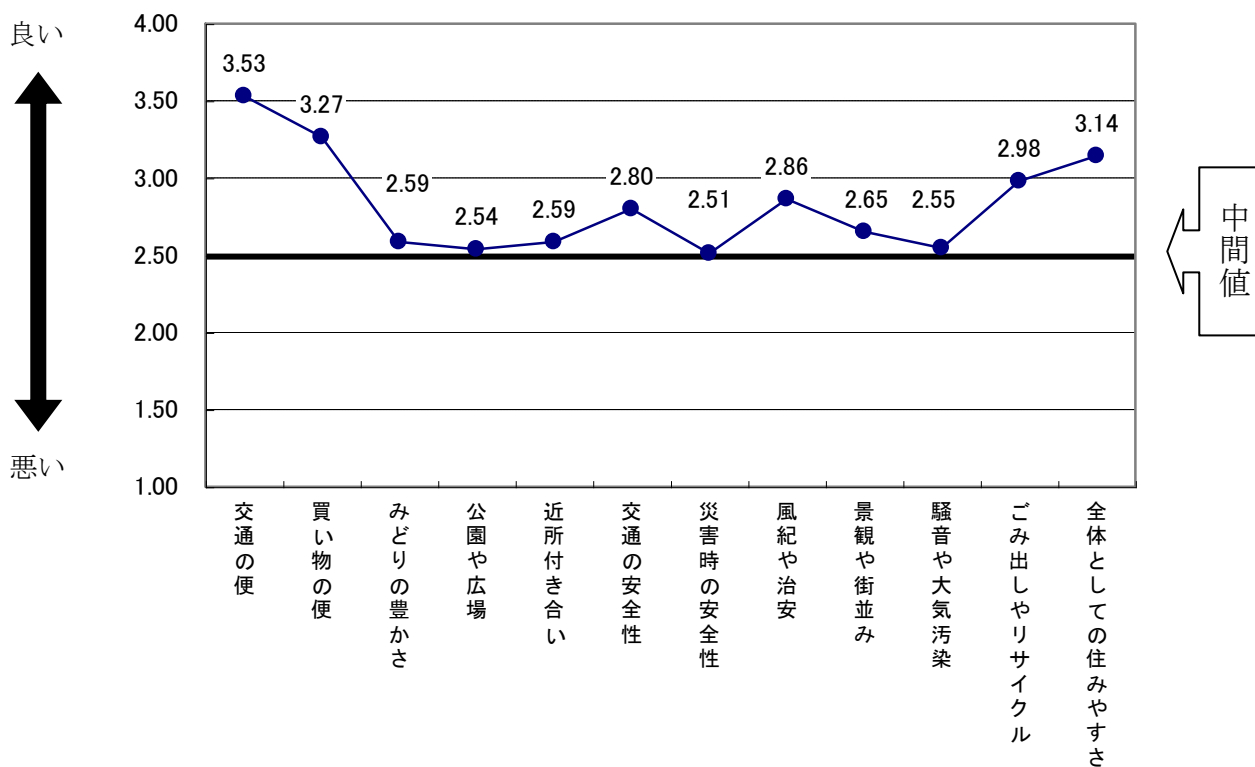
$$\text{(各施策の評価点)} = \text{(回答者の総評価点数)} \div [\text{(全回答者数1,019)} - \text{(無回答者数)}]$$

- ◎ この算出方法では、評価点は1.00～4.00の間に分布し、2.50が中間値となる
- ◎ 4.00に近いほど評価が良く、1.00に近いほど評価が悪い

評価が高い項目は、「交通の便」(3.53)、「買い物の便」(3.27)、「全体の住みやすさ」(3.14)となっており、上位3項目は3.00を超えている。

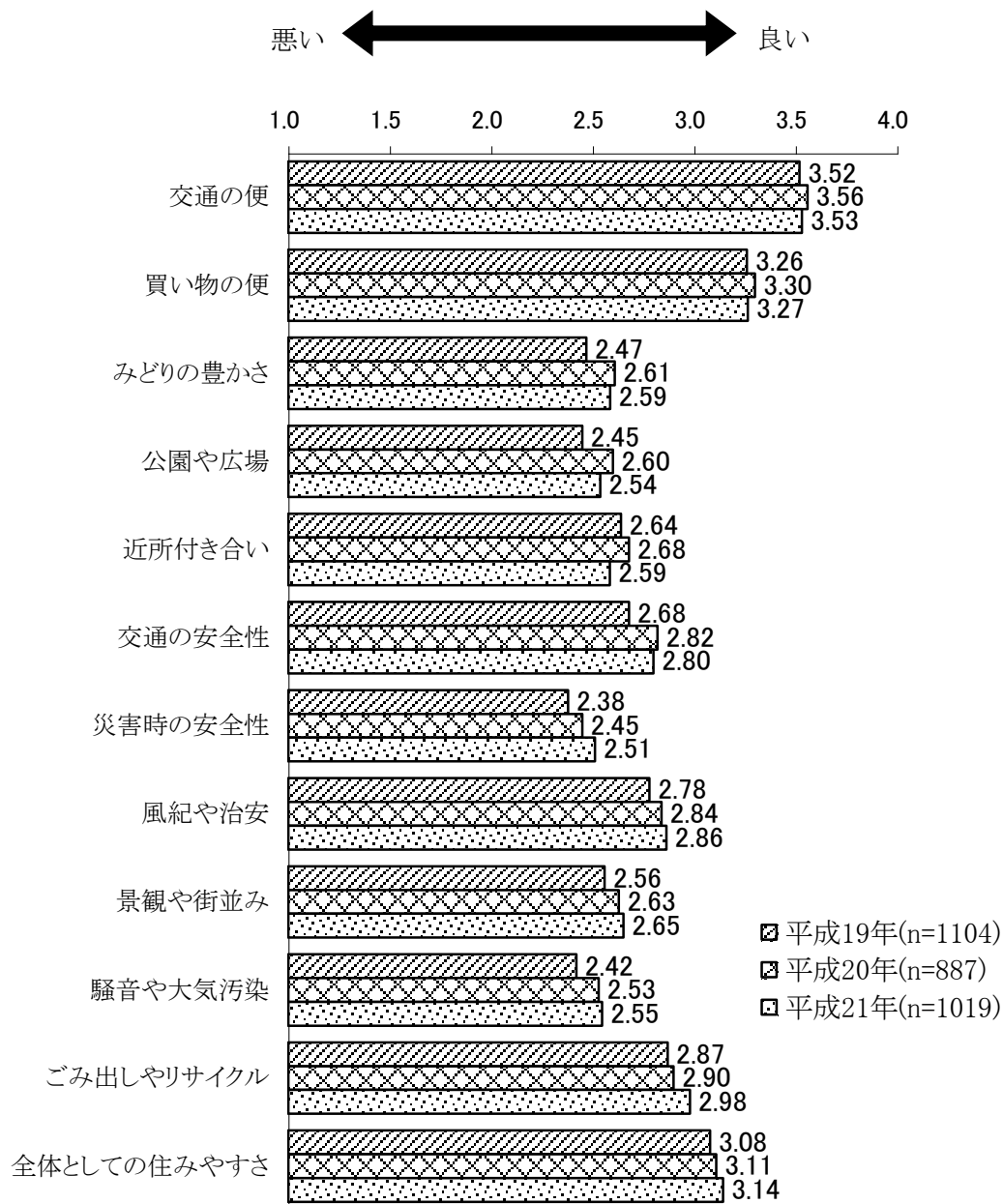
一方、最も評価の低い項目は、「災害時の安全性」(2.51)であったが、中間値(2.50)をわずかに上回る結果となった。(図6-2)

図6-2 生活環境の評価点



生活環境の満足度を過去の結果（平成20年、平成19年）と比較すると、平成20年はすべての項目で前年を上回っていたが、平成21年は「交通の便」、「買い物の便」、「みどりの豊かさ」、「公園や広場」、「近所付き合い」、「交通の安全性」の6項目で前年を下回っている。なお、「全体としての住みやすさ」は前年を上回っている。（図6-3）

図6-3 2009（平成21年度）までの生活環境の評価点推移



地域別で見ると、地域間で評価に差があるのは、「みどりの豊かさ」、「公園や広場」、「騒音や大気汚染」で、差が小さいのは、「全体としての住みやすさ」となっている。また、「交通の便」、「買い物の便」、「全体としての住みやすさ」が、全ての地域で評価点3.00を上回る高い評価となっている一方、「災害時の安全性」は全体的に評価が低い。(図6-4-①～②)

図6-4-① 生活環境の評価点 —地域別—

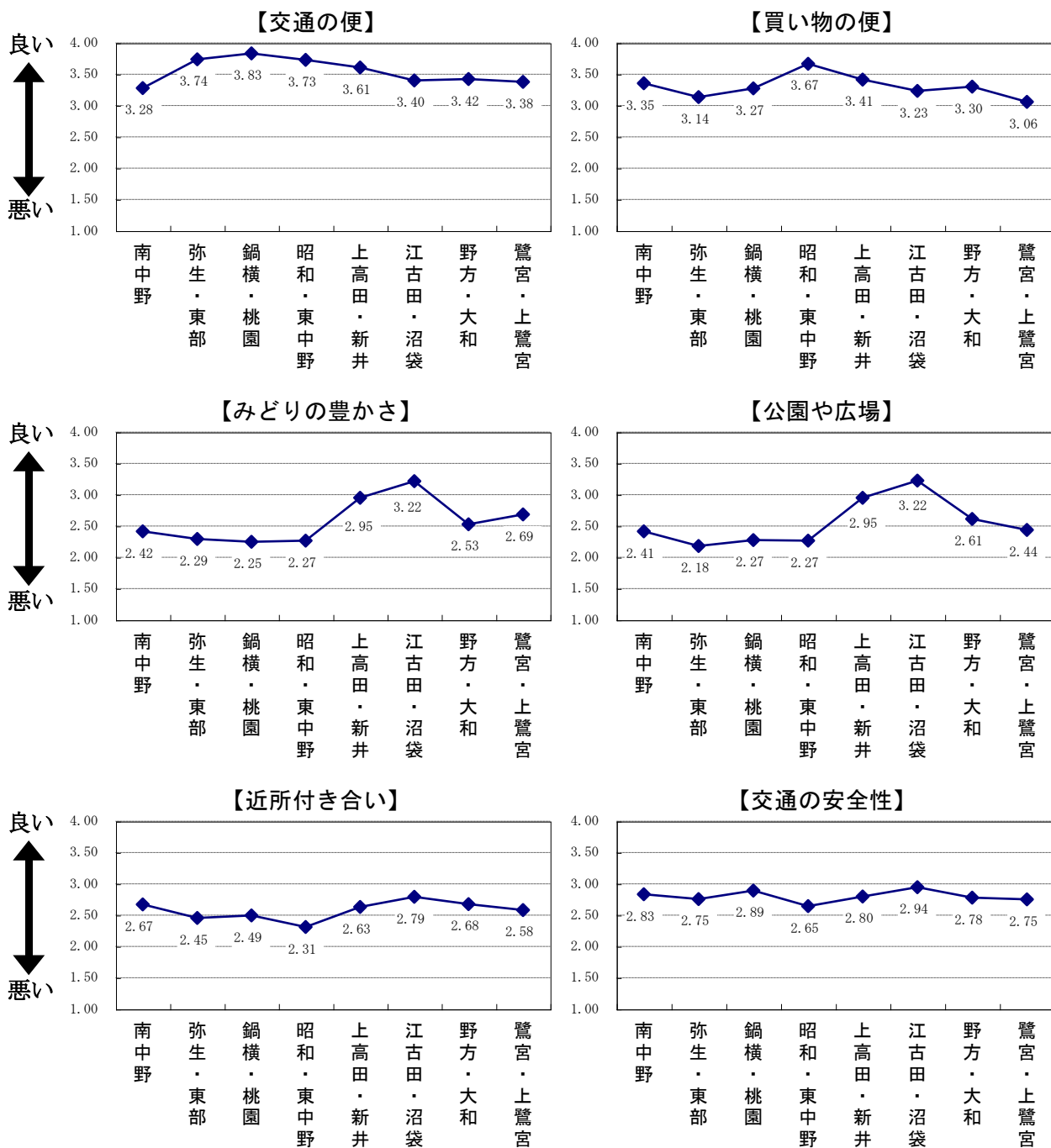
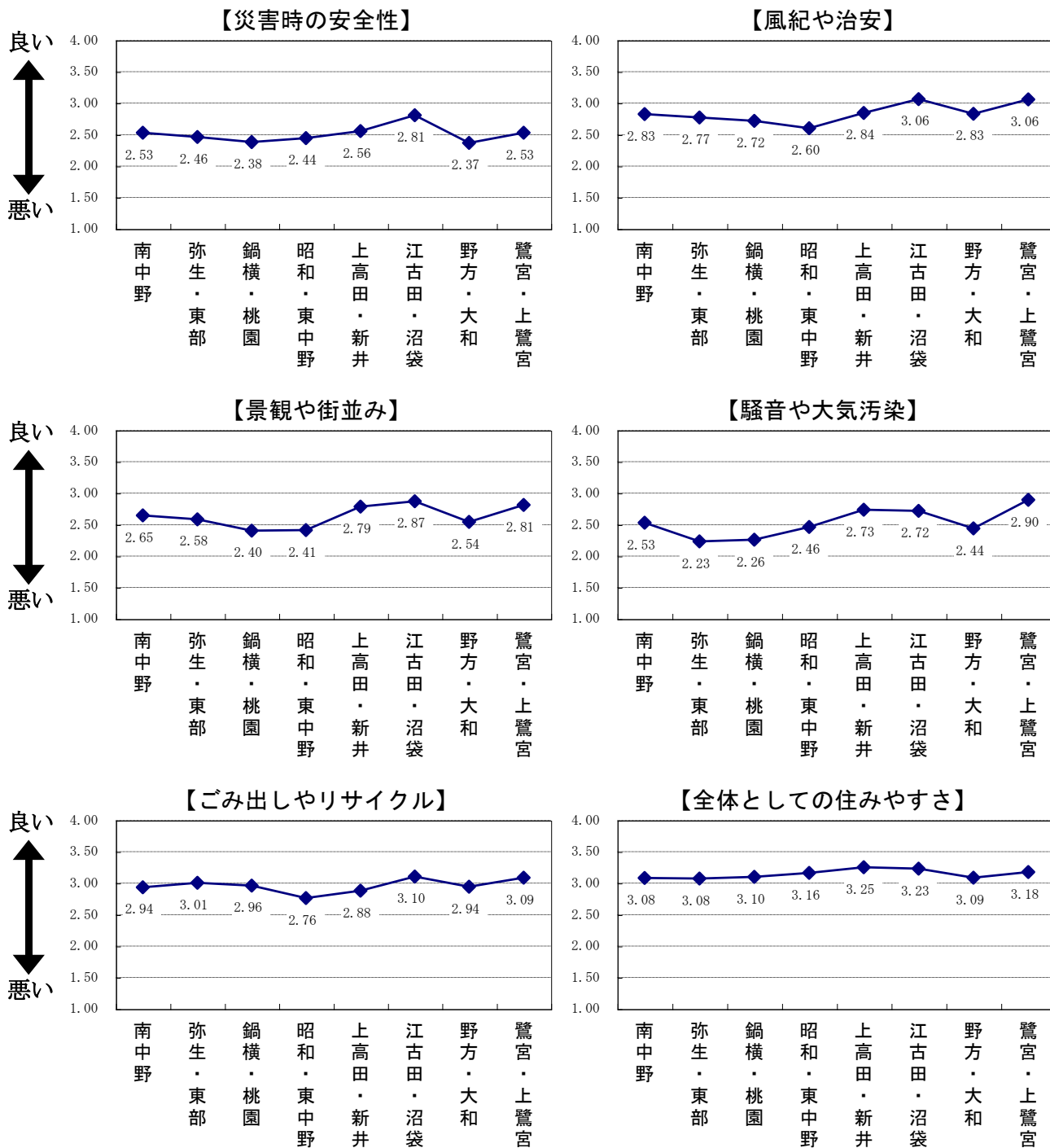


図6-4-② 生活環境の評価点 —地域別—

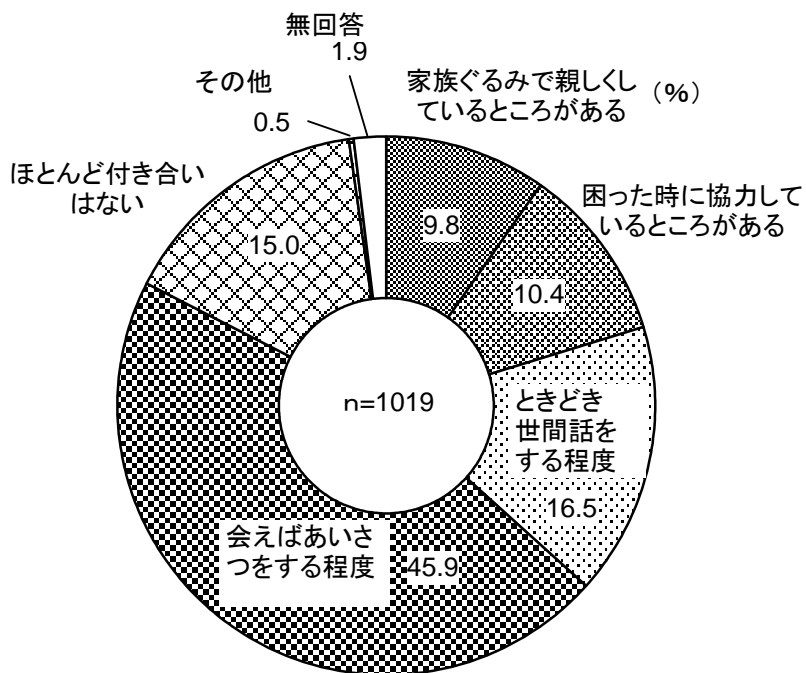


(2) 近所づきあいの程度

◇「会えばあいさつをする程度」が4割半ば

問6 あなたは、隣近所の方々とどのようにお付き合いをされていますか。(1つに○)

図7-1 近所づきあいの程度

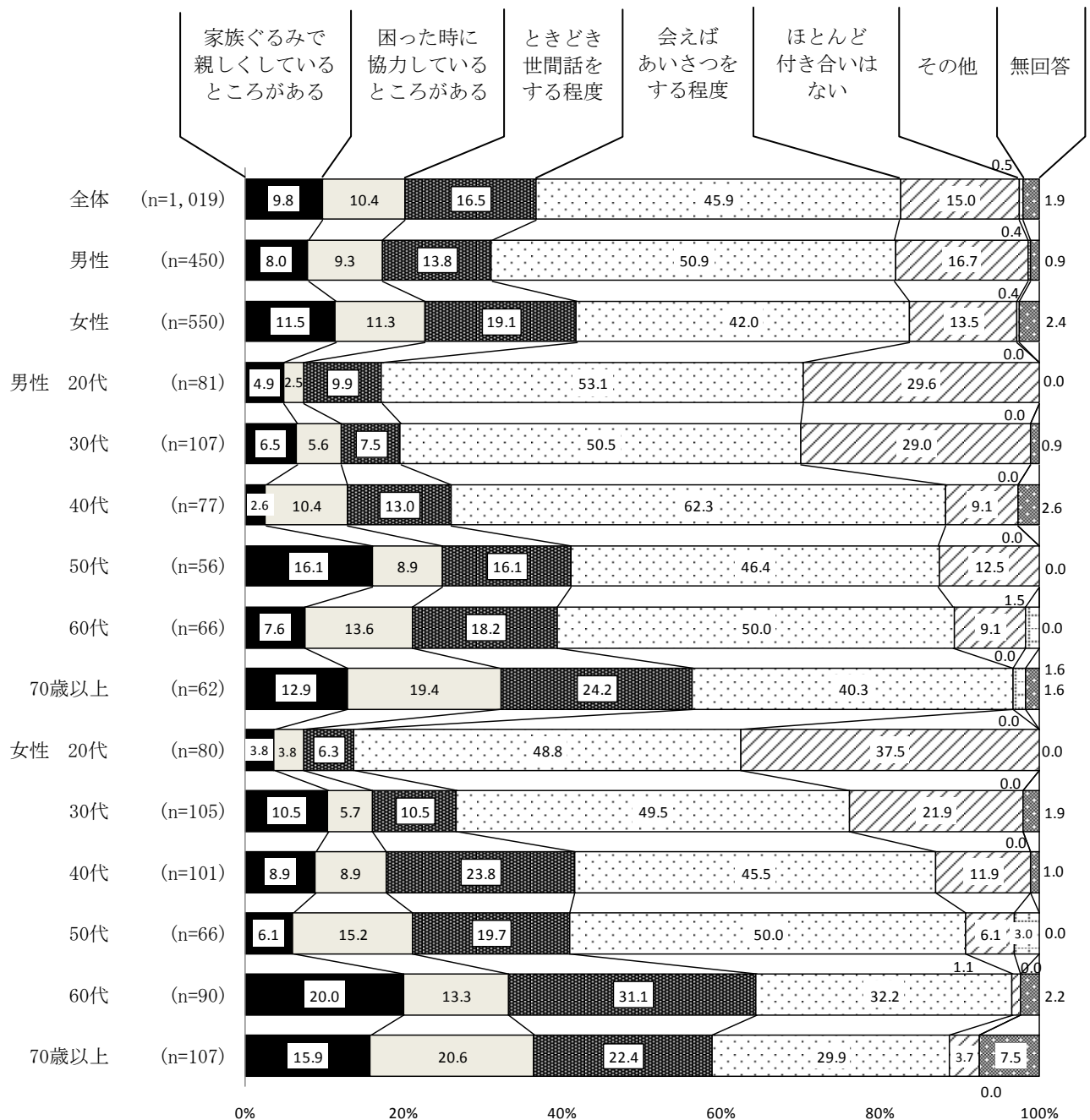


隣近所とどのような付き合いをしているかを聞いたところ、「会えばあいさつをする程度」(45.9%)が4割半ばとなった。また、「家族ぐるみで親しくしている」(9.8%)と「困った時に協力しているところがある」(10.4%)はいずれも1割前後となっている。(図7-1)

性別で見ると、「家族ぐるみで親しくしているところがある」と「困った時に協力しているところがある」は、女性が男性をいずれも上回っているのに対し、「ほとんど付き合いはない」は男性が女性を上回っている。

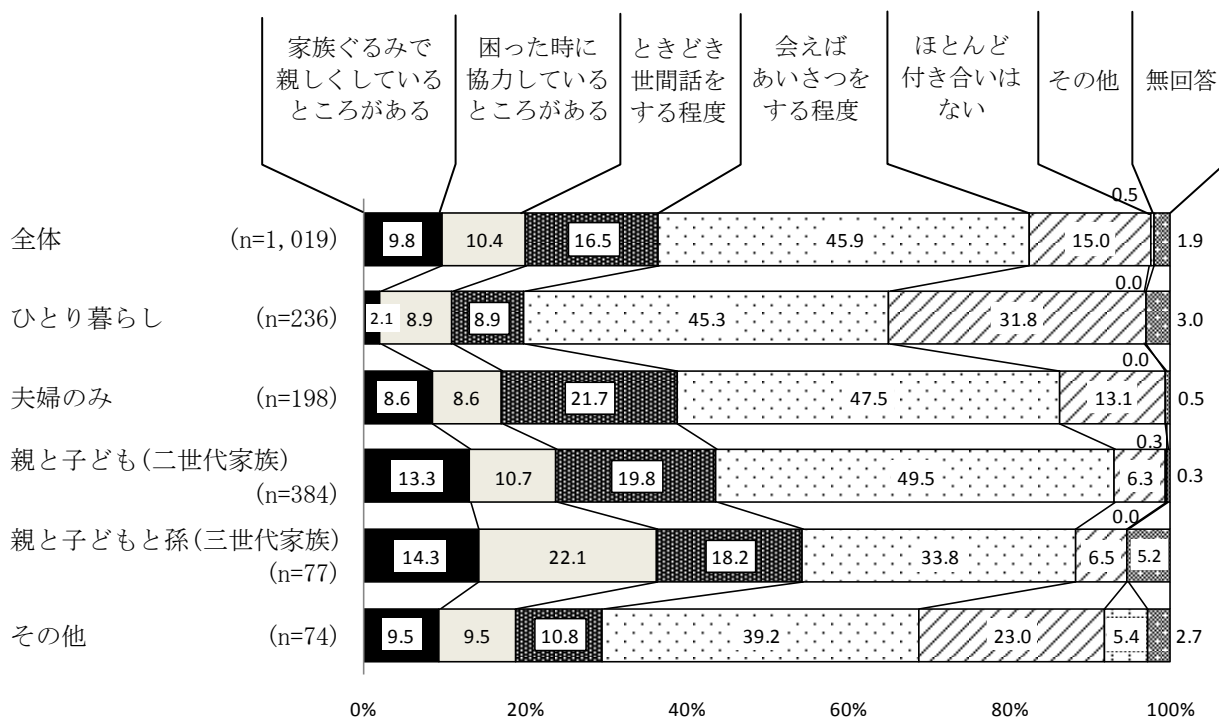
性・年代別で見ると、「ほとんど付き合いはない」は、男女ともに20代、30代で2割を超えており、特に20代女性では37.5%にのぼっている。(図7-2)

図7-2 近所づきあいの程度 性別、性・年代別



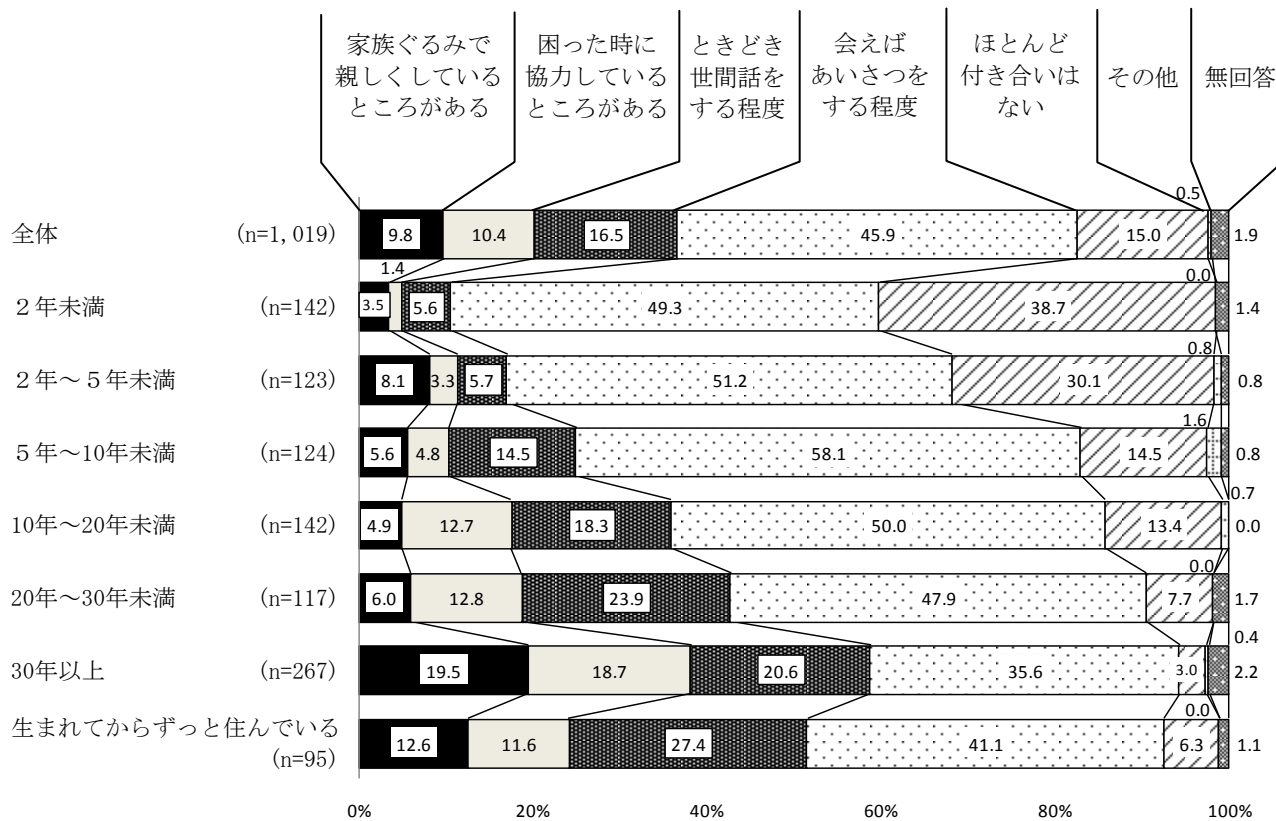
家族形態別でみると、「ほとんど付き合いはない」は、ひとり暮らしが約3割と他と比べ高くなっている。一方、「家族ぐるみで親しくしているところがある」、「困った時に協力しているところがある」、「困った時に協力しているところがある」、「困った時に協力しているところがある」は、親と子どもと孫（三世代家族）が、それぞれ1位となっている。（図7-3）

図7-3 近所づきあいの程度 家族形態別



居住年数別でみると、居住年数が長くなるほど「家族ぐるみで親しくしているところがある」と「困った時に協力しているところがある」が高くなり、「ほとんど付き合いはない」が低くなる傾向がみられる。(図7-4)

図7-4 近所づきあいの程度 居住年数別



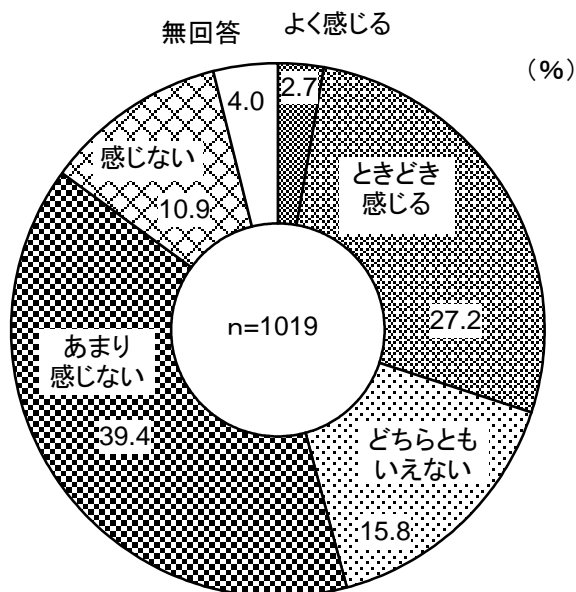
3 生活の安全（防犯）

（1）犯罪などに対する不安

◇『不安を感じている人』が約3割

問7 あなたは日ごろの生活の中で、犯罪などにより安全を脅かされる不安を感じることがありますか。
（1つに○）

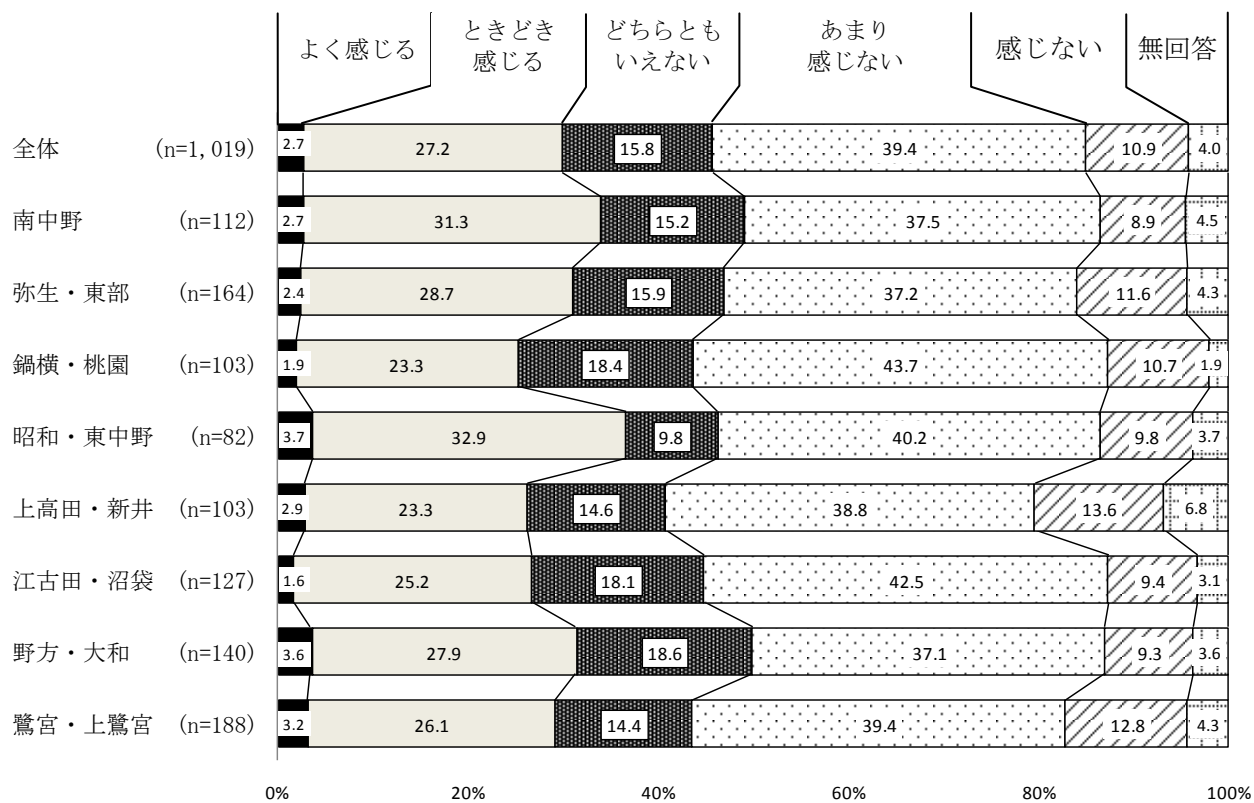
図8-1 犯罪などに対する不安



日ごろの生活の中で、犯罪などに対して不安を感じるか聞いたところ、「よく感じる」(2.7%)、「ときどき感じる」(27.2%)を合計した『不安を感じている』人は、約3割となっている。一方、「あまり感じない」(39.4%)と「感じない」(10.9%)を合計した『不安を感じていない』人は約5割となっている。(図8-1)

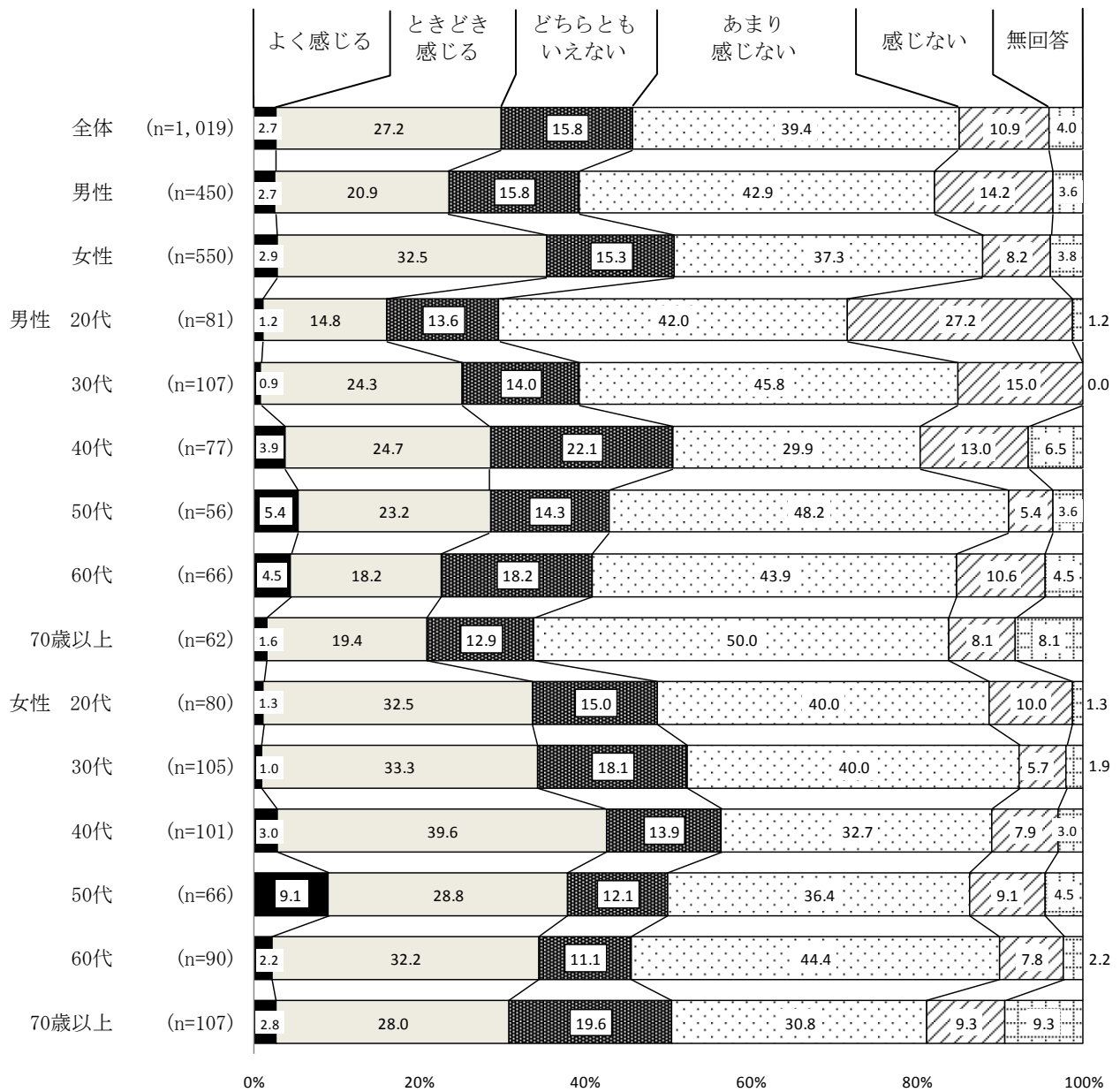
地域別でみると、『不安を感じている』人の割合は、昭和・東中野で36.6%と最も高く、鍋横・桃園(25.2%)で最も低くなっている。一方、『不安を感じていない』人の割合は、鍋横・桃園で54.4%と最も高く、南中野、野方・大和で46.4%と最も低くなっている。(図8-2)

図8-2 犯罪などに対する不安 地域別



性別でみると、『不安を感じている』人の割合は、女性が男性を10ポイント以上上回っている。
 性・年代別でみると、女性40代で42.6%と『不安を感じている』人の割合が最も高くなっている。(図
 8-3)

図8-3 犯罪などに対する不安 性別、性・年代別



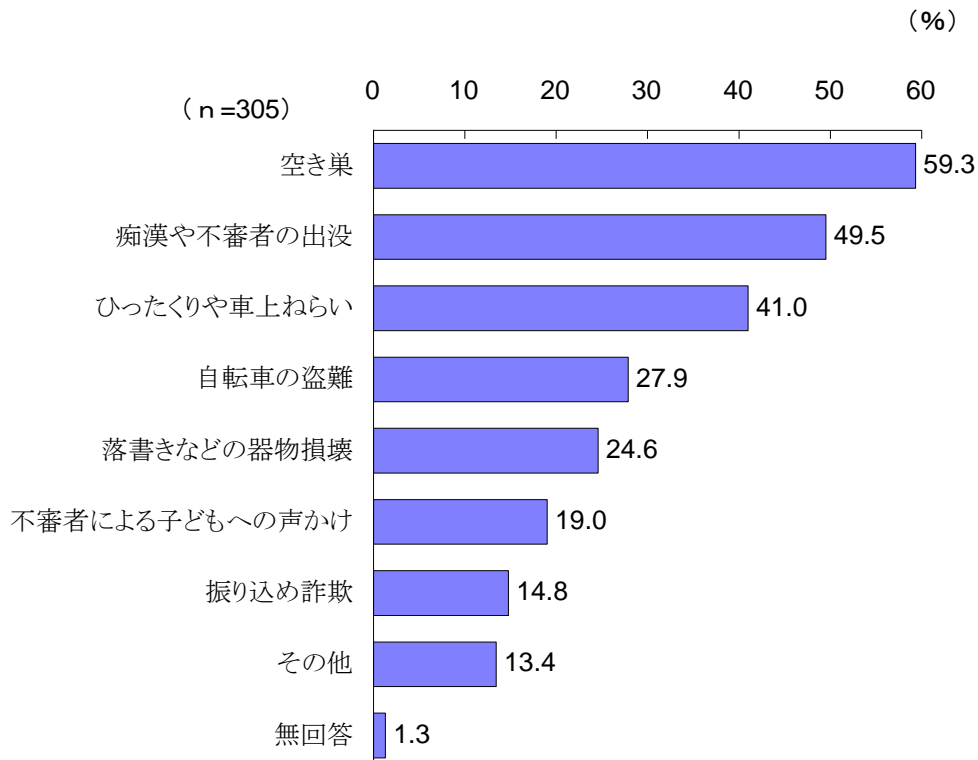
(1-1) 日ごろの生活の中で感じる危険

◇「空き巣」が約6割

【問7で「1 よく感じる」「2 ときどき感じる」と答えた方に伺います】

問7-1 日ごろの生活の中で感じる犯罪などの危険は、どのようなものですか。(いくつでも○)

図8-4 日ごろの生活の中で感じる危険



『不安を感じている』人にその内容について聞いたところ「空き巣」(59.3%)が最も高く、次いで「痴漢や不審者の出没」(49.5%)、「ひったくりや車上ねらい」(41.0%)となっている。(図8-4)

性・年代別でみると、全体で1位にあげられた「空き巣」は、男性50代（81.3%）が最も高く、男性20代（30.8%）、女性20代（29.6%）と、約50ポイント以上の大きな差がある。また、全体で2位となった「痴漢や不審者の出没」は、女性20代が最も高く85.2%となっている。（表8-1）

表8-1 日ごろ生活の中で感じる危険 性別、性・年代別

	ひったくりや車上ねらい	空き巣	振り込め詐欺	不審者による子どもへの声かけ	痴漢や不審者の出没	自転車の盗難	落書きなどの器物損壊	その他	無回答
全体 (n=305)	41.0	59.3	14.8	19.0	49.5	27.9	24.6	13.4	1.3
男性 (n=106)	35.8	63.2	13.2	16.0	47.2	29.2	27.4	18.9	0.9
女性 (n=195)	44.1	57.9	15.9	21.0	50.8	26.7	23.1	10.8	1.5
男性20代 (n=13)	38.5	30.8	7.7	15.4	53.8	38.5	23.1	7.7	0.0
30代 (n=27)	37.0	66.7	14.8	14.8	48.1	29.6	22.2	7.4	3.7
40代 (n=22)	31.8	63.6	4.5	27.3	50.0	27.3	45.5	22.7	0.0
50代 (n=16)	43.8	81.3	18.8	31.3	56.3	43.8	18.8	31.3	0.0
60代 (n=15)	33.3	60.0	20.0	0.0	26.7	20.0	6.7	33.3	0.0
70歳以上 (n=13)	30.8	69.2	15.4	0.0	46.2	15.4	46.2	15.4	0.0
女性20代 (n=27)	37.0	29.6	0.0	7.4	85.2	25.9	14.8	18.5	0.0
30代 (n=36)	38.9	44.4	5.6	38.9	50.0	22.2	22.2	11.1	0.0
40代 (n=43)	58.1	62.8	11.6	37.2	51.2	23.3	32.6	14.0	0.0
50代 (n=25)	52.0	60.0	12.0	12.0	56.0	48.0	12.0	8.0	0.0
60代 (n=31)	48.4	74.2	38.7	12.9	45.2	25.8	22.6	3.2	3.2
70歳以上 (n=33)	27.3	72.7	27.3	6.1	24.2	21.2	27.3	9.1	6.1

地域別でみると、地域間で差が目立つのは、差が大きい順に「自転車の盗難」、「痴漢や不審者の出没」、「振り込め詐欺」となっている。特に「自転車の盗難」は、江古田・沼袋（44.1%）、上高田・新井（40.7%）と鍋横・桃園（7.7%）で30ポイント以上の大きな差がある。（表8-2）

表8-2 日ごろ生活の中で感じる危険 地域別

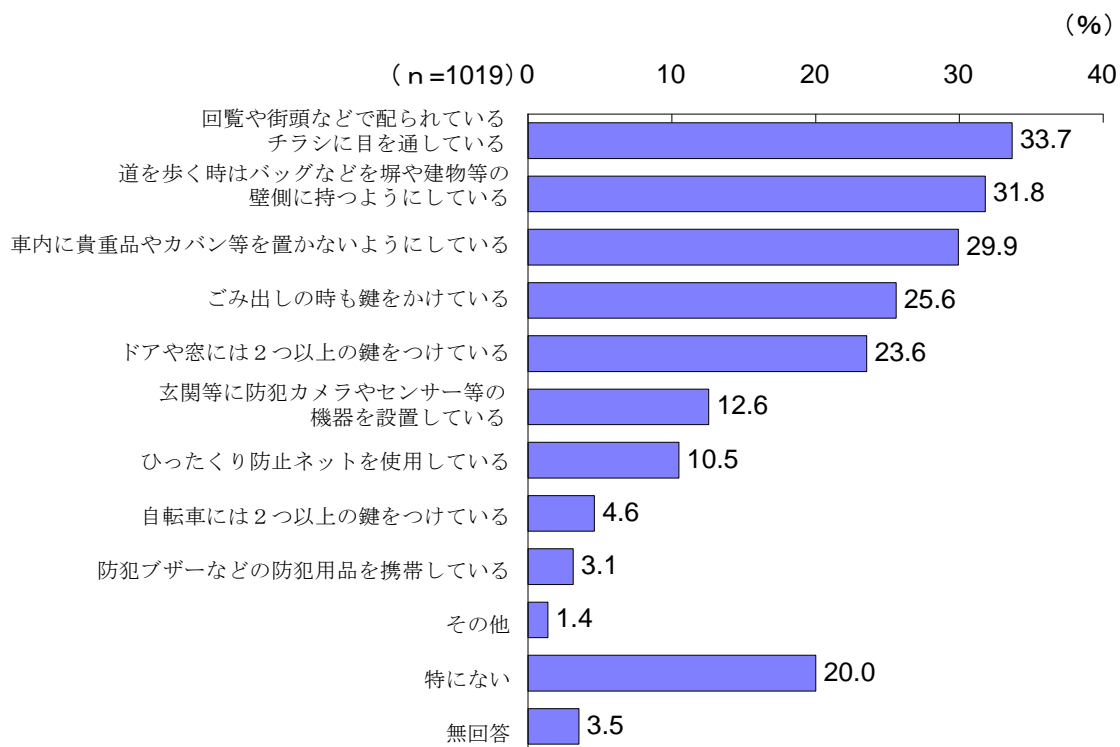
	ひったくりや車上ねらい	空き巣	振り込め詐欺	不審者による子どもへの声かけ	痴漢や不審者の出没	自転車の盗難	落書きなどの器物損壊	その他	無回答
全体 (n=305)	41.0	59.3	14.8	19.0	49.5	27.9	24.6	13.4	1.3
南中野 (n=38)	47.4	55.3	5.3	10.5	52.6	28.9	23.7	15.8	2.6
弥生・東部 (n=51)	35.3	54.9	23.5	13.7	45.1	21.6	21.6	13.7	0.0
鍋横・桃園 (n=26)	34.6	61.5	15.4	19.2	38.5	7.7	34.6	23.1	3.8
昭和・東中野 (n=30)	40.0	56.7	3.3	16.7	50.0	26.7	33.3	20.0	0.0
上高田・新井 (n=27)	33.3	51.9	14.8	14.8	40.7	40.7	25.9	11.1	3.7
江古田・沼袋 (n=34)	35.3	61.8	17.6	23.5	47.1	44.1	20.6	11.8	0.0
野方・大和 (n=44)	47.7	63.6	15.9	25.0	59.1	31.8	22.7	9.1	0.0
鷺宮・上鷺宮 (n=55)	47.3	65.5	16.4	25.5	54.5	23.6	21.8	9.1	1.8

(2) 日ごろ行っている防犯対策

◇何らかの防犯対策をしている人が7割以上

問8 あなたが日ごろ行なっている防犯対策は何ですか。(いくつでも○)

図8-5 日ごろ行っている防犯対策

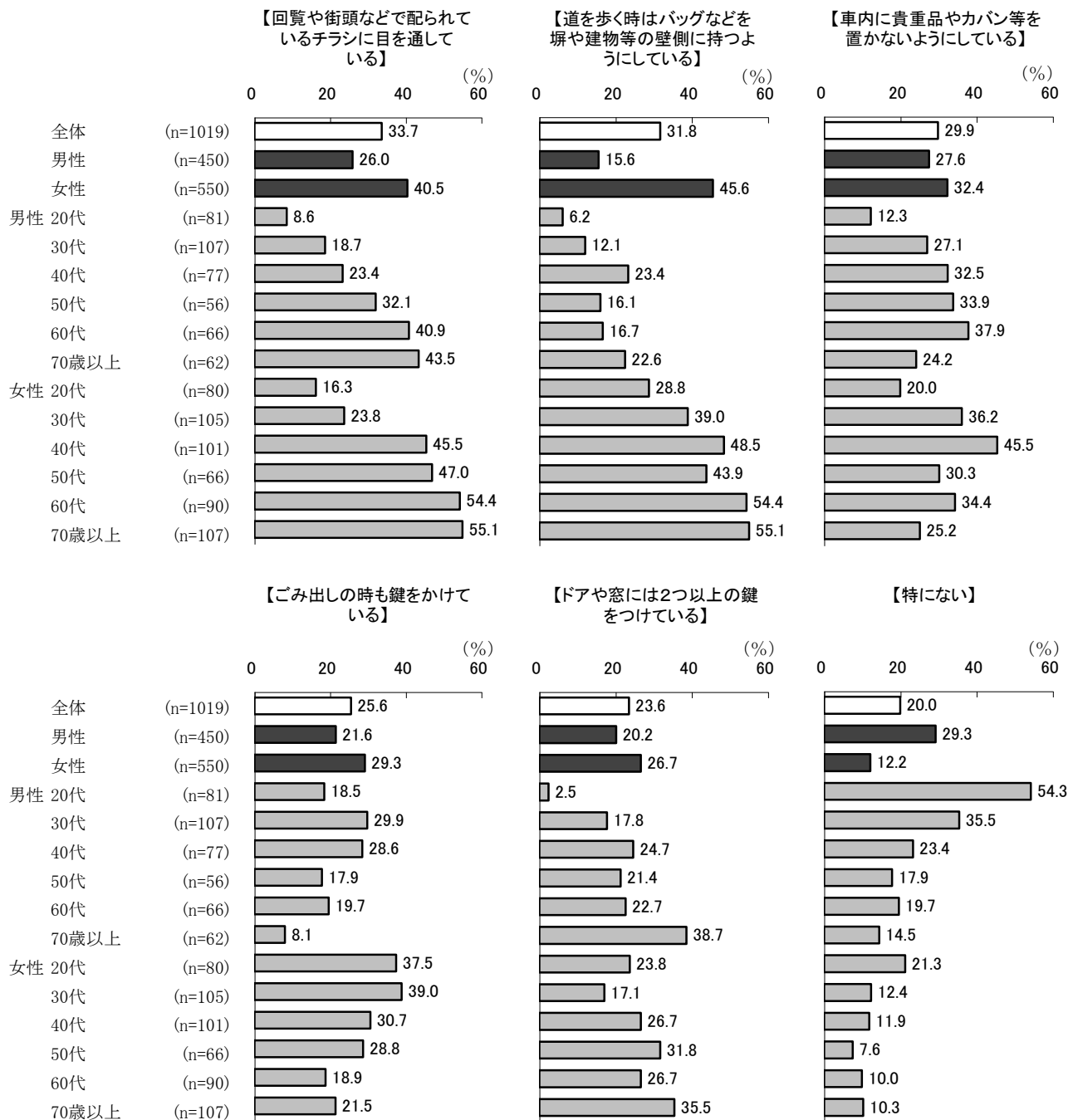


日ごろ行っている防犯対策について聞いたところ、「特にない」(20.0%)と「無回答」(3.5%)を除いて、何らかの対策をしている人が7割以上となっている。その内容をみると、「回覧や街頭などで配られているチラシに目を通してしている」(33.7%)、「道を歩く時はバッグなどを塀や建物等の壁側に持つようにしている」(31.8%)、「車内に貴重品やカバン等を置かないようにしている」(29.9%)などがあげられ、それぞれ3割前後となっている。(図8-5)

上位6項目について性別でみると、「特にない」を除く防犯対策を行っている割合は、5項目すべてで女性が男性より高くなっている。

性・年代別でみると、「回覧や街頭などで配られているチラシに目を通してしている」では女性（40.5%）が男性（26.0%）より高く、男女とも年代が上がるにつれて、高くなっている。「道を歩く時はバッグなどを扉や建物等の壁側に持つようにしている」は女性（45.6%）が男性（15.6%）を大きく上回っている。「ドアや窓には2つ以上の鍵をつけている」は男女ともに、70歳以上が高い。「特にない」は男性（29.3%）が女性（12.2%）を大きく上回っており、特に男性20代（54.3%）は5割を超えている。（図8-6）

図8-6 日ごろ行っている防犯対策 性別、性・年代別



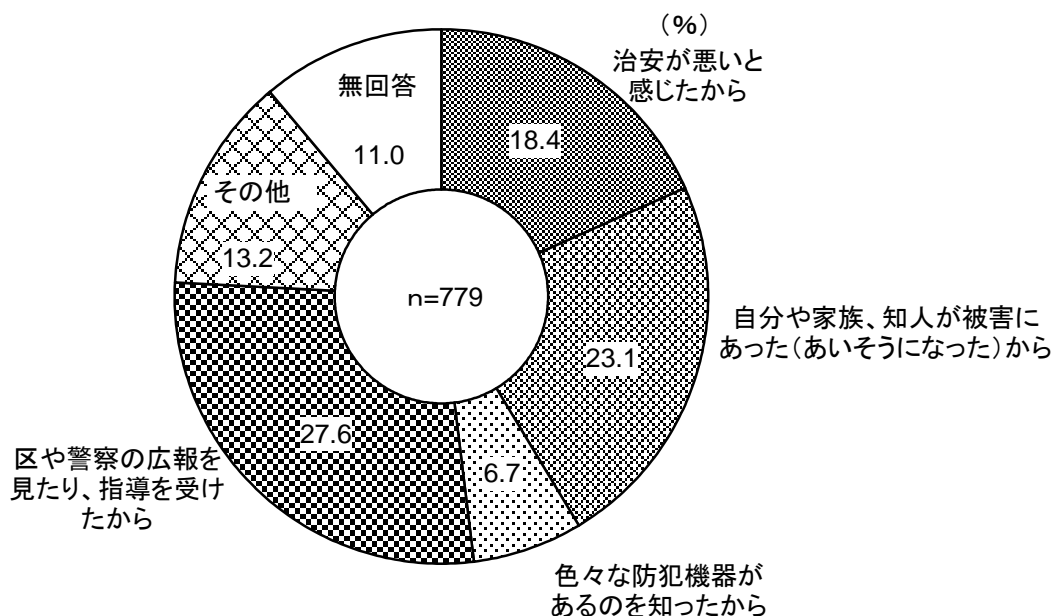
(2-1) 防犯対策をはじめたきっかけ

◇「区や警察の広報を見たり、指導を受けたから」がトップ

【問8で「1」～「10」と答えた方に伺います】

問8-1 あなたが防犯対策をはじめたきっかけは何ですか。(1つに○)

図8-7 防犯対策をはじめたきっかけ



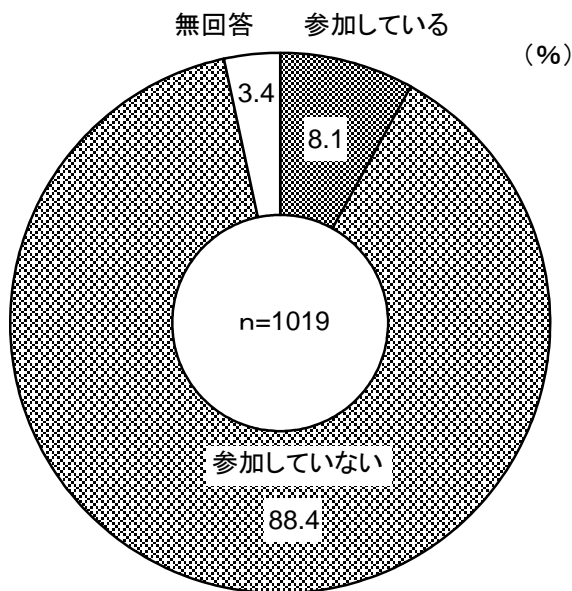
何らかの防犯対策を行っている人に対策を始めたきっかけについて聞いたところ、「区や警察の広報を見たり、指導を受けたから」(27.6%)が最も高く、次いで「自分や家族、知人が被害にあった(あいそうになった)から」(23.1%)、「治安が悪いと感じたから」(18.4%)となっている。(図8-7)

(3) 『まちの安全のための活動』への参加状況

◇「参加していない」が約9割

問9 あなたは町会・自治会やP T Aなどの地域団体が行うまちの安全のための活動に参加していますか。(1つに○)

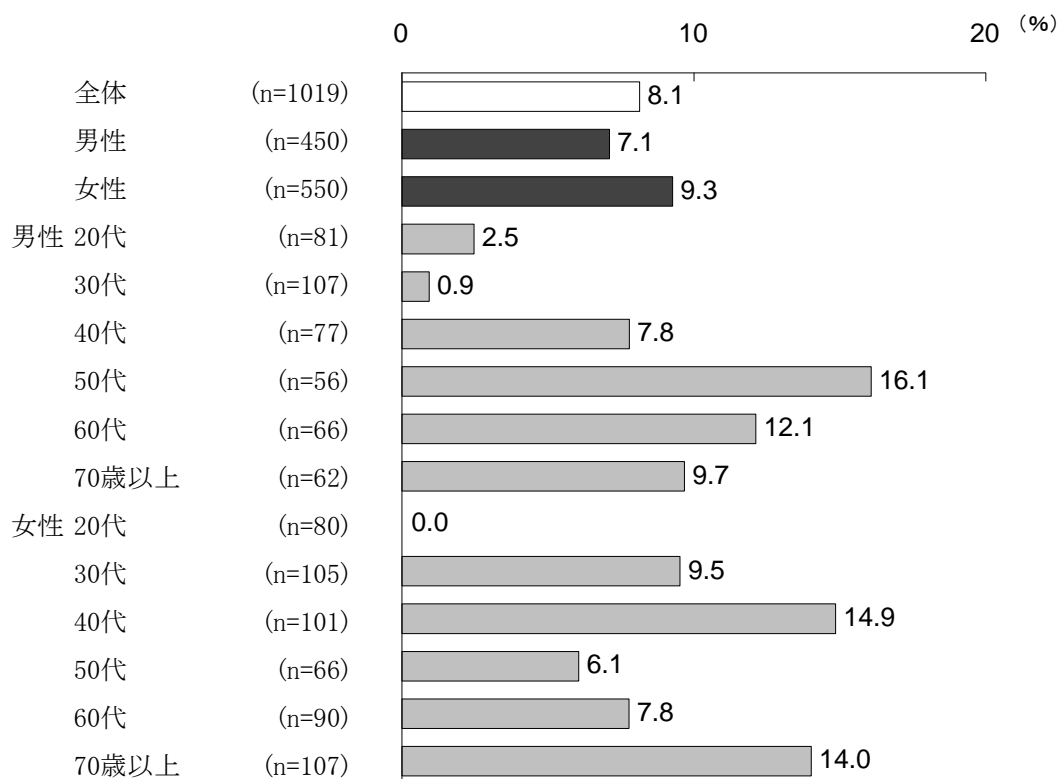
図8-8 『まちの安全のための活動』への参加状況



町会・自治会やP T Aなどの地域団体が行っている『まちの安全のための活動』への参加状況について聞いたところ、「参加している」はわずか8.1%にとどまり、「参加していない」が大部分を占めている。(図8-8)

性・年代別で見ると、「参加している」は男性は50代（16.1%）、女性は40代（14.9%）で最も高く、一方、男性20代（2.5%）、男性30代（0.9%）、女性20代（0.0%）で非常に低くなっている。（図8-9）

図8-9 『まちの安全活動のための活動』への参加状況 性別、性・年代別



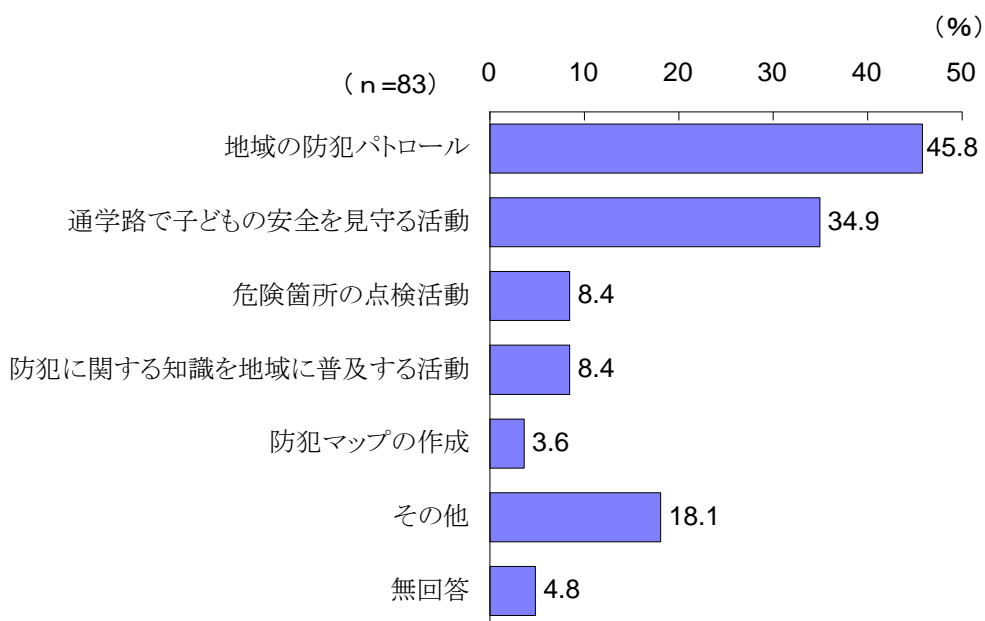
(3-1) 参加している『まちの安全のための活動』

◇「地域の防犯パトロール」が4割半ば

【問9で「1 参加している」と答えた方に伺います】

問9-1 あなたはどのような活動に参加していますか。(いくつでも○)

図8-10 参加している『まちの安全のための活動』



『まちの安全のための活動』に参加している人にその活動内容を聞いたところ、「地域の防犯パトロール」(45.8%)が最も高く、次いで「通学路で子どもの安全を見守る活動」(34.9%)となっている。(図8-10)

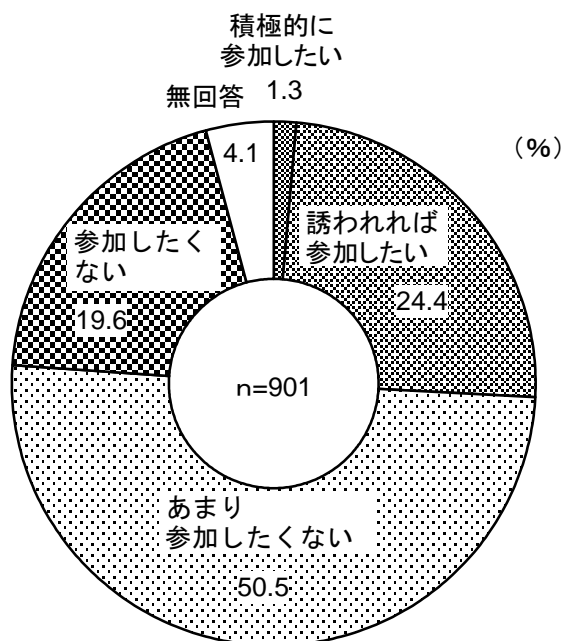
(3-2) 『まちの安全のための活動』への参加意向

◇『参加する意思がある』人は2割半ば

【問9で「2 参加していない」と答えた方に伺います】

問9-2 あなたは町会・自治会やPTAなどの地域団体が行うまちの安全のための活動に参加したいと思いませんか。

図8-11 『まちの安全のための活動』への参加意向



『まちの安全のための活動』に参加していない人に参加への意向を聞いたところ、「積極的に参加したい」(1.3%)、「誘われれば参加したい」(24.4%)を合計した『参加する意思がある』人は2割半ばにとどまった。(図8-11)

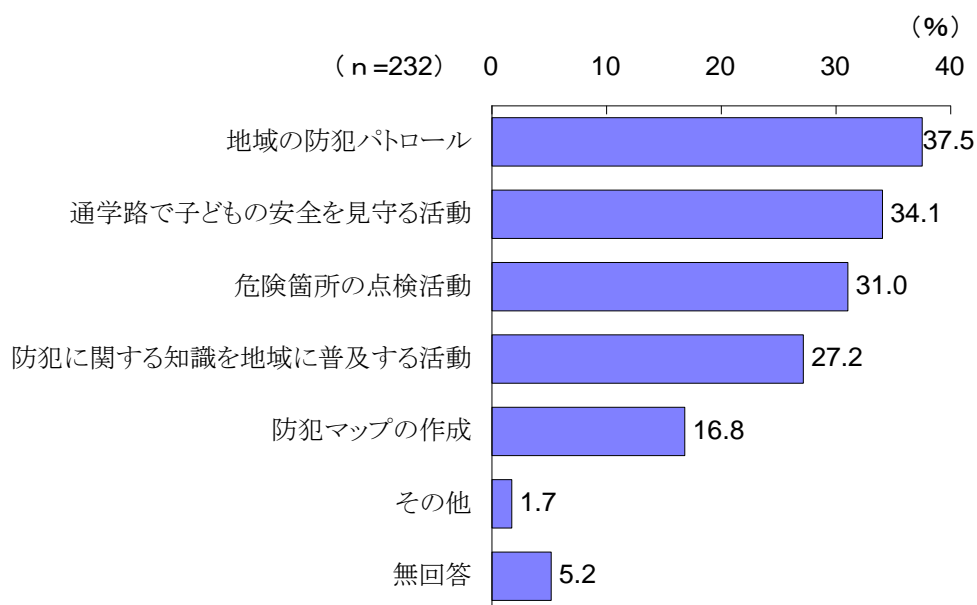
(3-3) 参加したい『まちの安全のための活動』

◇「地域の防犯パトロール」がトップ、次いで「通学路で子どもの安全を見守る活動」

【問9-2で「1 積極的に参加したい」「2 誘われれば参加したい」と答えた方に伺います】

問9-3 あなたはどのような活動に参加したいと思いますか。(いくつでも○)

図8-12 参加したい『まちの安全のための活動』



『まちの安全のための活動』に『参加する意思がある』人に、参加したい活動を聞いたところ、「地域の防犯パトロール」(37.5%)、「通学路で子どもの安全を見守る活動」(34.1%)、「危険箇所の点検活動」(31.0%) がともに3割台となっている。問9-1 (参加している活動) の上位2項目がここでも上位を占めているが、参加が1割未満にとどまっていた「危険箇所の点検活動」(31.0%)、「防犯に関する知識を地域に普及する活動」(27.2%) も3割前後と高くなっている。(図8-12)

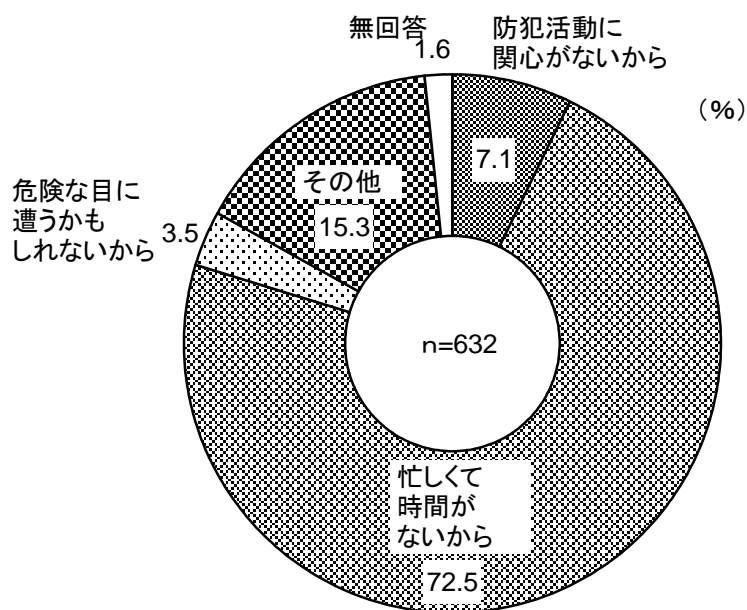
(3-4) 参加したくない理由

◇「忙しくて時間がないから」が7割以上

【問9-2で「3 あまり参加したくない」「4 参加したくない」と答えた方に伺います】

問9-4 参加したくない理由は何ですか。(1つに○)

図8-13 参加したくない理由



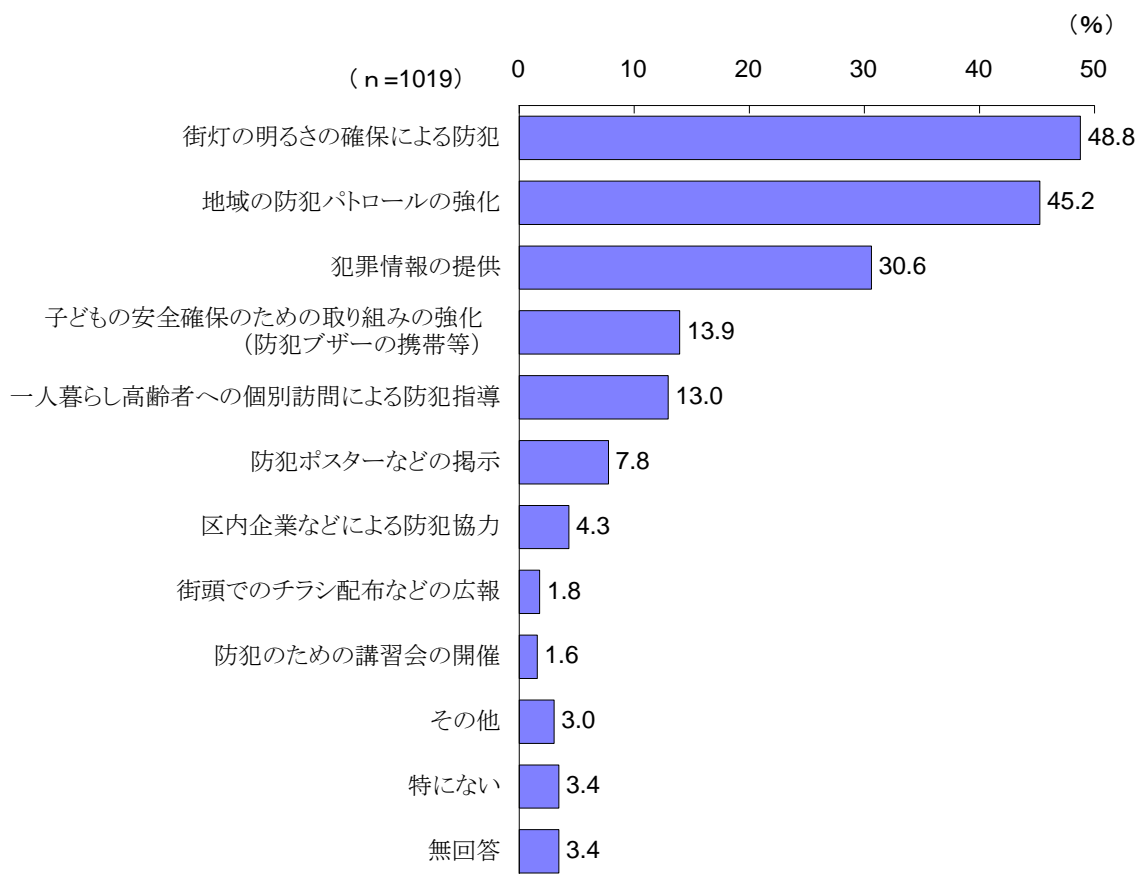
『まちの安全のための活動』に「あまり参加したくない」「参加したくない」と答えた人にその理由を聞いたところ、「忙しくて時間がないから」(72.5%)が7割を超えている。(図8-13)

(4) 犯罪防止に有効な取組み

◇「街灯の明るさの確保による防犯」が半数近く、次いで「地域の防犯パトロールの強化」

問10 あなたのお住まいの地域で、犯罪を未然に防止するためには、どのような取組みが有効だと思いますか。(2つまで○)

図8-14 犯罪防止に有効な取組み



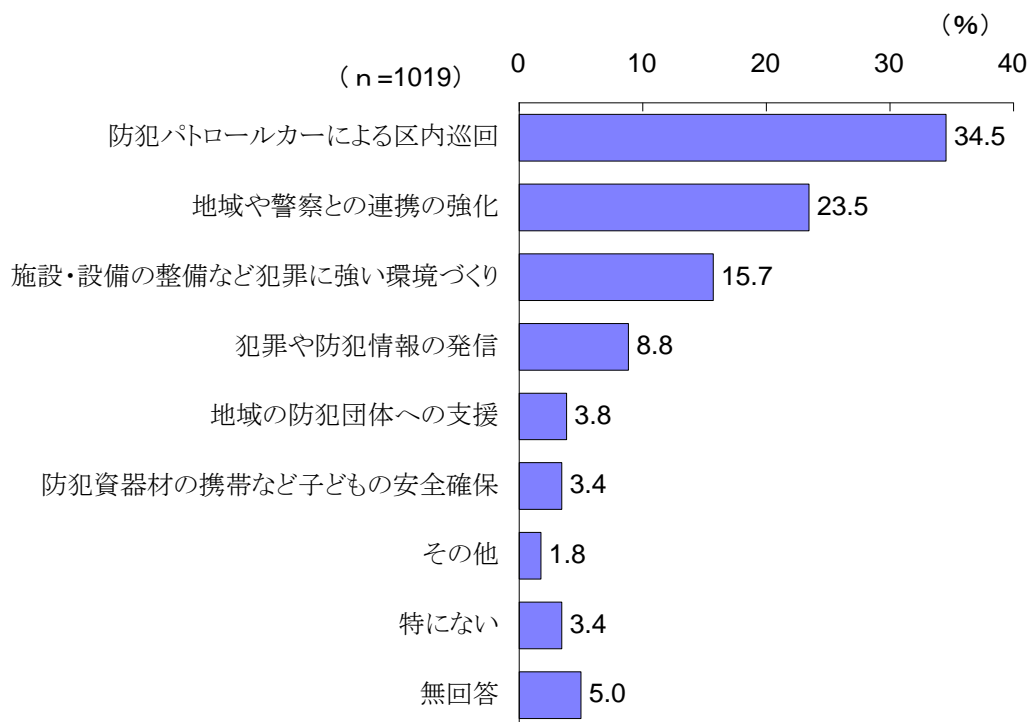
犯罪を未然に防止するために有効な取組みについて聞いたところ、「街灯の明るさの確保による防犯」(48.8%)、「地域の防犯パトロールの強化」(45.2%)がともに4割半ばを超え、次いで「犯罪情報の提供」(30.6%)となっている。地域の防犯パトロールについては、問9-1(参加している活動)と問9-3(参加したい活動)でも1位になっている。(図8-14)

(5) 区が取り組むべき防犯対策

◇「防犯パトロールカーによる区内巡回」が3割強

問11 あなたは区が取り組むべき最も重要な防犯対策は何だと思えますか。(1つに○)

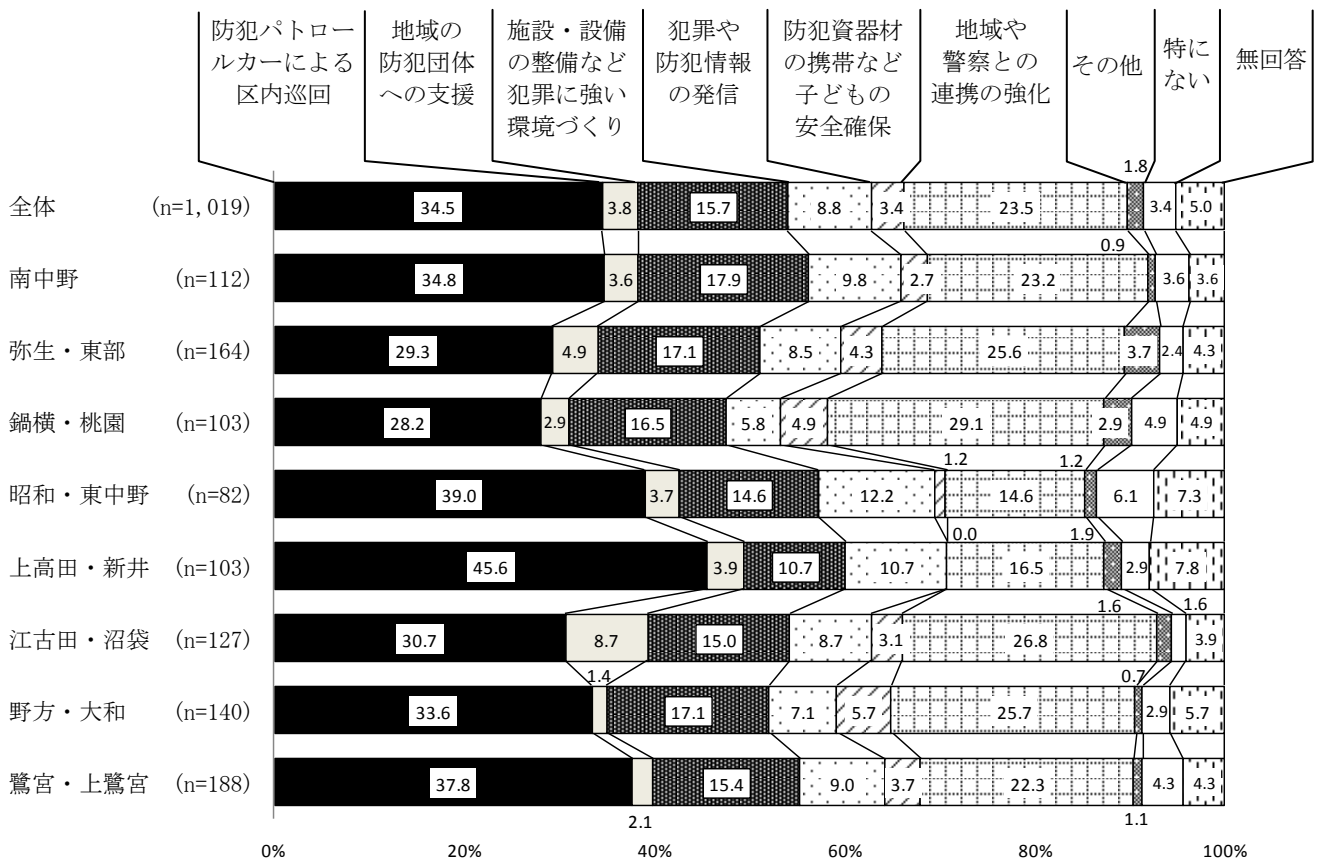
図8-15 区が取り組むべき防犯対策



区が取り組むべき防犯対策について聞いたところ、「防犯パトロールカーによる区内巡回」(34.5%)が最も高く、次いで「地域や警察との連携の強化」(23.5%)、「施設・設備の整備など犯罪に強い環境づくり」(15.7%)となっている。(図8-15)

地域別でみると、地域間で差が目立つのは「防犯パトロールカーによる区内巡回」で、上高田・新井（45.6%）が最も高く、次いで昭和・東中野（39.0%）となっている。一方、鍋横・桃園（28.2%）、弥生・東部（29.3%）では3割弱となっている。また、「地域や警察との連携の強化」では鍋横・桃園（29.1%）が最も高く、次いで江古田・沼袋（26.8%）となっており、一方、昭和・東中野（14.6%）、上高田・新井（16.5%）では1割台となっている。（図8-16）

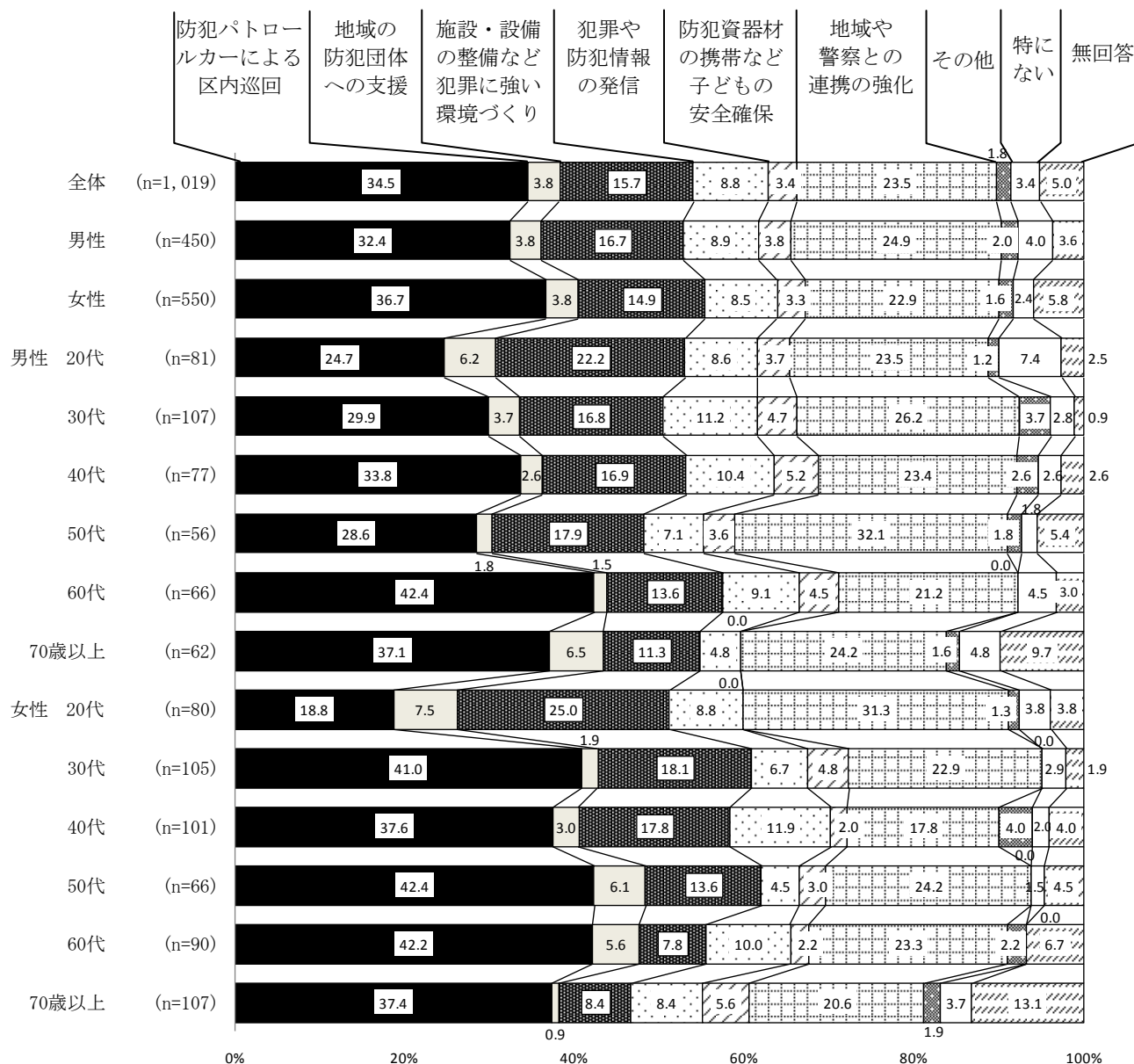
図8-16 区が取り組むべき防犯対策 地域別



性別でみると、男女間で顕著な差はみられない。

性・年代別でみると、「防犯パトロールカーによる区内巡回」は、男性60代(42.4%)、女性30代(41.0%)、女性50代(42.4%)、女性60代(42.2%)で4割を超えているが、女性20代(18.8%)では2割を下回っている。「地域や警察との連携の強化」は、男性50代(32.1%)、女性20代(31.3%)で3割を超えている。(図8-17)

図8-17 区が取り組むべき防犯対策 性別、性・年代別



4 仕事

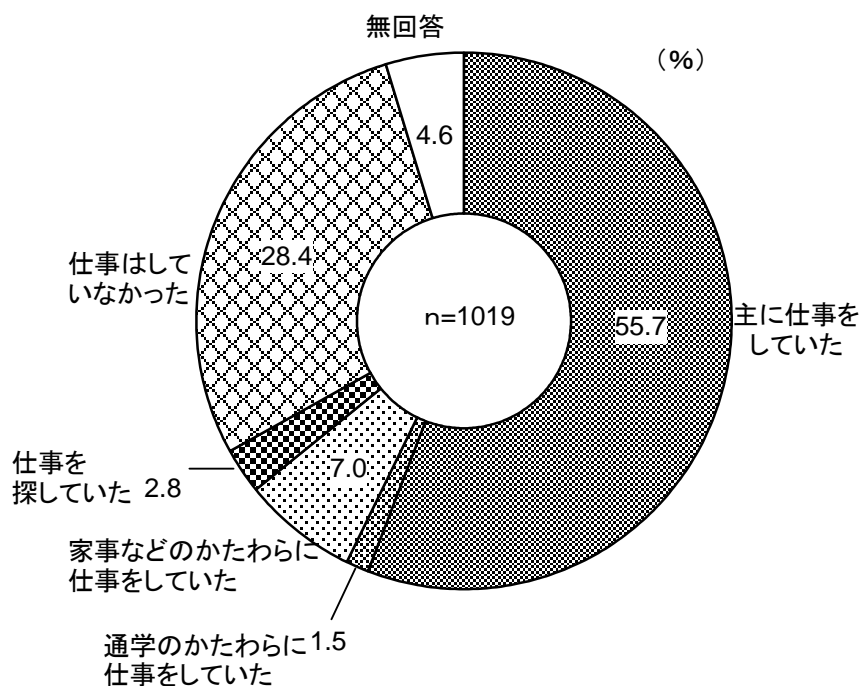
※以下の設問での「仕事」とは収入を伴うものをいい、自家営業の手伝いや内職も含みます。

(1) 就労状況

◇『仕事をしてきた』人が6割を超えている

問12 あなたはこの1週間に、仕事をしましたか。(1つに○)

図9-1 就労状況

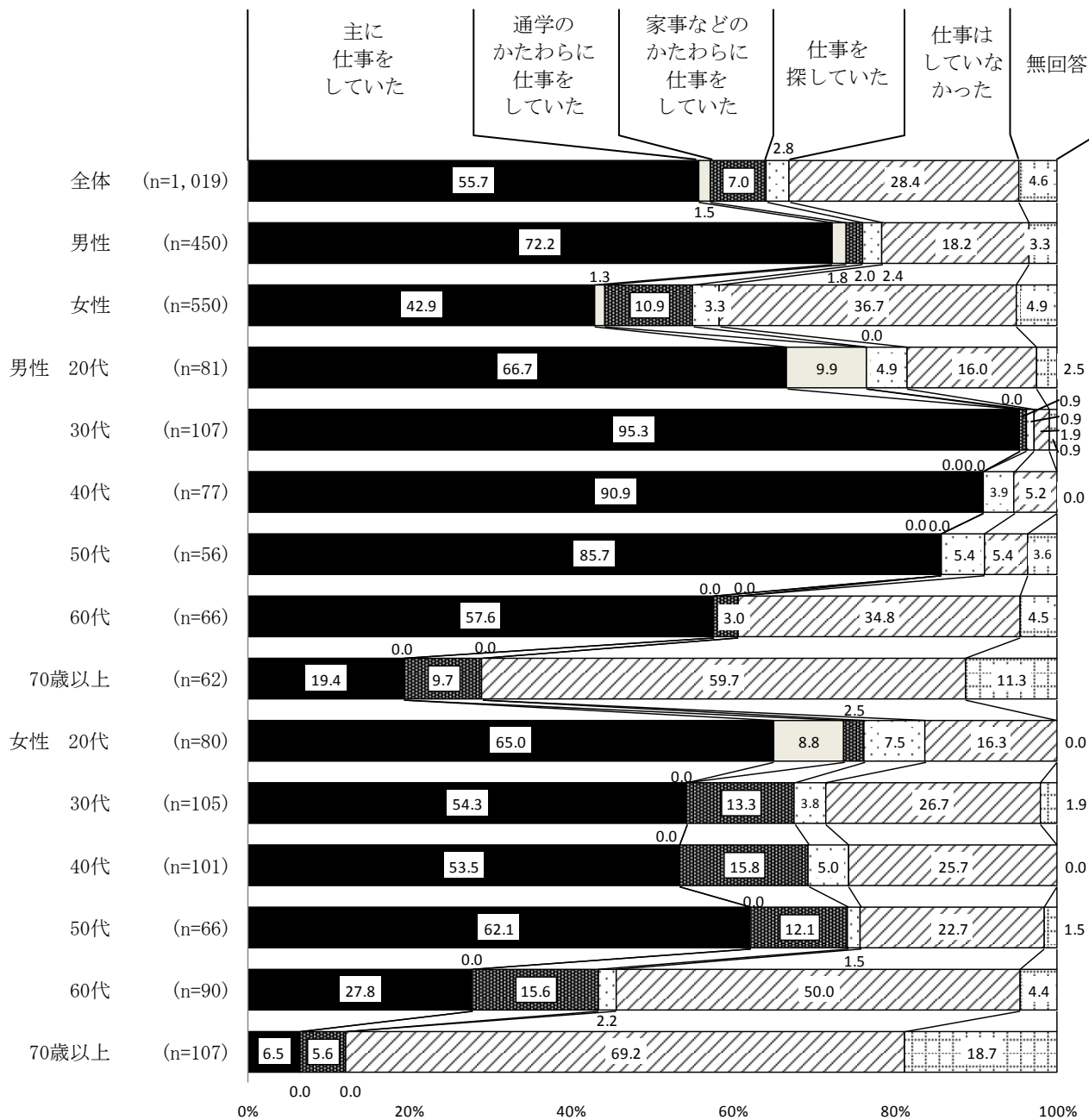


この1週間に収入を伴う仕事をしたか聞いたところ、「主に仕事をしてきた」は55.7%で、これに「通学のかたわらに仕事をしてきた」(1.5%)、「家事などのかたわらに仕事をしてきた」(7.0%)、を合計した『仕事をしてきた』人は6割を超えている。一方、「仕事を探していた」は2.8%、「仕事はしてなかった」は28.4%となっている。(図9-1)

性別でみると、「主に仕事をしてきた」人の割合は、女性に比べ男性の方が29.3ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、男性30代（95.3%）、男性40代（90.9%）、50代（85.7%）で高く、特に男性30代では9割半ばとなっている。（図9-2）

図9-2 就労状況 性別、性・年代別



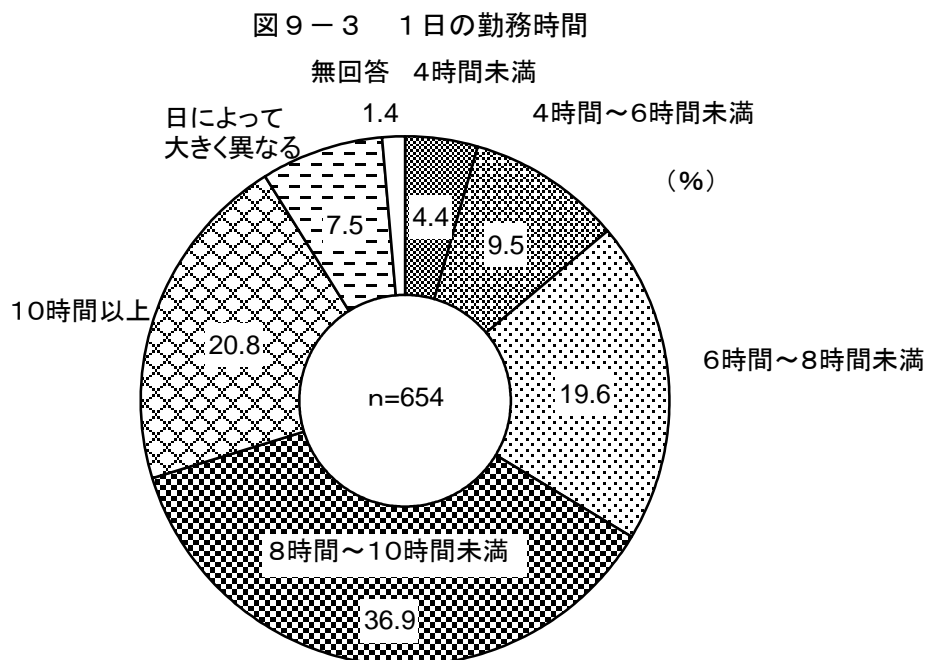
(1-1) 1日の勤務時間

◇「8時間～10時間未満」が3割半ば

【問12で「1」～「3」と答えた方に伺います】

問12-1 あなたのふだんの1日の勤務時間はおよそ何時間ですか。

残業時間を含めてお答えください。(1つに○)

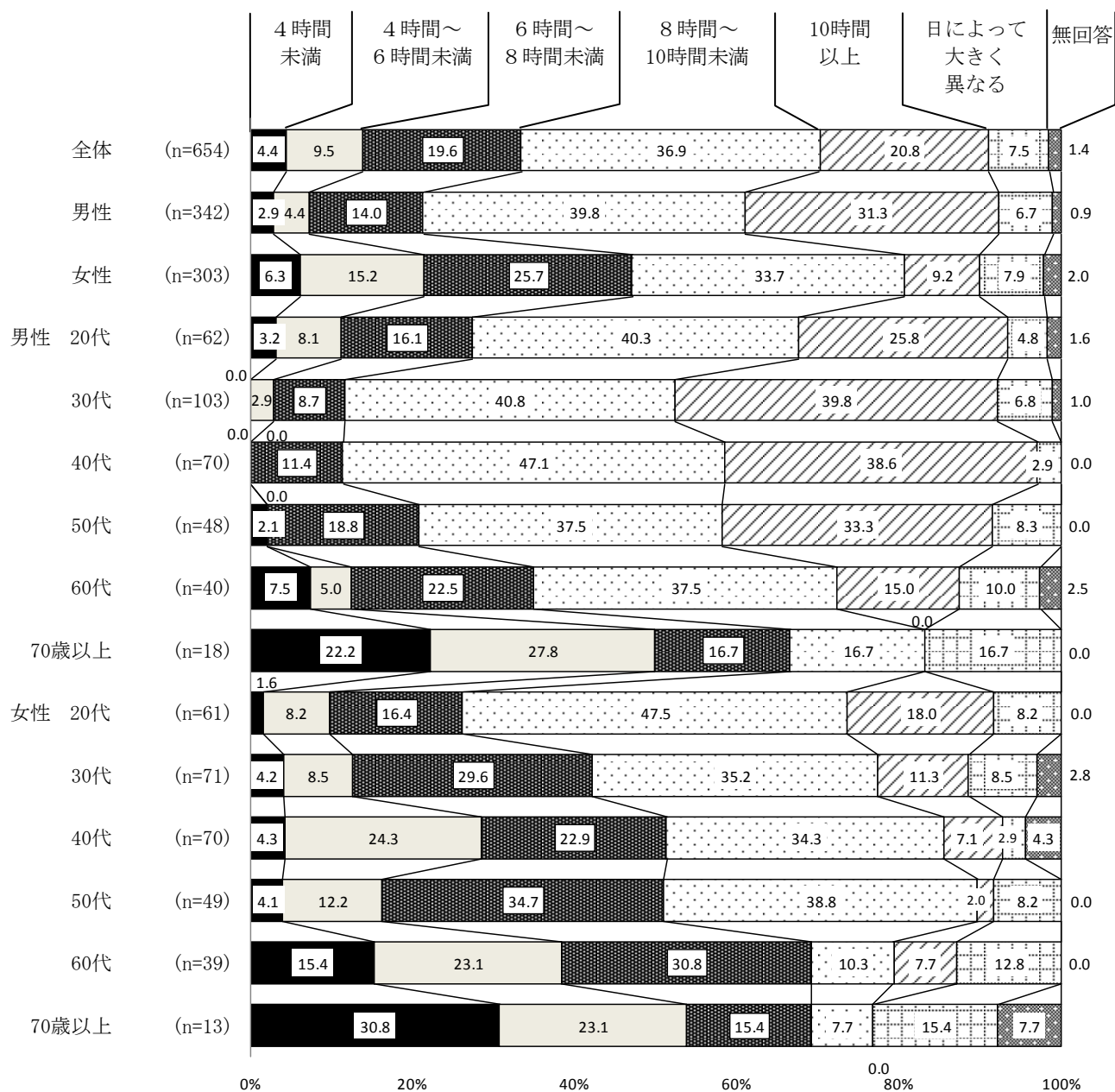


『仕事をしていた』人に勤務時間を聞いたところ、「8時間～10時間未満」(36.9%)が最も高く、次いで「10時間以上」(20.8%)、「6時間～8時間未満」(19.6%)となっている。(図9-3)

性別でみると、『8時間未満』は男性21.3%、女性47.2%で女性の方が20ポイント以上高く、「8時間～10時間未満」はあまり差がないものの、『10時間以上』では男性31.3%、女性9.2%となっており、男性の方が20ポイント以上高くなっている。

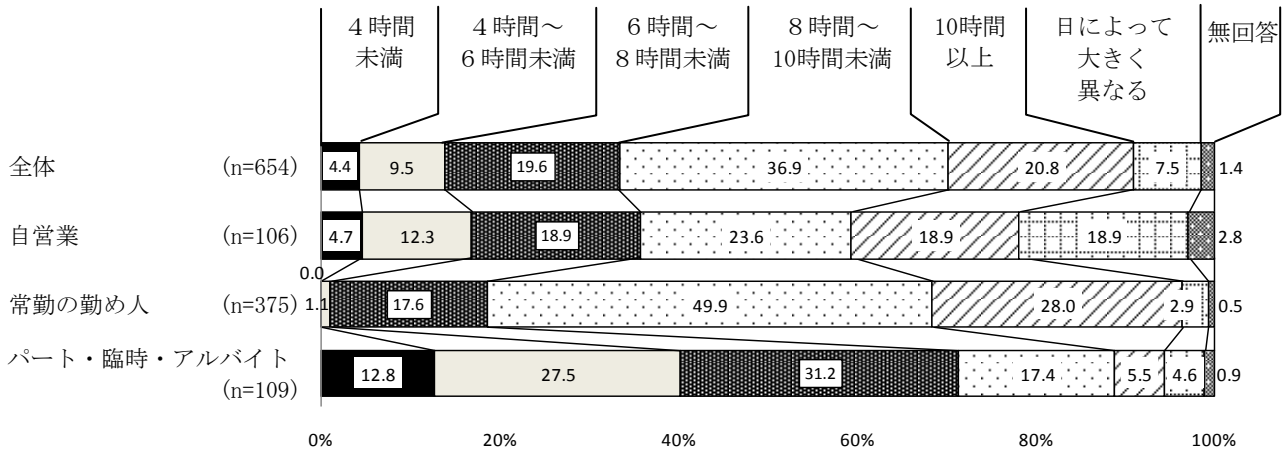
性・年代別でみると、『8時間未満』は、男性20代を除き、男女ともに年代が上がるにつれておおむね高くなっている。(図9-4)

図9-4 1日の勤務時間 性別、性・年代別



職業別でみると、常勤の勤め人では「8時間～10時間未満」が49.9%と約半数を占め、「10時間以上」も28.0%と他に比べて高くなっている。パート・臨時・アルバイトでは、『8時間未満』が7割を超え、自営業では勤務時間にばらつきがみられる。(図9-5)

図9-5 1日の勤務時間 職業別



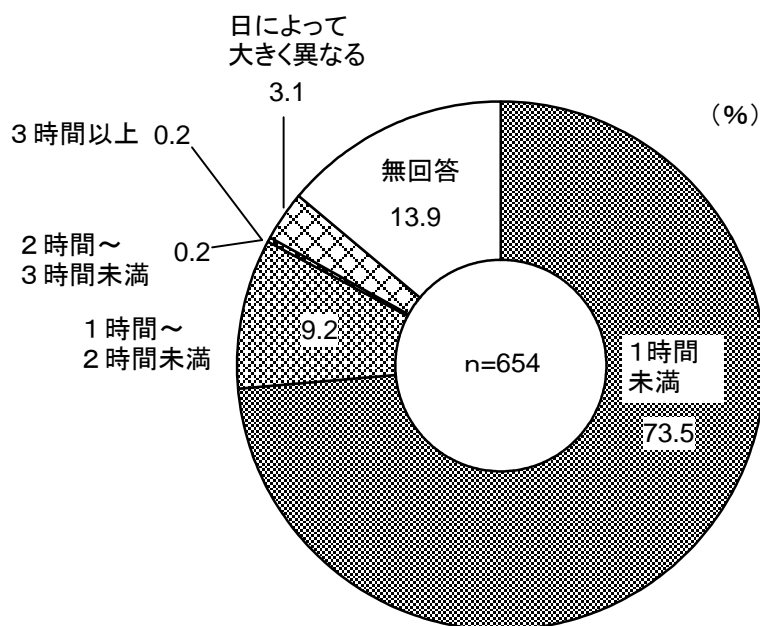
(1-2) 片道通勤時間

◇「1時間未満」が7割以上

【問12で「1」～「3」と答えた方に伺います】

問12-2 あなたのふだんの片道通勤時間はおよそ何時間ですか。(1つに○)

図9-6 片道通勤時間



『仕事をしていた』人に片道通勤時間を聞いたところ、「1時間未満」が73.5%と7割以上を占めている。問5の生活環境について「交通の便」が良いとの評価も6割を超えており、通勤の便は比較的良いことがうかがえる。(図9-6)

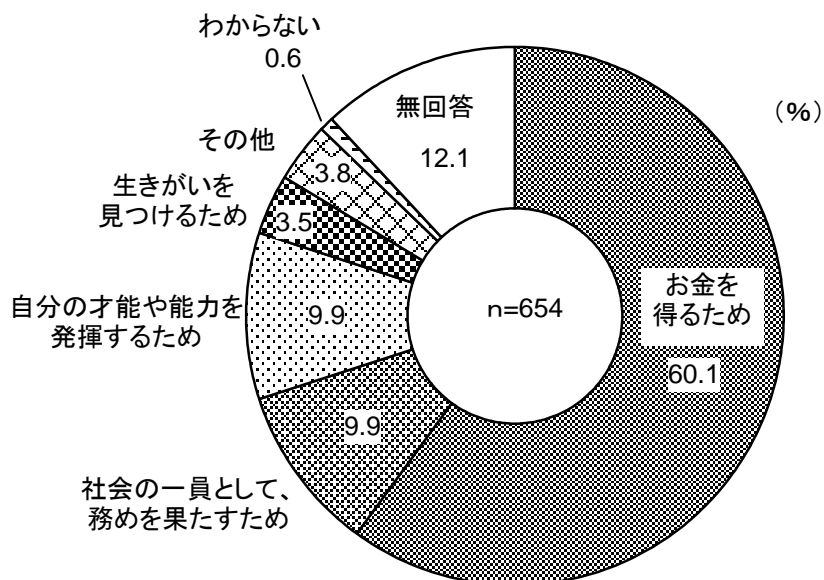
(1-3) 仕事をする目的

◇「お金を得るため」が6割

【問12で「1」～「3」と答えた方に伺います】

問12-3 あなたが仕事をしている目的はなんですか。(あなたの考えに近いもの1つに○)

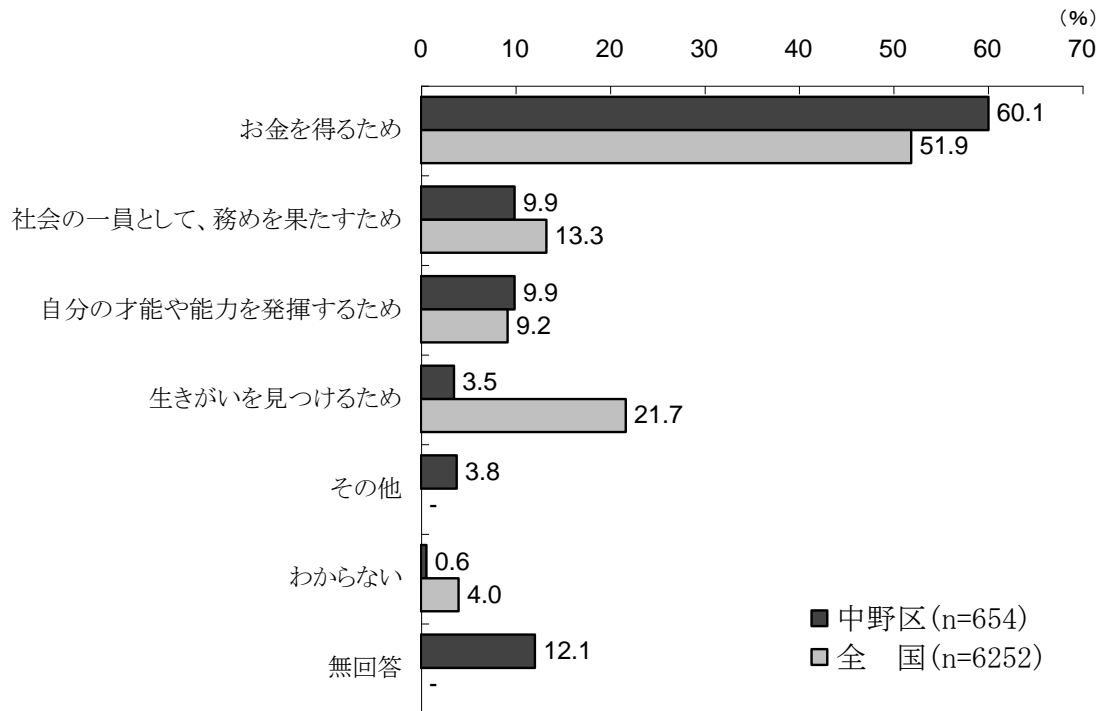
図9-7 仕事をする目的



『仕事をしてきた』人に仕事をしている目的について聞いたところ、「お金を得るため」(60.1%)が6割で他と比べて圧倒的に高くなっている。(図9-7)

内閣府が実施した「国民生活に関する世論調査（平成21年6月調査）」でも、働く目的について質問している。この調査は全国単位で行われた抽出調査であり、中野区の今回の結果と比較してみると、「お金を得るため」が中野区では60.1%なのに対して、全国では51.9%となっている。また、「生きがいを見つけるため」は中野区では3.5%なのに対して、全国では21.7%と顕著な差が見られる。（図9－8）

図9－8 仕事をする目的 国調査との比較



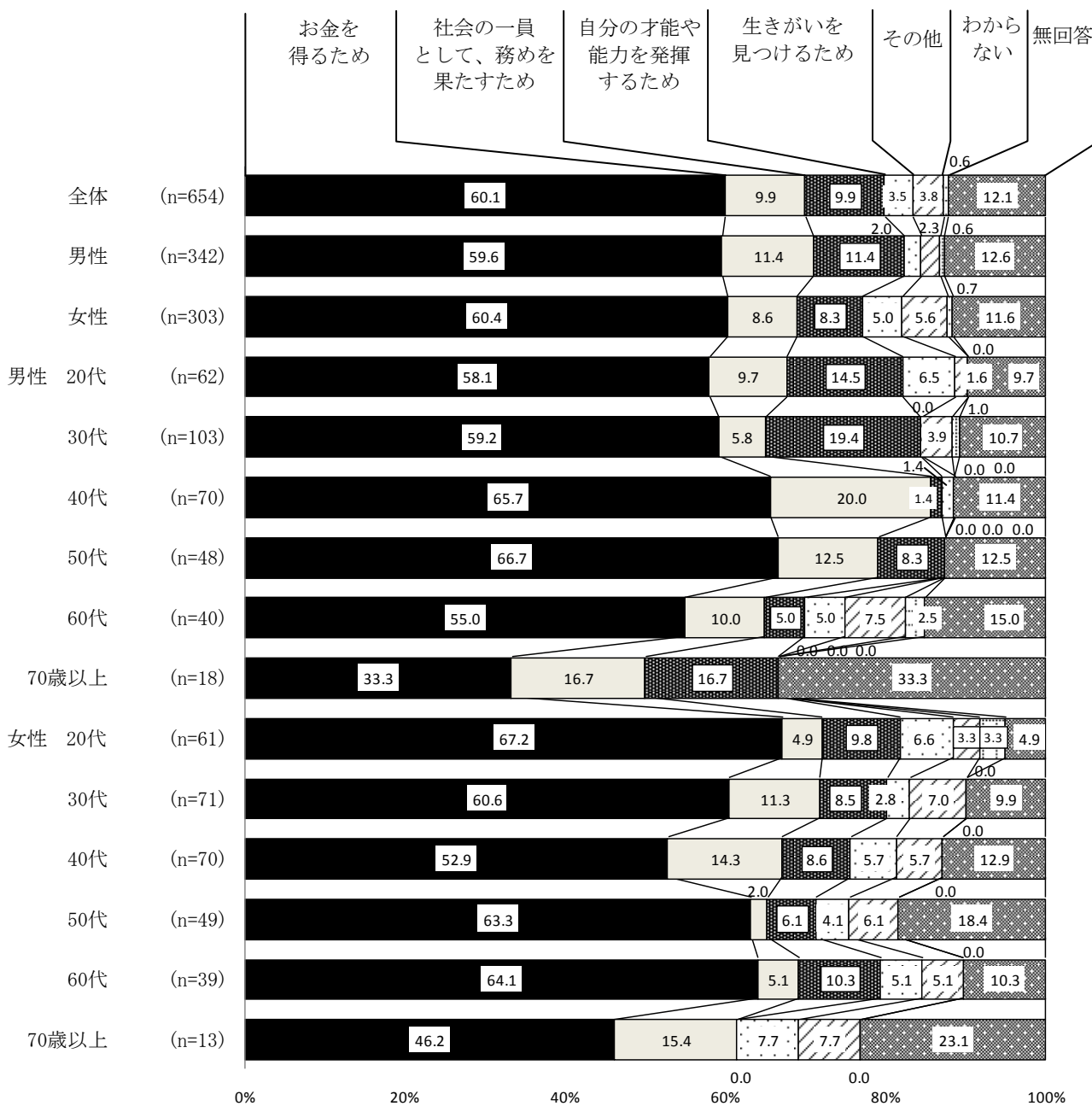
※全国調査においては、「その他」の選択肢はない。また、無回答の有無については記述がない。

資料：内閣府「国民生活に関する世論調査」（平成21年6月）

性別でみると、男女間で顕著な差はみられない。

性・年代別でみると、「社会の一員として、務めを果たすため」は男女ともに40代、70歳以上で高くなっており、「自分の才能や能力を発揮するため」は、男性20代（14.5%）、男性30代（19.4%）、男性70歳以上（16.7%）で高くなっている。（図9-9）

図9-9 仕事をする目的 性別、性・年代別



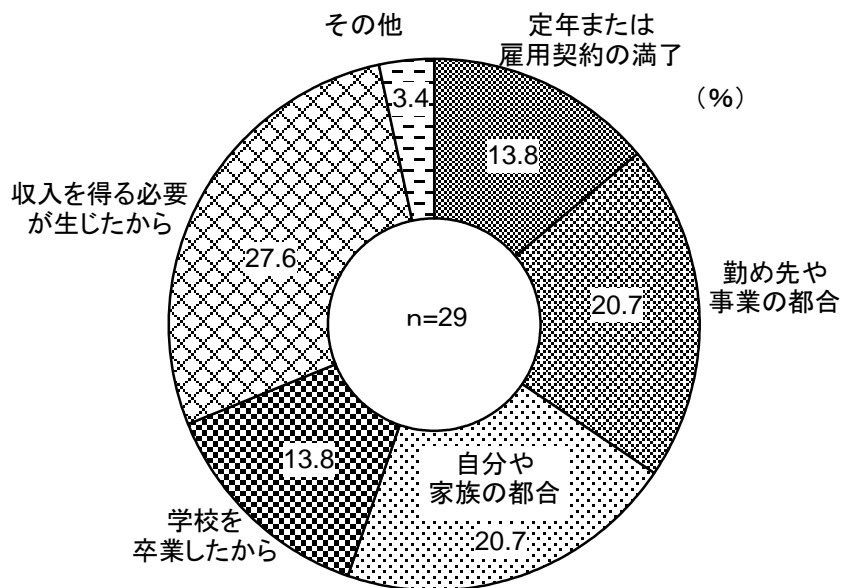
(1-4) 仕事を探し始めた理由

◇「収入を得る必要が生じたから」が約3割

【問12で「4 仕事を探していた」と答えた方に伺います】

問12-4 あなたが仕事を探し始めた理由は何ですか。(1つに○)

図9-10 仕事を探し始めた理由



『仕事を探していた』人に探し始めた理由を聞いたところ、「収入を得る必要が生じたから」(27.6%)が最も高く、次いで「勤め先や事業の都合」(20.7%)と「自分や家族の都合」(20.7%)が並んでいる。(図9-10)

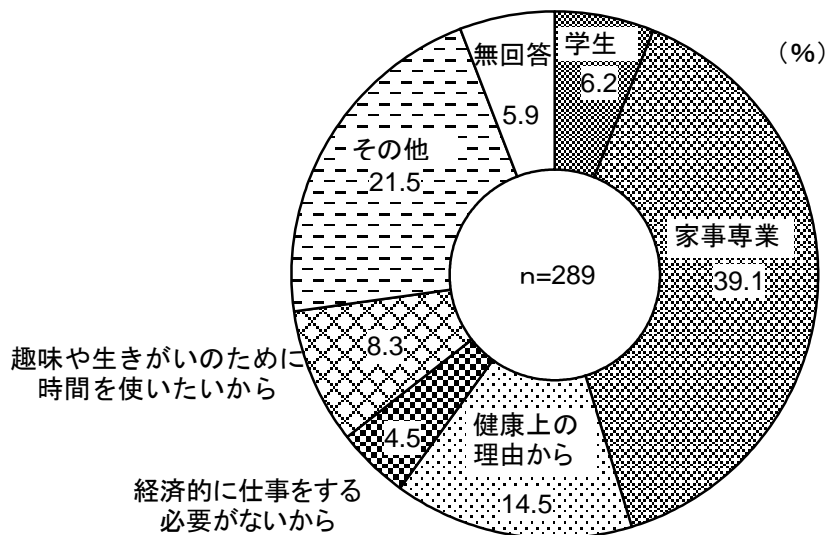
(1-5) 仕事をしていない理由

◇「家事専業」が約4割

【問12で「5 仕事はしていなかった」と答えた方に伺います】

問12-5 あなたが仕事をしていなかった理由はこの中のどれにあたりますか。(1つに○)

図9-11 仕事をしていない理由



「仕事はしていなかった」人にその理由を聞いたところ、「専業主婦」(39.1%)が約4割となっている。「その他」(21.5%)では、「(定年などの)年齢のため」との記述が目立った。(図9-11)

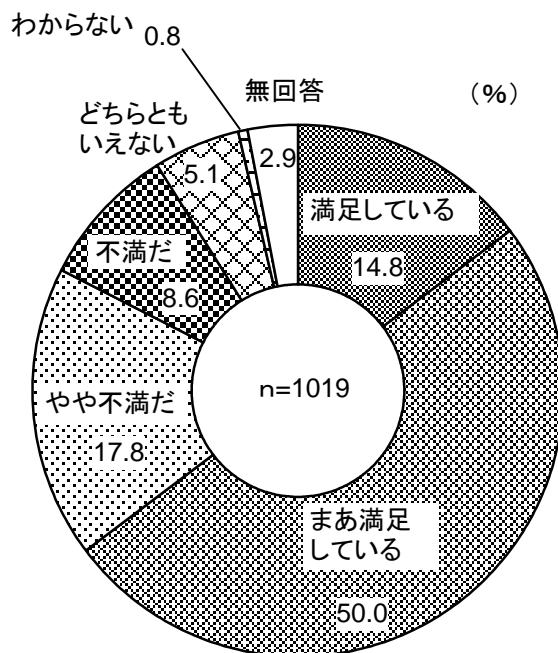
5 生活に対する満足度

(1) 生活に対する満足度

◇6割半ばが『満足している』

問13 あなたは、現在の生活に満足していますか、満足していませんか。(1つに○)

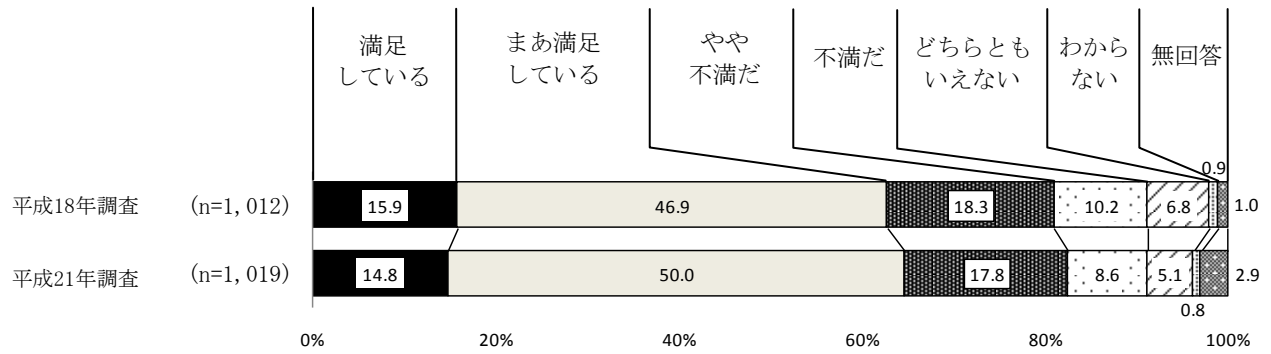
図10-1 生活に対する満足度



現在の生活に対する満足度を聞いたところ、「満足している」(14.8%)と「まあ満足している」(50.0%)を合わせた『満足層』は6割半ばとなっている。一方、「やや不満だ」(17.8%)と「不満だ」(8.6%)を合わせた『不満層』は2割半ばとなっている。(図10-1)

前回の調査（平成18年）と比較すると、『満足層』が2.0ポイント増え、『不満層』は2.1ポイント減少しているが、大きな変化はみられない。（図10-2）

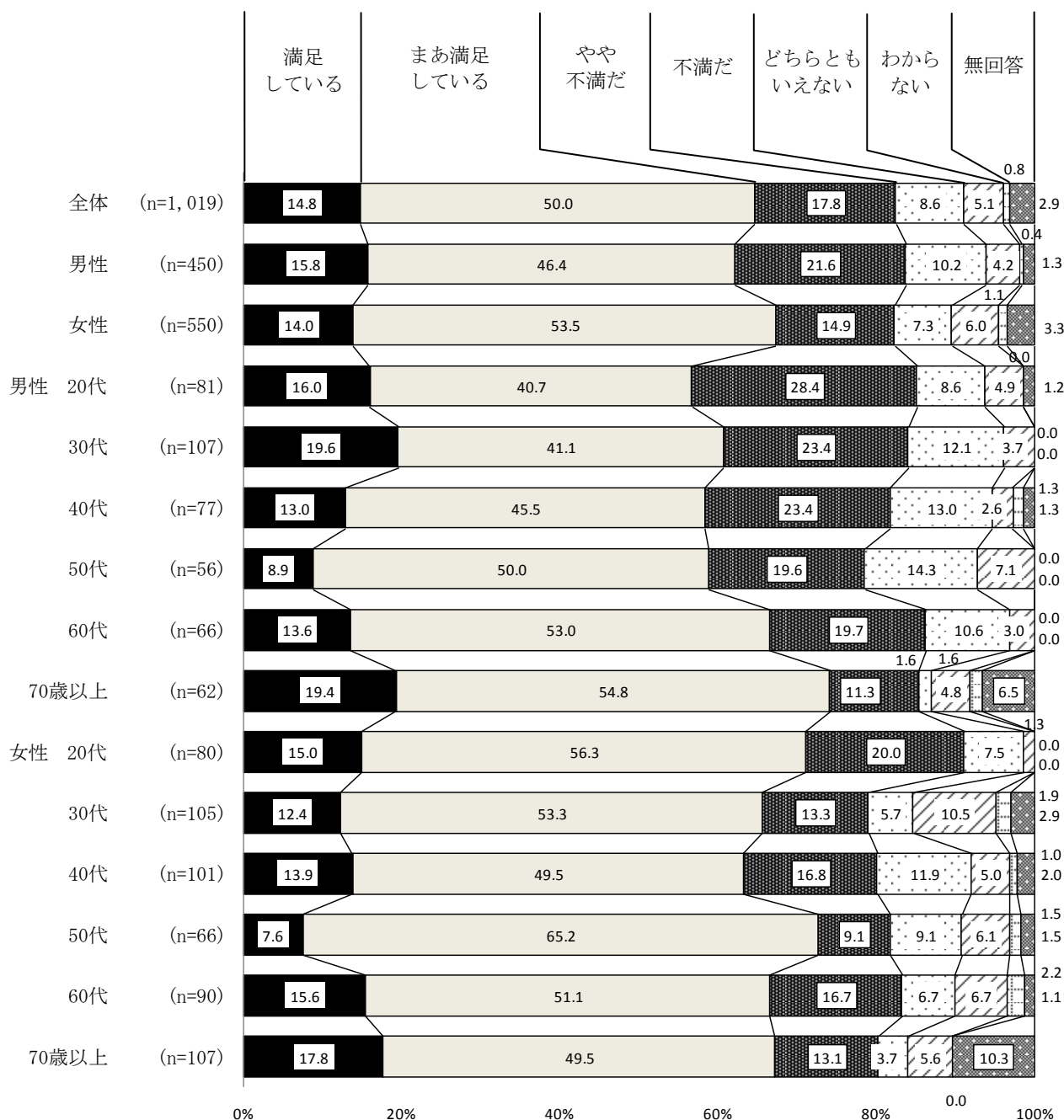
図10-2 生活に対する満足度（平成18年調査との比較）



性別で見ると、『満足層』は男性62.2%、女性67.5%で女性が5ポイント高く、一方、『不満層』は男性31.8%、女性22.2%と男性が9.6ポイント高くなっている。

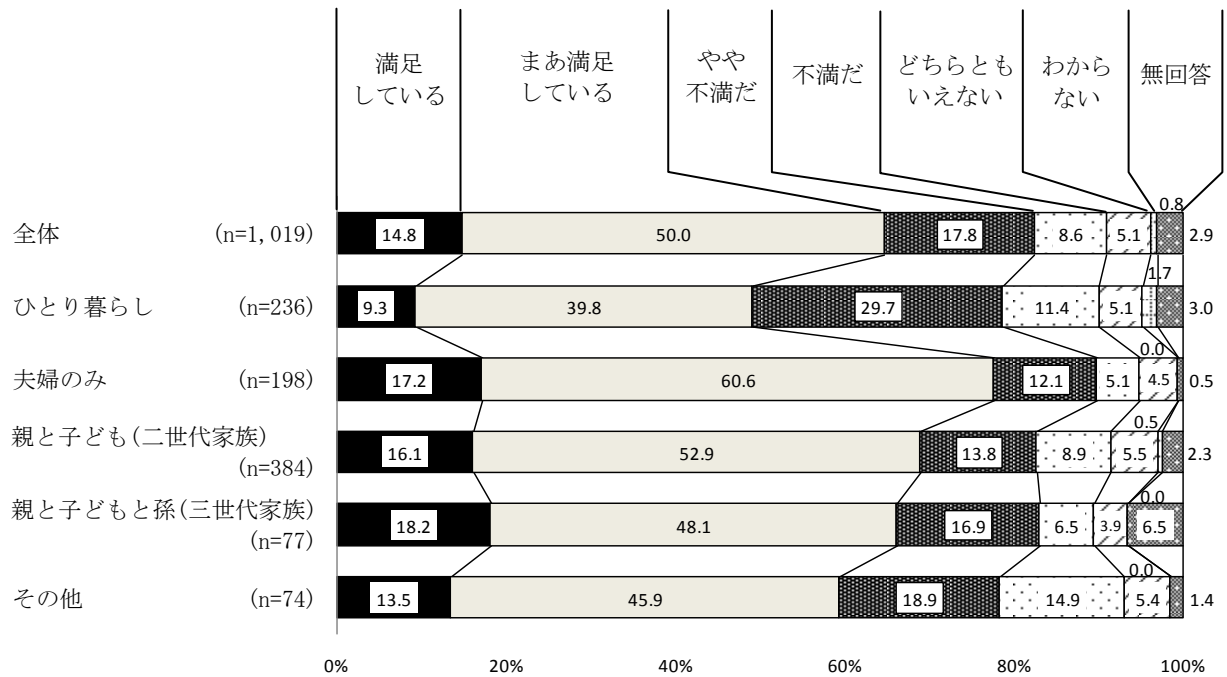
性・年代別で見ると、『満足層』の割合が最も高いのは、男性70歳以上の74.2%、最も低いのは男性20代の56.7%となっている。一方、『不満層』の割合が最も高いのは、男性20代の37.0%、最も低いのは男性70歳以上の12.9%となっている。(図10-3)

図10-3 生活に対する満足度 性別、性・年代別



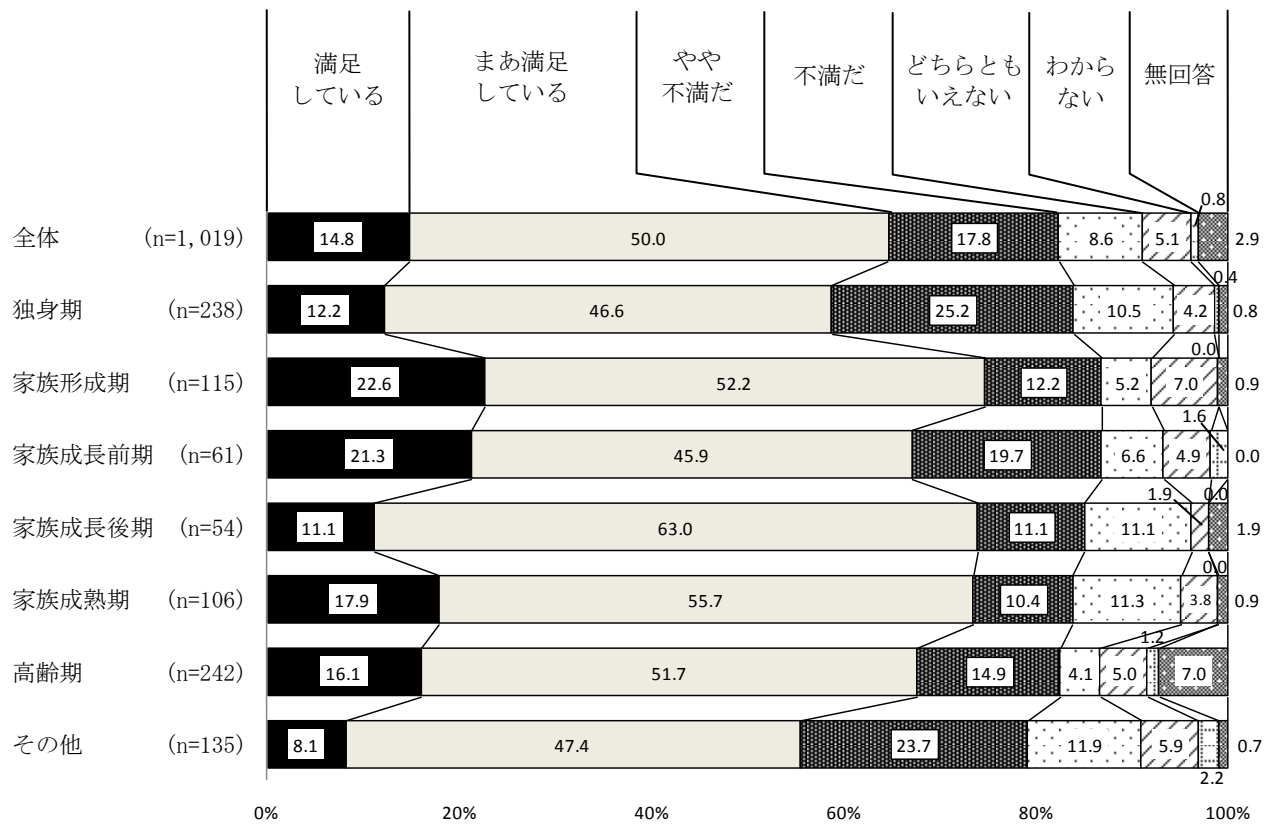
家族形態別でみると、『満足層』の割合が最も高いのは、夫婦のみの世帯（77.8%）で、7割台後半となっている。一方、『満足層』の割合が最も低いのは、ひとり暮らしの世帯（49.1%）で半数以下となっている。（図10-4）

図10-4 生活に対する満足度 家族形態別



ライフステージ別でみると、『満足層』は家族形成期（74.8%）、家族成長後期（74.1%）、家族成熟期（73.6%）が7割台で高くなっている。一方、『不満層』は独身期（35.7%）、その他（35.6%）が3割台半ばで高くなっている。（図10-5）

図10-5 生活に対する満足度 ライフステージ別

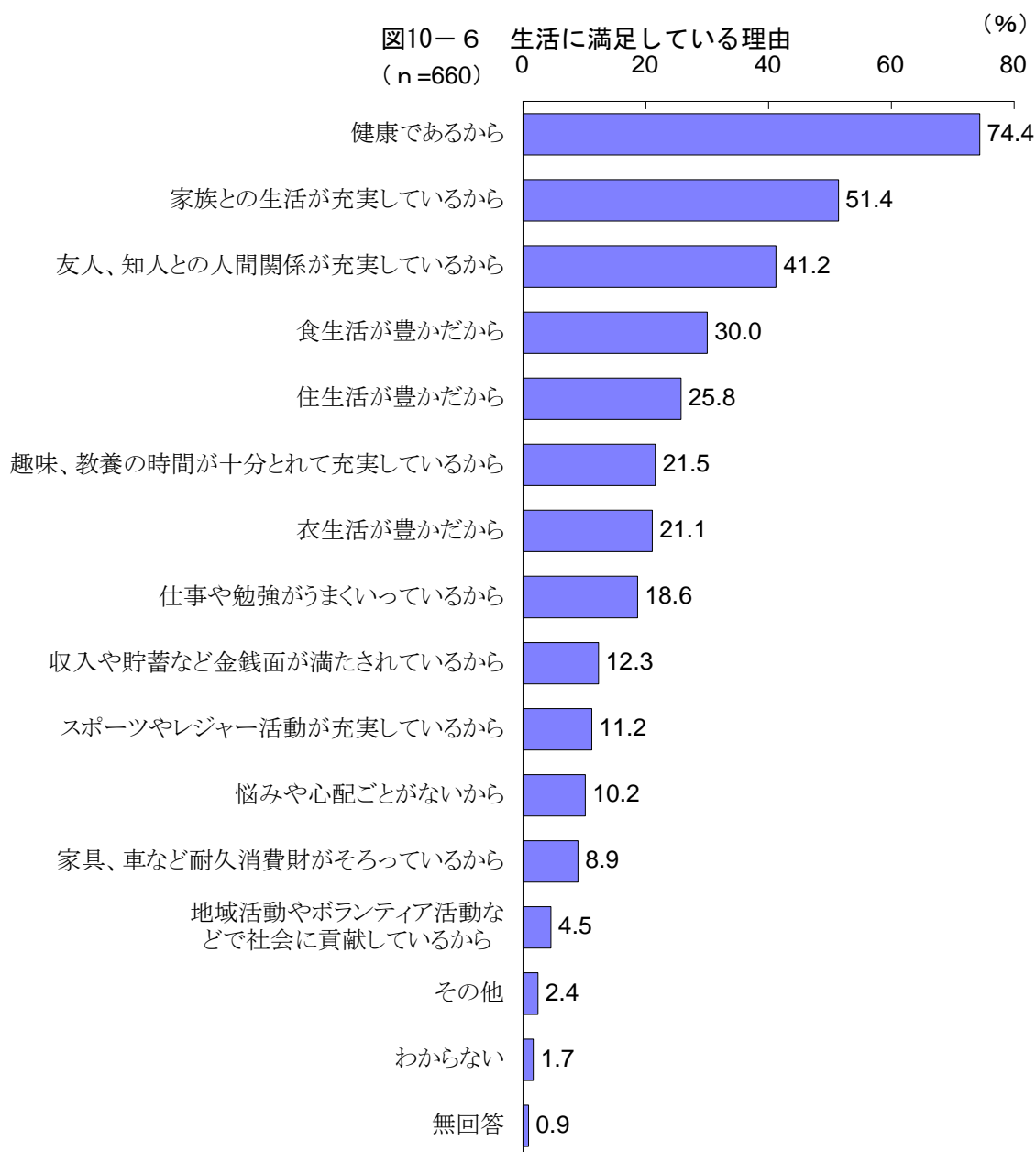


(1-1) 生活に満足している理由

◇「健康であるから」が7割半ば

【問13で「1 満足している」「2 まあ満足している」と答えた方に伺います】

問13-1 どのような理由で満足していますか。(いくつでも○)



『満足層』にその理由を聞いたところ、「健康であるから」(74.4%)が最も高く7割を超えている。少し離れて「家族との生活が充実しているから」(51.4%)、「友人、知人との人間関係が充実しているから」(41.2%)が続いており、「収入や貯蓄など金銭面が満たされているから」(12.3%)や「家具、車など耐久消費財がそろっているから」(8.9%)よりも上位にあげられている。(図10-6)

性別でみると、男女間で差が大きいのは、「友人・知人との人間関係が充実しているから」で、男性28.9%に対し、女性が50.1%と男性を大きく上回っている。「家族との生活が充実しているから」も女性（56.1%）が男性（45.7%）を10ポイント以上上回っている。（表10-1）

表10-1 生活に満足している理由 性別、性・年代別

	健康であるから	衣生活が豊かだから	食生活が豊かだから	住生活が豊かだから	家族との生活が充実しているから	友人、知人との人間関係が充実しているから	地域活動やボランティア活動などで社会に貢献しているから	スポーツやレジャー活動が充実しているから	仕事や勉強がうまくいっているから	趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから	家具、車など耐久消費財がそろっているから	収入や貯蓄など金銭面が満たされているから	悩みや心配ごとがないから	その他	わからない	無回答
全体 (n=660)	74.4	21.1	30.0	25.8	51.4	41.2	4.5	11.2	18.6	21.5	8.9	12.3	10.2	2.4	1.7	0.9
男性 (n=280)	70.0	18.6	29.3	26.1	45.7	28.9	5.0	12.5	21.1	21.4	10.7	12.5	10.4	3.6	1.8	0.7
女性 (n=371)	77.4	22.9	30.2	25.6	56.1	50.1	4.0	10.5	17.3	21.8	7.5	12.1	10.2	1.6	1.6	1.1
男性20代 (n=46)	71.7	32.6	45.7	39.1	23.9	37.0	6.5	13.0	32.6	30.4	2.2	19.6	8.7	2.2	0.0	0.0
30代 (n=65)	76.9	29.2	38.5	35.4	50.8	24.6	1.5	10.8	32.3	13.8	16.9	16.9	7.7	4.6	1.5	0.0
40代 (n=45)	66.7	11.1	26.7	22.2	55.6	20.0	0.0	22.2	15.6	13.3	17.8	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0
50代 (n=33)	72.7	6.1	21.2	12.1	48.5	36.4	0.0	3.0	12.1	9.1	3.0	3.0	6.1	0.0	0.0	3.0
60代 (n=44)	65.9	11.4	13.6	18.2	47.7	34.1	13.6	15.9	18.2	31.8	11.4	6.8	9.1	13.6	2.3	2.3
70歳以上 (n=46)	63.0	13.0	23.9	21.7	45.7	26.1	8.7	8.7	8.7	28.3	8.7	10.9	23.9	0.0	6.5	0.0
女性20代 (n=57)	82.5	35.1	43.9	31.6	42.1	57.9	0.0	12.3	35.1	14.0	5.3	19.3	7.0	0.0	0.0	0.0
30代 (n=69)	85.5	30.4	39.1	36.2	60.9	55.1	0.0	10.1	15.9	20.3	8.7	8.7	8.7	1.4	1.4	0.0
40代 (n=64)	75.0	18.8	26.6	25.0	60.9	54.7	4.7	9.4	23.4	14.1	7.8	15.6	6.3	4.7	1.6	1.6
50代 (n=48)	79.2	18.8	33.3	14.6	68.8	41.7	8.3	8.3	18.8	18.8	8.3	8.3	4.2	0.0	0.0	0.0
60代 (n=60)	85.0	18.3	25.0	21.7	65.0	51.7	5.0	15.0	10.0	25.0	10.0	8.3	18.3	0.0	1.7	0.0
70歳以上 (n=72)	59.7	16.7	16.7	22.2	41.7	38.9	6.9	8.3	4.2	34.7	5.6	12.5	15.3	2.8	4.2	4.2

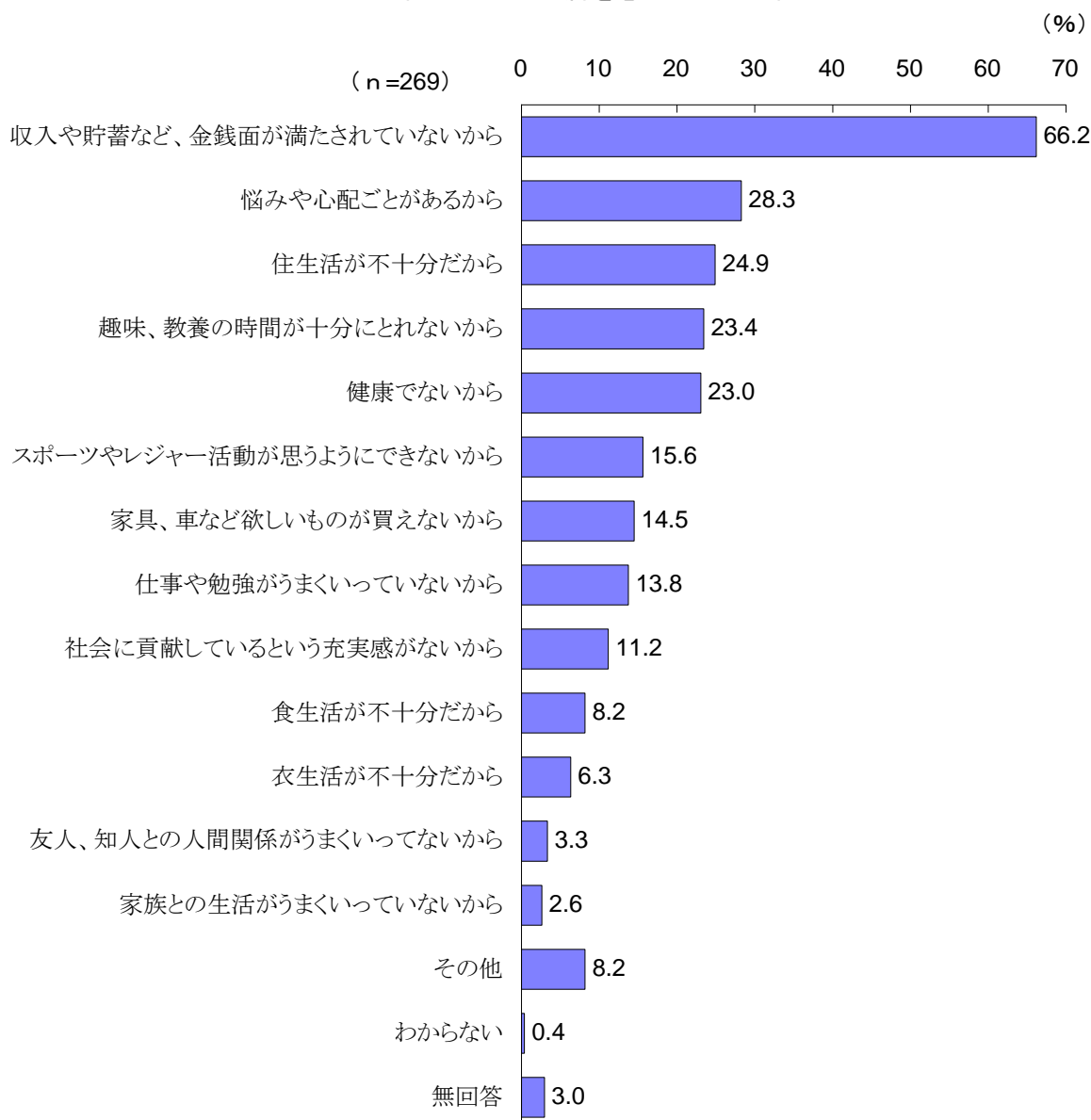
(1-2) 不満を感じている理由

◇「収入や貯蓄など、金銭が満たされていないから」が6割半ば

【問13で「3 やや不満だ」「4 不満だ」と答えた方に伺います】

問13-2 どのような理由で不満を感じていますか。(いくつでも○)

図10-7 不満を感じている理由



現在の生活に対して『不満層』にその理由を聞いたところ、「収入や貯蓄など、金銭面が満たされていないから」(66.2%)が圧倒的に高く6割を超えている。大きく離れて「悩みや心配ごとがあるから」(28.3%)、「住生活が不十分だから」(24.9%)、「趣味、教養の時間が十分に取れないから」(23.4%)、「健康でないから」(23.0%)などが続いている。(図10-7)

性別でみると、「仕事や勉強がうまくいっていないから」は男性（17.5%）が女性（9.8%）を7.7ポイント上回り、「趣味・教養の時間が十分に取れないから」は女性（28.7%）が男性（19.6%）を9.1ポイント上回っている。

性・年代別でみると、「収入や貯蓄など、金銭面が満たされていないから」が女性20代、女性30代、女性50代で8割を超えている。（表10-2）

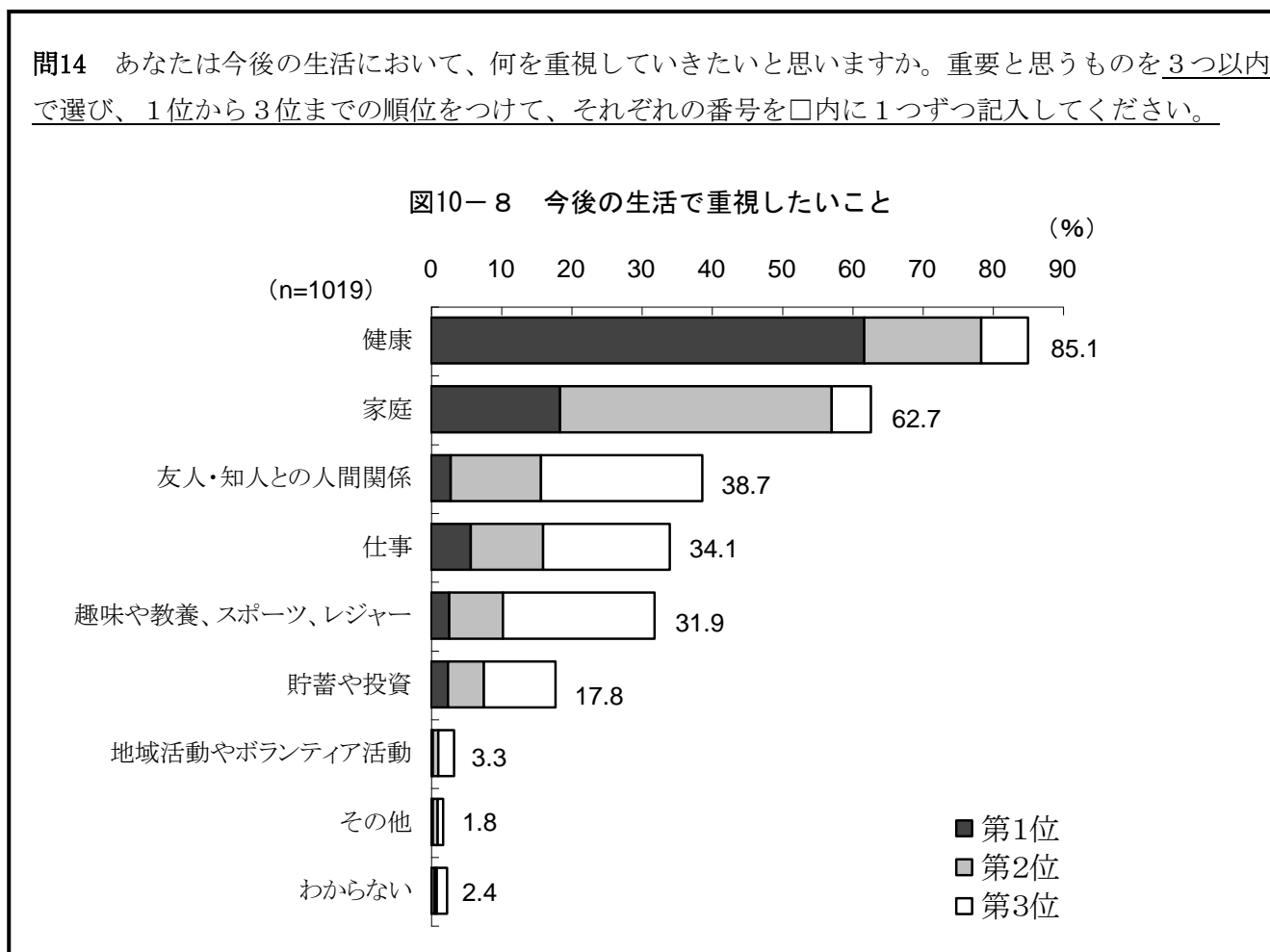
表10-2 不満を感じている理由 性別、性・年代別

	健康でないから	衣生活が不十分だから	食生活が不十分だから	住生活が不十分だから	家族との生活がうまくいっていないから	友人、知人との人間関係がうまくいっていないから	社会に貢献しているという充実感がないから	スポーツやレジャー活動が思うようにできないから	仕事や勉強がうまくいっていないから	趣味、教養の時間が十分にとれないから	家具、車など欲しいものが買えないから	収入や貯蓄など、金銭面が満たされていないから	悩みや心配ごとがあるから	その他	わからない	無回答
全体 (n=269)	23.0	6.3	8.2	24.9	2.6	3.3	11.2	15.6	13.8	23.4	14.5	66.2	28.3	8.2	0.4	3.0
男性 (n=143)	20.3	5.6	6.3	24.5	1.4	3.5	10.5	15.4	17.5	19.6	14.7	68.5	26.6	4.9	0.7	2.1
女性 (n=122)	25.4	7.4	10.7	25.4	4.1	3.3	12.3	16.4	9.8	28.7	14.8	65.6	30.3	12.3	0.0	3.3
男性20代 (n=30)	10.0	10.0	10.0	16.7	3.3	6.7	6.7	10.0	16.7	13.3	20.0	63.3	26.7	3.3	0.0	3.3
30代 (n=38)	15.8	2.6	2.6	36.8	0.0	2.6	10.5	10.5	23.7	26.3	23.7	73.7	26.3	5.3	0.0	2.6
40代 (n=28)	17.9	10.7	7.1	17.9	0.0	3.6	7.1	25.0	21.4	25.0	10.7	67.9	32.1	10.7	3.6	0.0
50代 (n=19)	15.8	5.3	10.5	31.6	5.3	0.0	10.5	15.8	10.5	36.8	10.5	68.4	26.3	0.0	0.0	0.0
60代 (n=20)	40.0	0.0	5.0	20.0	0.0	5.0	15.0	20.0	10.0	0.0	5.0	70.0	10.0	5.0	0.0	5.0
70歳以上 (n=8)	50.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	62.5	50.0	0.0	0.0	0.0
女性20代 (n=22)	22.7	4.5	9.1	13.6	0.0	0.0	13.6	13.6	27.3	40.9	40.9	81.8	22.7	13.6	0.0	4.5
30代 (n=20)	5.0	20.0	15.0	30.0	5.0	0.0	15.0	15.0	15.0	50.0	10.0	80.0	35.0	10.0	0.0	5.0
40代 (n=29)	20.7	3.4	6.9	24.1	6.9	3.4	6.9	10.3	3.4	10.3	3.4	65.5	31.0	20.7	0.0	0.0
50代 (n=12)	8.3	0.0	8.3	41.7	0.0	8.3	0.0	25.0	16.7	41.7	16.7	83.3	25.0	16.7	0.0	0.0
60代 (n=21)	28.6	14.3	19.0	33.3	4.8	9.5	9.5	23.8	0.0	38.1	4.8	47.6	38.1	4.8	0.0	4.8
70歳以上 (n=18)	66.7	0.0	5.6	16.7	5.6	0.0	27.8	16.7	0.0	0.0	16.7	38.9	27.8	5.6	0.0	5.6

(2) 今後の生活で重視したいこと

◇「健康」が8割以上

問14 あなたは今後の生活において、何を重視していきたいと思いますか。重要と思うものを3つ以内で選び、1位から3位までの順位をつけて、それぞれの番号を□内に1つずつ記入してください。

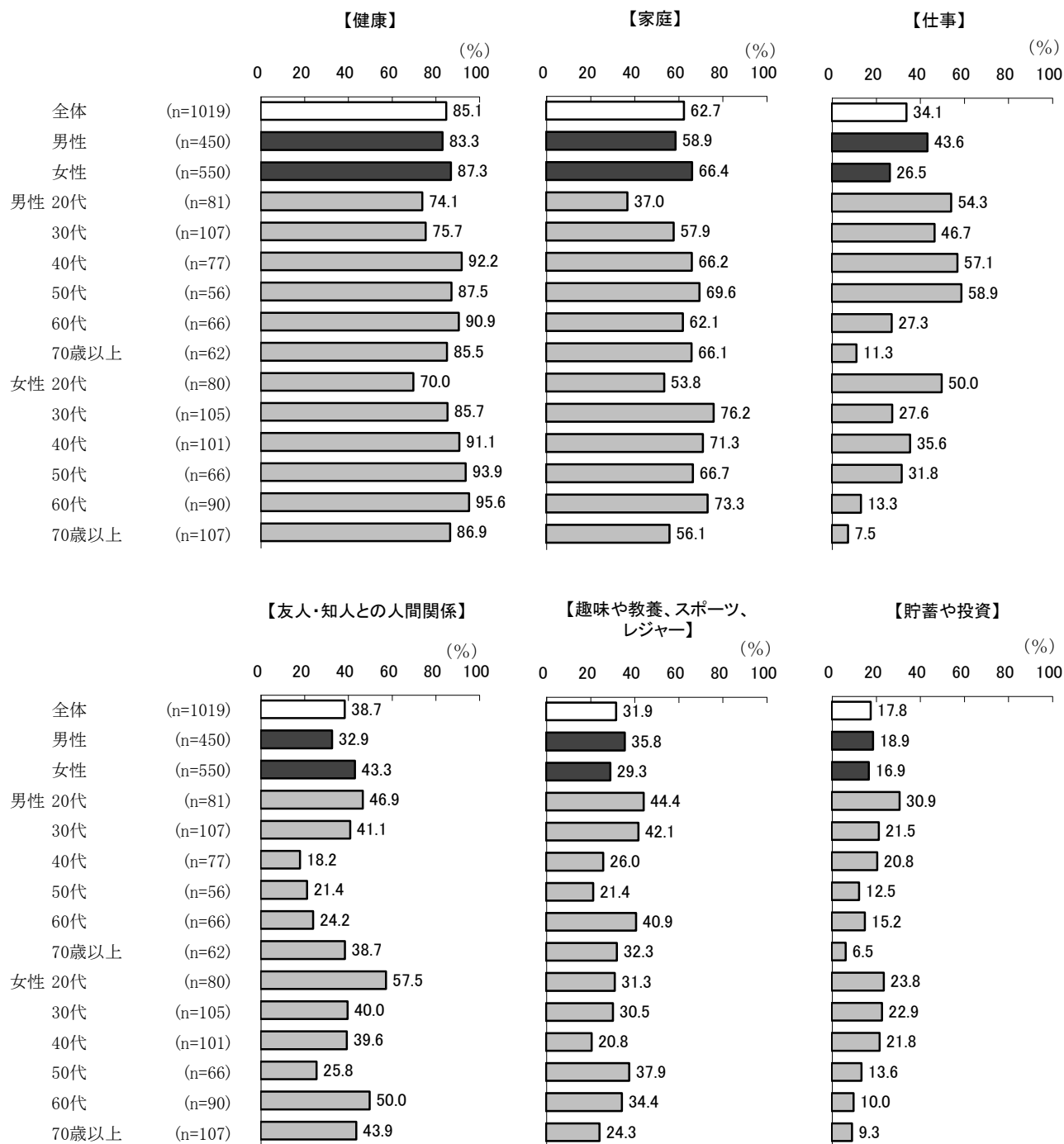


今後の生活において重視していきたいものを、1位から3位の順位をつけてあげてもらったところ、その合計では「健康」(合計85.1%)が最も高く、次いで「家庭」(合計62.7%)、「友人・知人との人間関係」(合計38.7%)となっている。中でも「健康」は6割の人が1位にあげている。(図10-8)

上位6項目について性別でみると、男性は「仕事」、「趣味や教養、スポーツ、レジャー」、「貯蓄や投資」が高く、女性は、「健康」、「家庭」、「友人・知人との人間関係」が高くなっている。

性・年代別でみると、「仕事」は、男性20代（54.3%）、男性40代（57.1%）、男性50代（58.9%）、女性20代（50.0%）で5割台となっている。「友人・知人との人間関係」は、男女ともに20代が最も高い。（図10-9）

図10-9 今後の生活で重視したいこと 性別、性・年代別



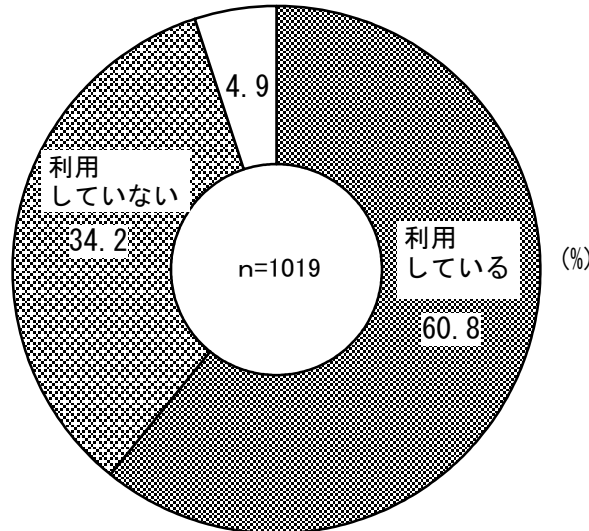
6 インターネットの利用状況

(1) インターネットの利用状況

◇ 6割が仕事以外で利用

問15 現在、あなたは、仕事以外でインターネットを利用していますか。(1つに○)

図11-1 インターネットの利用状況
無回答

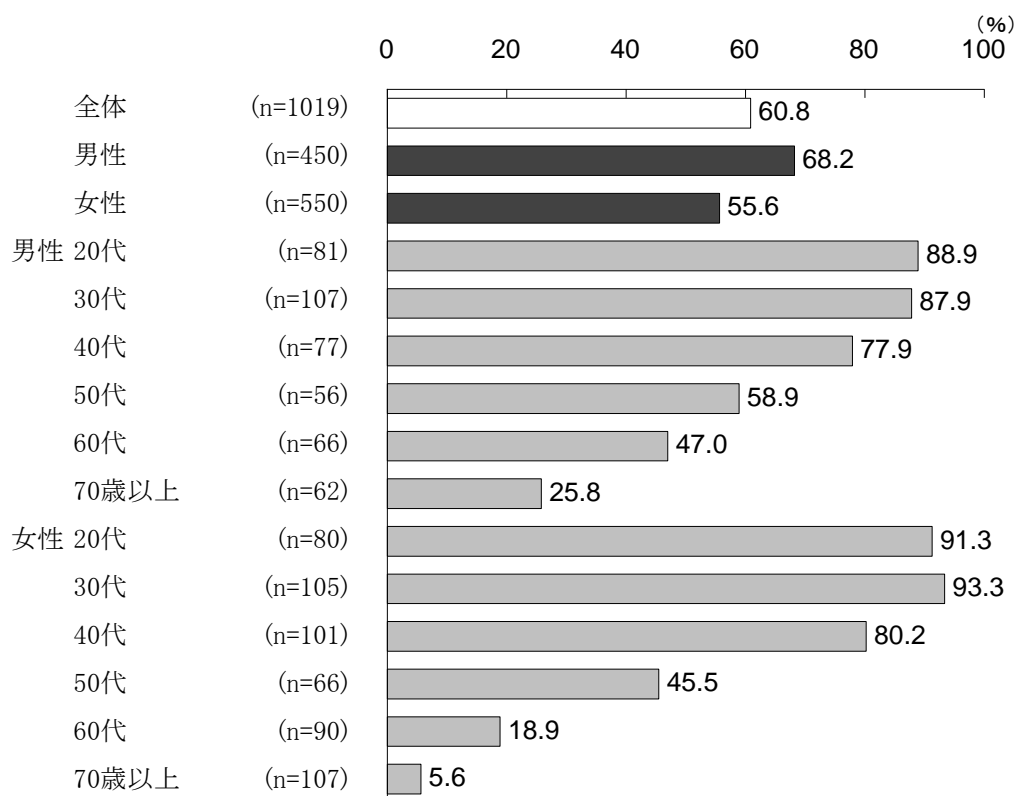


インターネットの利用状況を聞いたところ、「利用している」(60.8%)は6割となっている。(図11-1)

性別でみると、インターネットを利用している人の割合は、男性（68.2%）が女性（55.6%）より12.6ポイント高い。

性・年代別でみると、男女とも20代、30代で約9割が利用しており、また、年代が上がるにつれてその割合は低くなっている。（図11-2）

図11-2 インターネットを利用している人の割合 性別、性・年代別



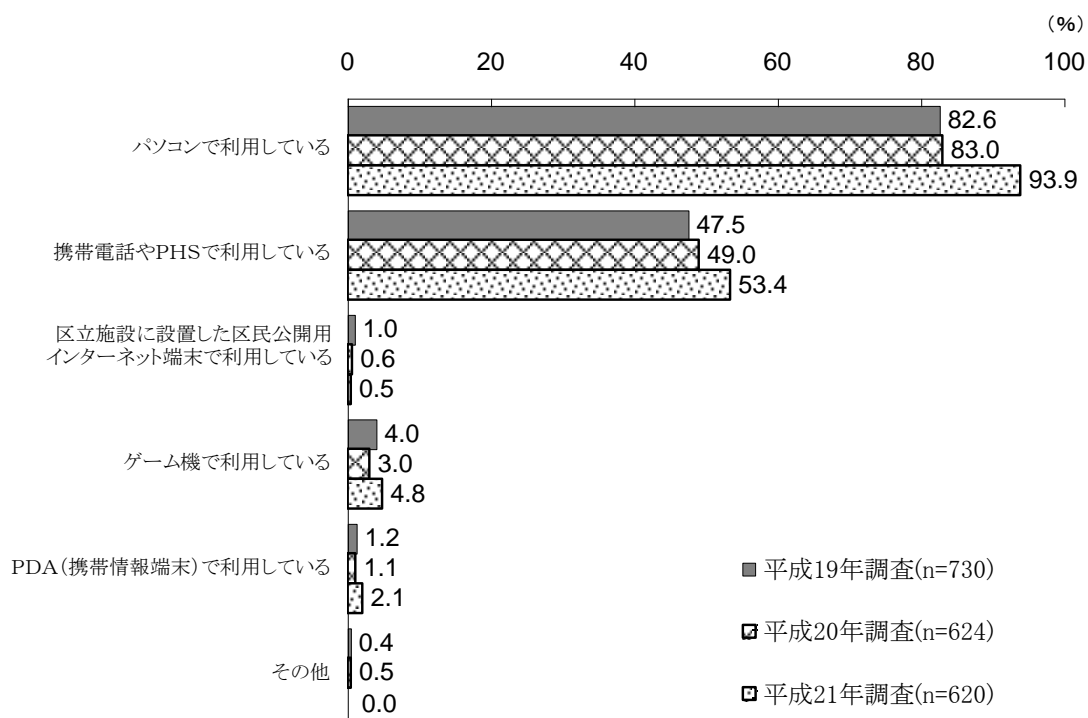
(1-1) インターネットの利用機器

◇「パソコンで利用している」が9割以上

【問15で「1 利用している」に○をした方に伺います】

問15-1 あなたはふだんどのような機器でインターネットを利用していますか。(いくつでも○)

図11-3 インターネットの利用機器



インターネットを利用している人に利用機器を聞いたところ、「パソコンで利用している」(93.9%)が9割以上と圧倒的に多く、次いで「携帯電話やPHSで利用している」(53.4%)となっており、その他の利用機器は5%以下となっている。

過去の結果(平成20年、19年)と比較すると、「パソコンで利用している」と「携帯電話やPHSで利用している」がともに年々増加している。(図11-3)

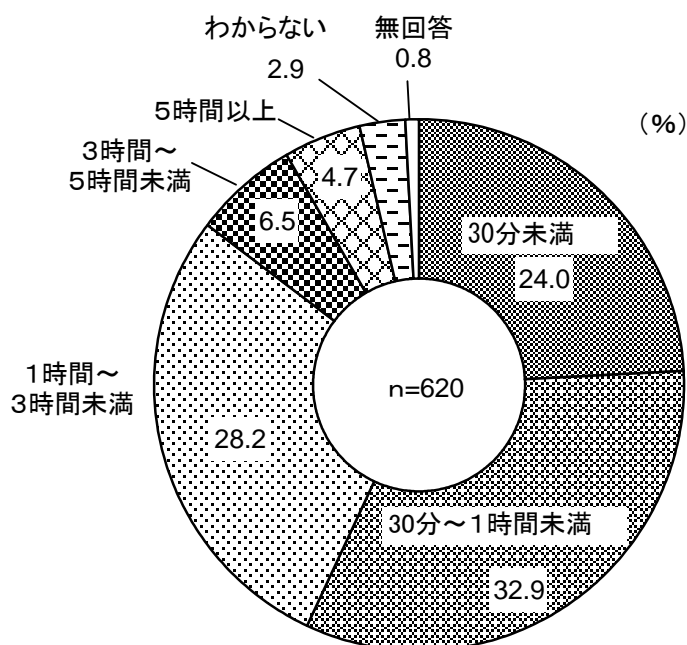
(1-2) インターネットの利用時間

◇半数以上が『1時間未満』

【問15で「1 利用している」に○をした方に伺います】

問15-2 あなたはふだん1日におよそ何時間インターネットを利用していますか。(1つに○)

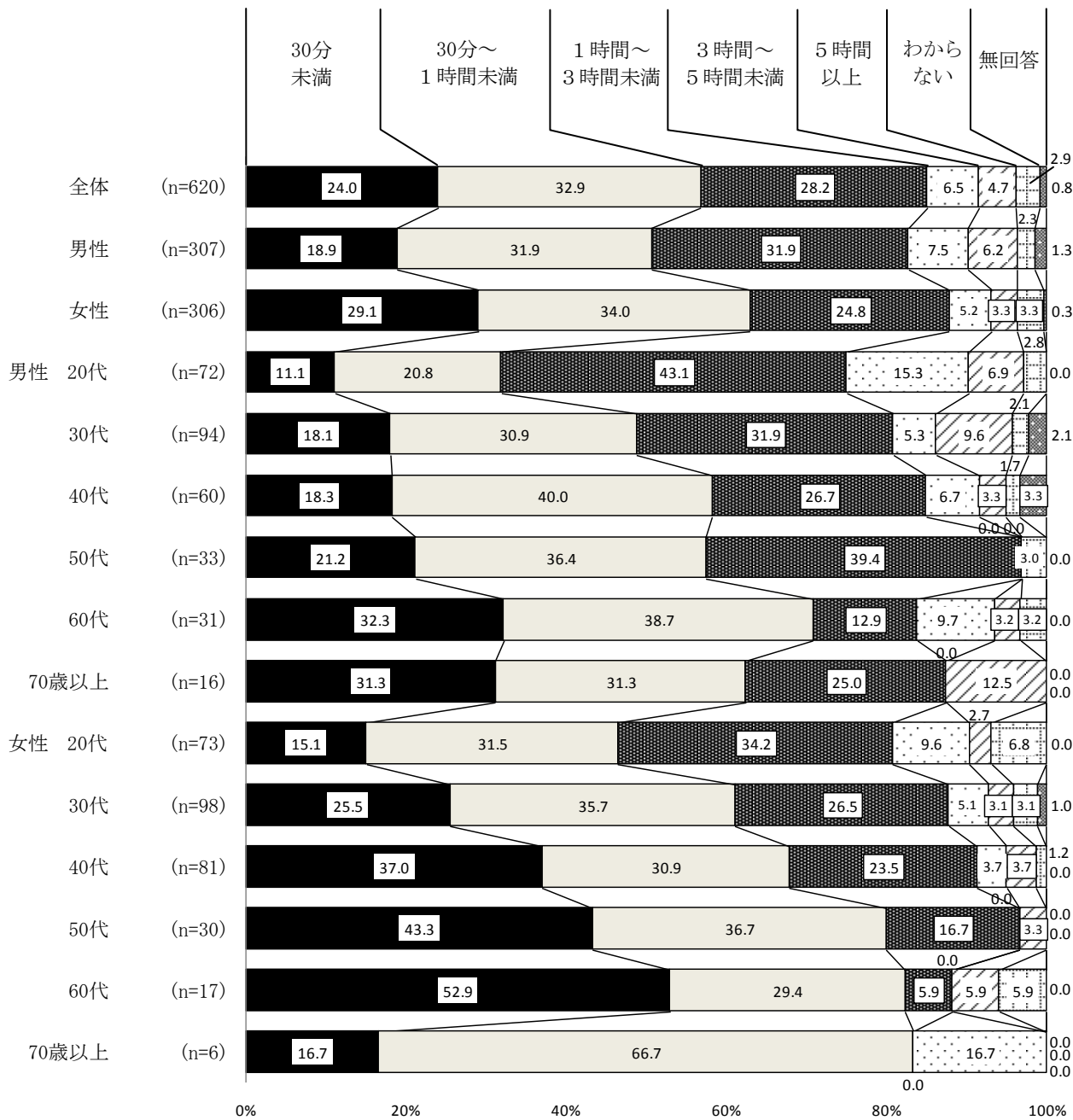
図11-4 インターネットの利用時間



インターネットを利用している人に利用時間を聞いたところ、「30分～1時間未満」(32.9%)が最も多く、次いで「1時間～3時間未満」(28.2%)、「30分未満」(24.0%)となっている。(図11-4)

性・年代別でみると、年代が上がるにつれて利用時間はおおむね短くなっている。利用時間が長いのは男性20代で、『1時間以上』の利用者が65.3%と6割半ばを占めている。(図11-5)

図11-5 インターネットの利用時間 性別、性・年代別



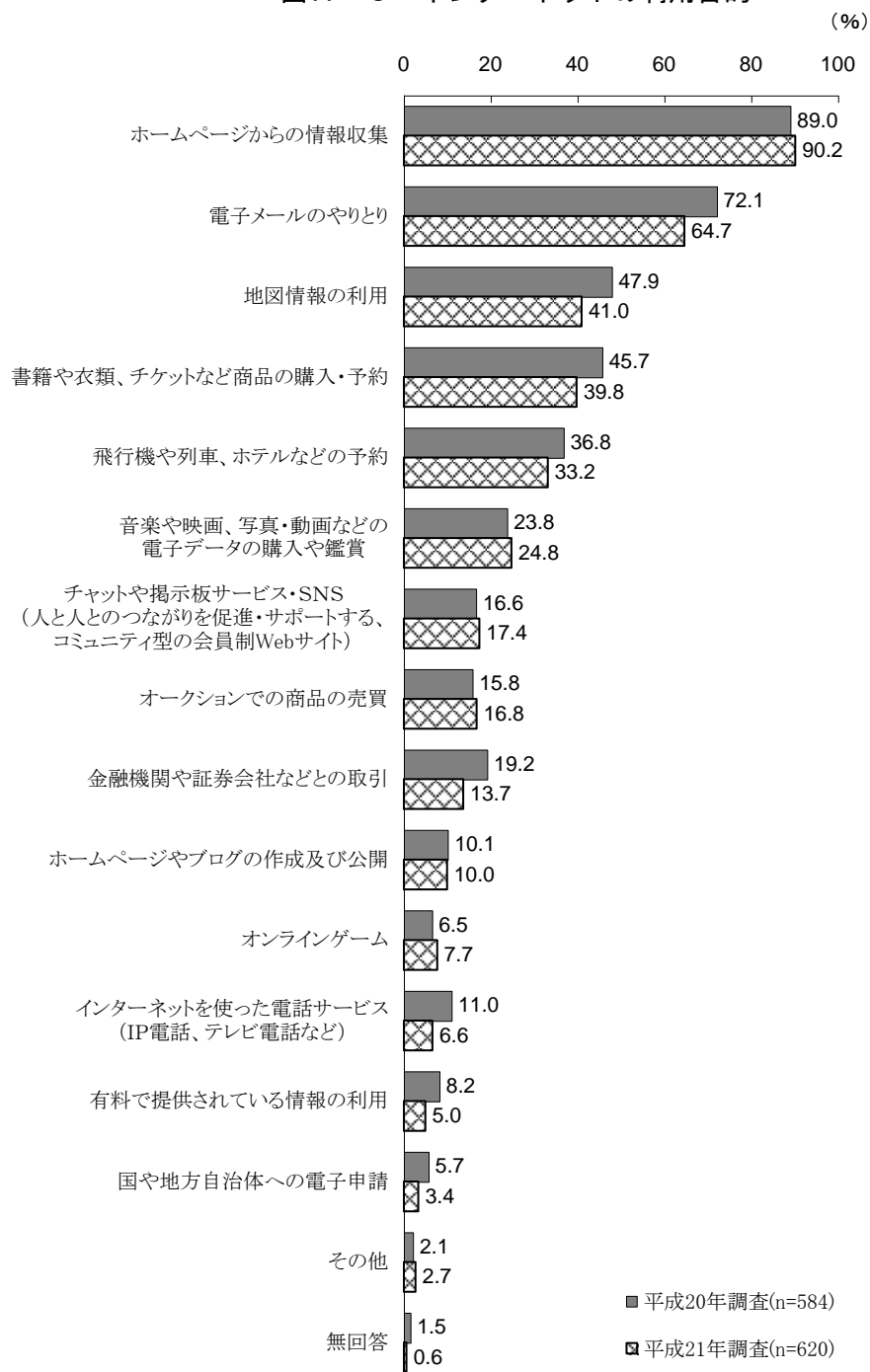
(1-3) インターネットの利用目的

◇9割が「ホームページからの情報収集」

【問15で「1 利用している」に○をした方に伺います】

問15-3 あなたがインターネットを利用する目的は何ですか。(いくつでも○)

図11-6 インターネットの利用目的



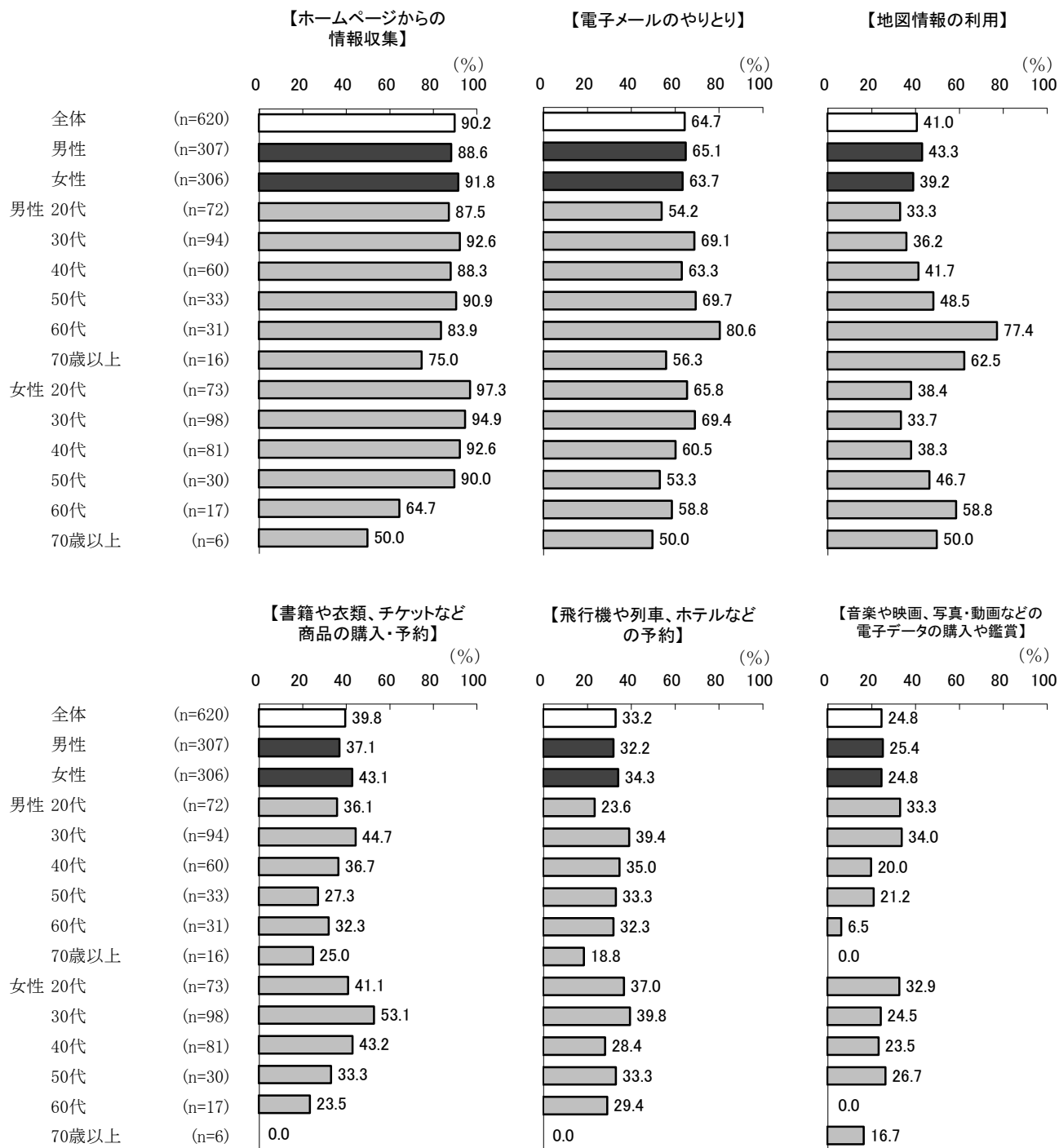
インターネットを利用している人に利用目的を聞いたところ、「ホームページからの情報収集」(90.2%)が9割で、次いで「電子メールのやりとり」(64.7%)となっている。

前回の調査(平成20年)と比較すると、「電子メールのやりとり」や「地図情報の利用」等が減少し、「ホームページからの情報収集」等が増加している。(図11-6)

性別でみると、上位6項目は男女間で顕著な差はない。

性・年代別でみると、「ホームページからの情報収集」は男性30代、男性50代、女性20代～50代で9割以上と高くなっている。「電子メールのやりとり」と「地図情報の利用」は、ともに男性60代で最も高くなっている。(図11-7)

図11-7 インターネットの利用目的 性別、性・年代別

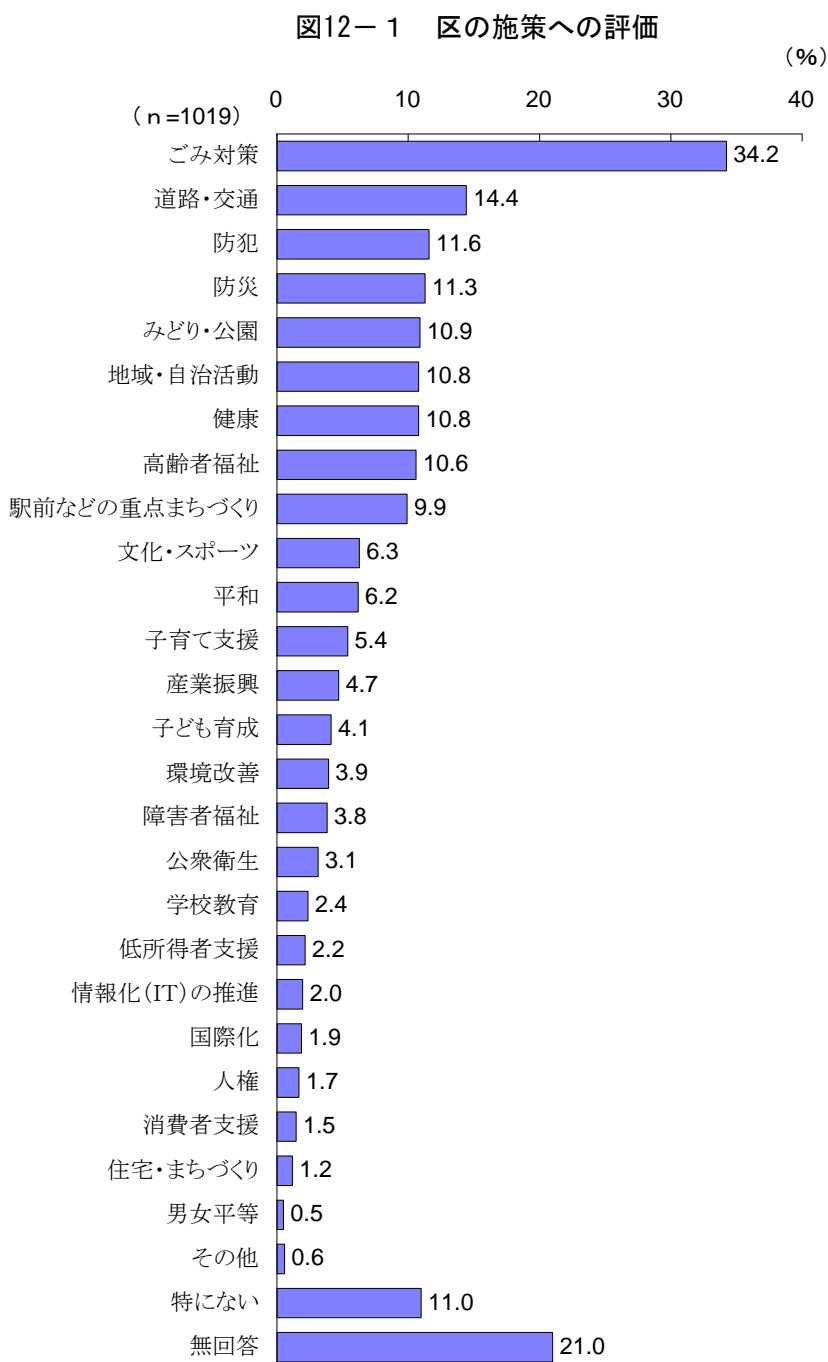


7 施策への要望

(1) 区の施策への評価

◇最も評価されている項目は「ごみ対策」

問16 つぎにあげる施策の中で、中野区が力を入れていると評価できるものを3つ以内で選び、番号を
□内に記入してください。

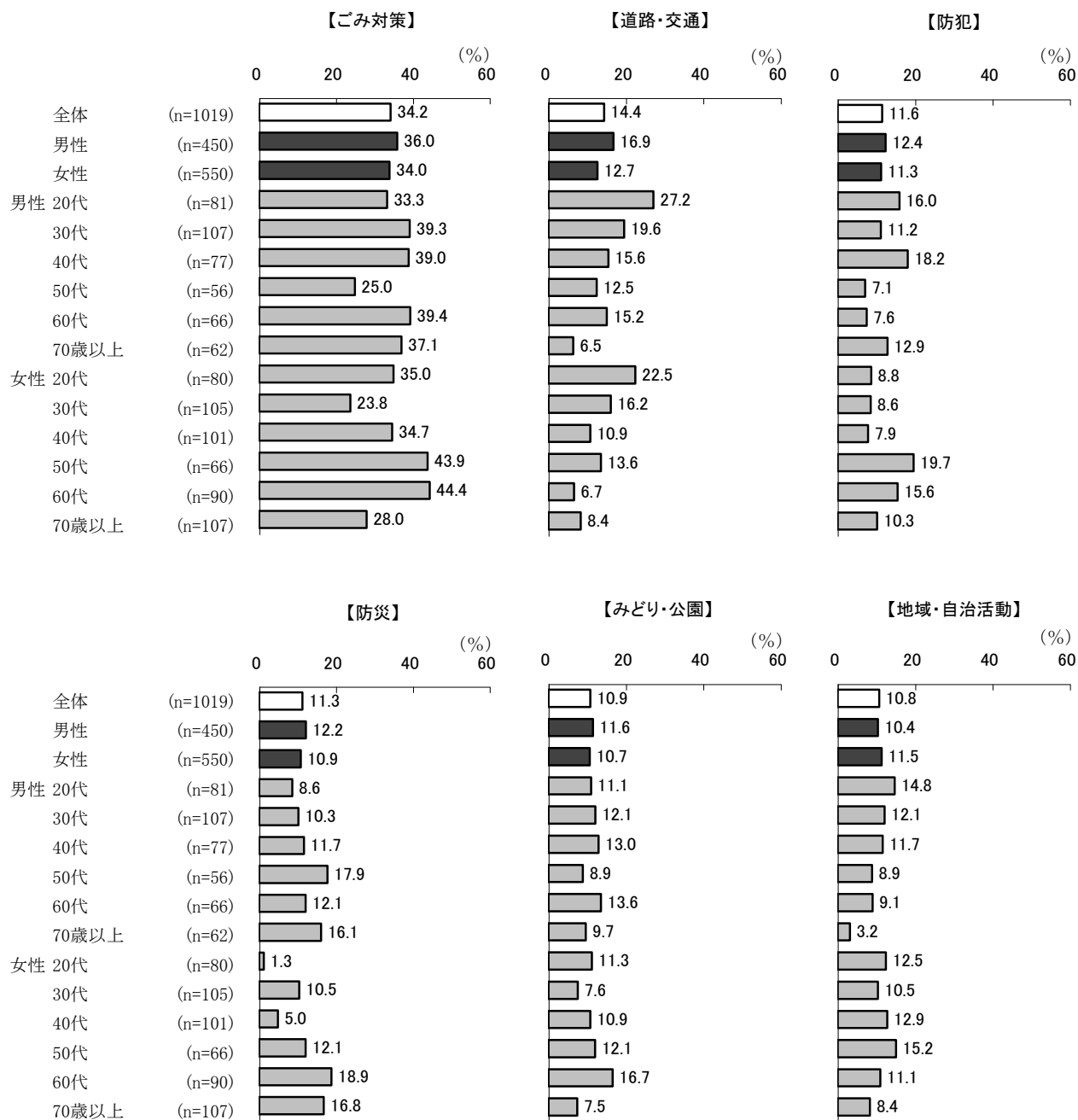


区が力を入れていると評価できる施策を聞いたところ、前年に続いて「ごみ対策」(34.2%)が3割を超え最も高くなっている。次いで「道路・交通」(14.4%)があげられ、これらに続いて7項目が約1割前後で並んでいる。(図12-1)

上位6項目について性別でみると、男女間で顕著な差はみられない。

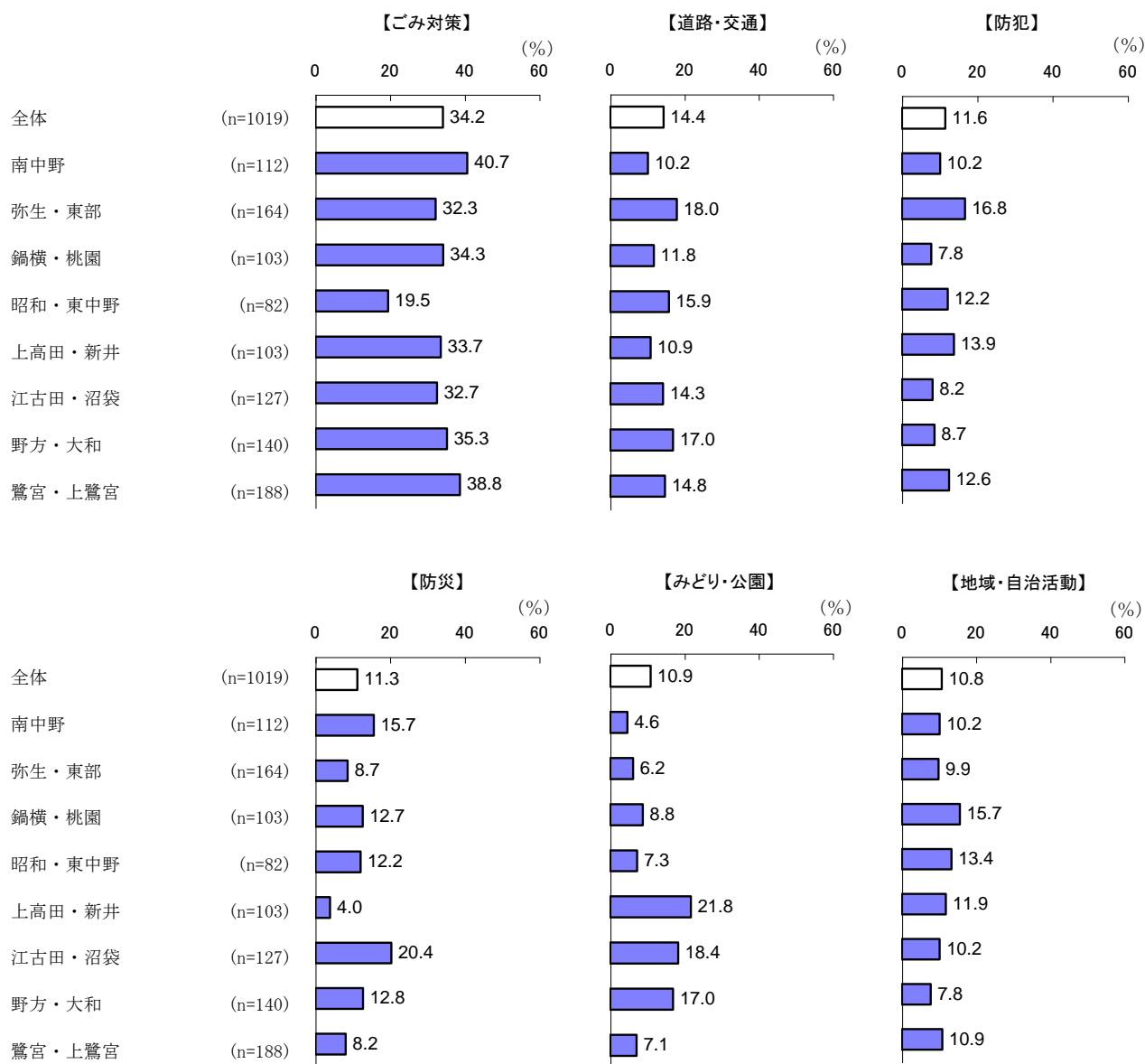
性・年代別でみると、「ごみ対策」では、女性50代（43.9%）、女性60代（44.4%）で4割を超えて高くなっている。「道路・交通」では男女とも20代で2割台と評価が高くなっている。（図12-2）

図12-2 区の施策への評価 性別、性・年代別（上位6項目）



上位6項目について地域別でみると、「ごみ対策」の評価は、最も高い南中野（40.7%）と最も低い昭和・東中野（19.5%）で21.2ポイントの差がある。また、「防災」でも、江古田・沼袋（20.4%）と上高田・新井（4.0%）で16.4ポイント、「みどり・公園」でも、上高田・新井（21.8%）と南中野（4.6%）で17.2ポイントと地域によって大きな差がある。一方、他の3項目では、地域間での大きな差はみられない。（図12-3）

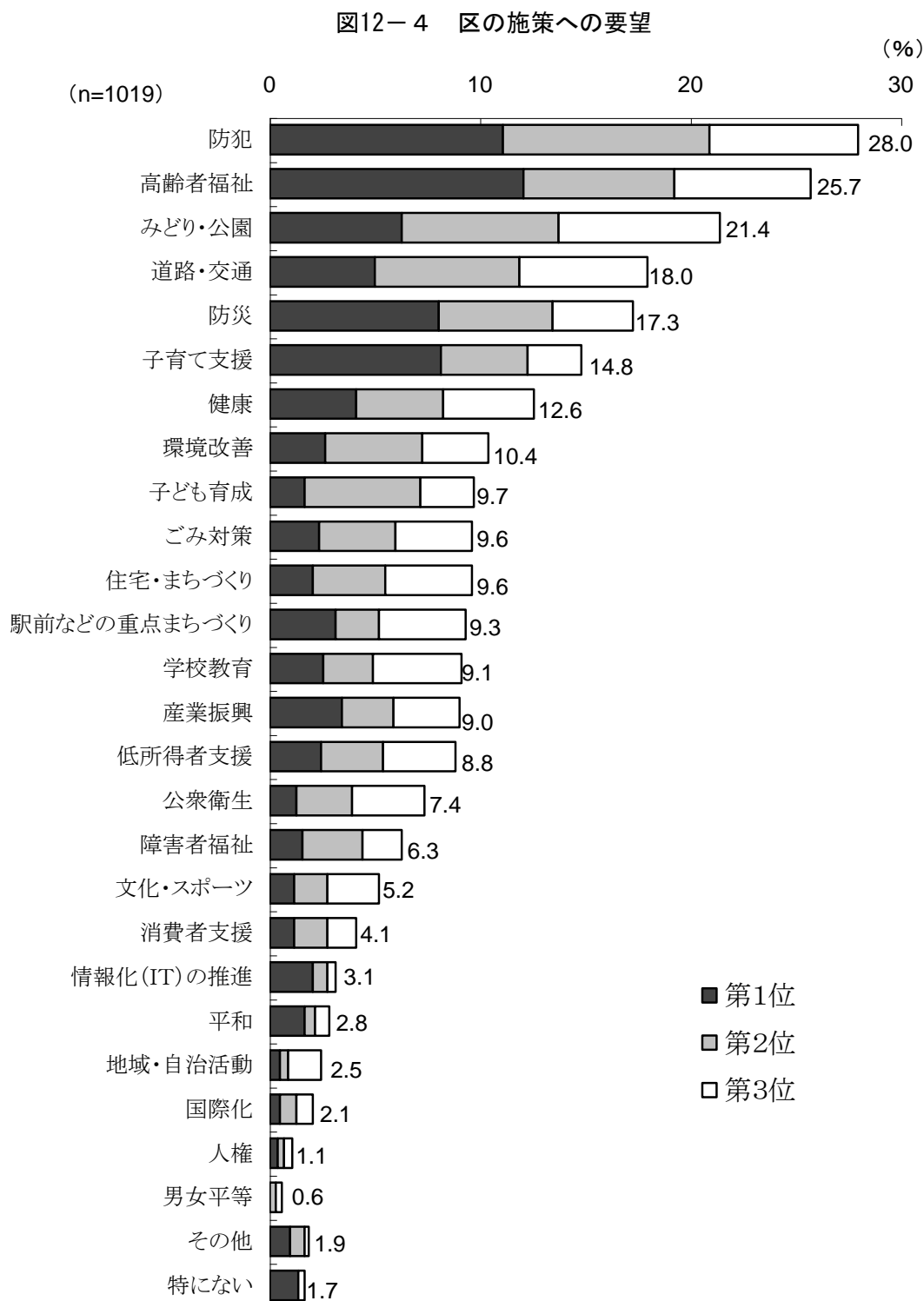
図12-3 区の施策への評価 地域別（上位6項目）



(2) 区の施策への要望

◇今後力を入れてほしい施策は、「防犯」、「高齢者福祉」、「みどり・公園」

問16 つぎにあげる施策の中で、今後特に力を入れてほしいものを3つ以内で選び、第1位から第3位までの順位をつけて、それぞれの番号を□内に1つずつ記入してください。



今後特に力を入れてほしい施策を、1位から3位の順位をつけてあげてもらったところ、その合計では「防犯」(合計28.0%)が最も高く、次いで「高齢者福祉」(25.7%)、「みどり・公園」(21.4%)となっている。(図12-4)

過去10年間の区の施策要望上位6位の推移をみると、昨年3位であった「防犯」が1位になり、1位であった「高齢者福祉」が2位となった。これは2004年、2007年と同順位である。一方、昨年2位で、2004年以外の8年間上位3位までに入っていた「防災」が今回は5位となった。(表12-1)

表12-1 2009（平成21年度）までの区の施策への要望の時系列推移
第1位～第3位の合計値による上位6項目

(%)

実施年度 ()は回答者数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
2000年 (1,067)	高齢者福祉 (47.1)	環境・公害対策 (36.3)	防災対策 (23.5)	省資源施策 (リサイクル等) (20.5)	学校教育 (17.3)	住宅施策 (16.1)
2001年 (1,122)	高齢者福祉 (45.3)	環境・公害対策 (32.0)	防災対策 (25.3)	省資源施策 (リサイクル等) (20.2)	学校教育 (15.3)	住宅施策 (15.3)
2002年 (1,070)	高齢者福祉 (49.2)	環境・公害対策 (31.6)	防災対策 (19.4)	学校教育 (17.5)	住宅施策 (15.4)	省資源施策 (リサイクル等) (12.7)
2003年 (1,084)	高齢者福祉 (38.4)	環境・公害対策 (29.6)	防災対策 (27.7)	住宅施策 (14.8)	公園・緑化推進 (14.7)	文化・スポーツ 施策 (13.7)
2004年 (1,087)	防犯 (43.6)	高齢者福祉 (25.5)	健康 (24.9)	防災 (20.2)	みどり・環境 向上 (17.6)	平和 (16.8)
2005年 (1,064)	防災 (34.5)	防犯 (34.1)	健康 (31.7)	高齢者福祉 (28.8)	子育て支援 (16.8)	ごみ対策 (15.6)
2006年 (1,012)	防犯 (39.5)	防災 (33.4)	健康 (28.0)	高齢者福祉 (27.1)	平和 (19.0)	子育て支援 (16.9)
2007年 (1,104)	防犯 (28.4)	高齢者福祉 (27.4)	防災 (25.5)	みどり・環境 向上 (18.8)	健康 (15.4)	子育て支援 (13.2)
2008年 (887)	高齢者福祉 (26.4)	防災 (26.3)	防犯 (26.0)	みどり・公園 (18.3)	道路・交通 (16.9)	環境改善 (14.9)
2009年 (1,019)	防犯 (28.0)	高齢者福祉 (25.7)	みどり・公園 (21.4)	道路・交通 (18.0)	防災 (17.3)	子育て支援 (14.8)

図12-5 区の施策への要望 順位の変化（上位12項目）

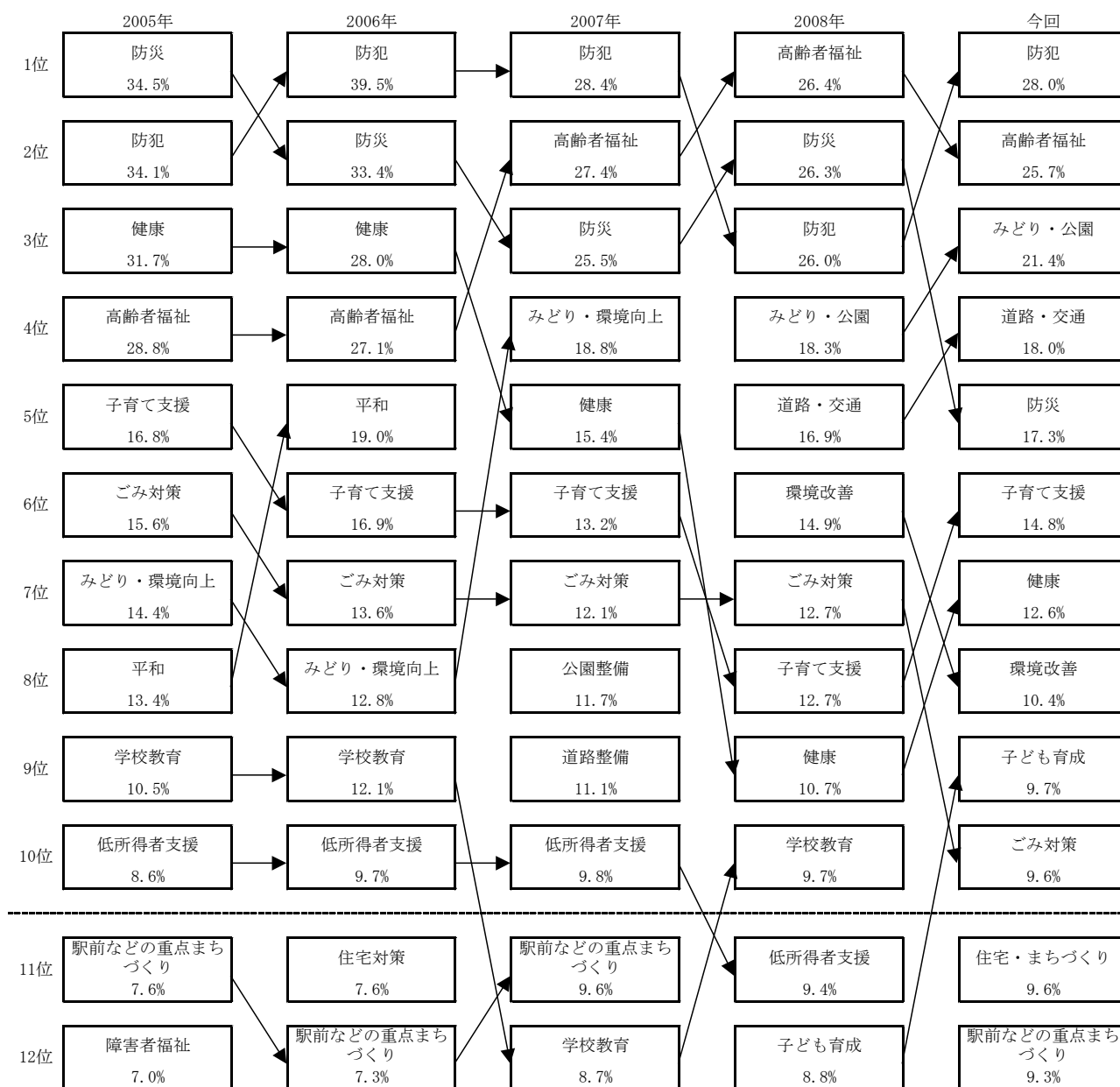


図12-6-① 区の施策への要望 割合の変化

<注> [] は2007年度までの旧名称

() は2003年度までの旧名称

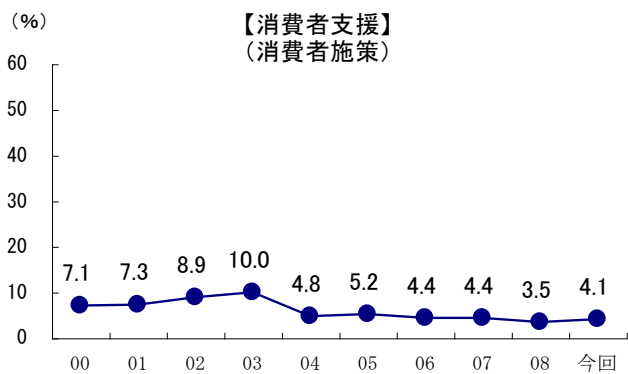
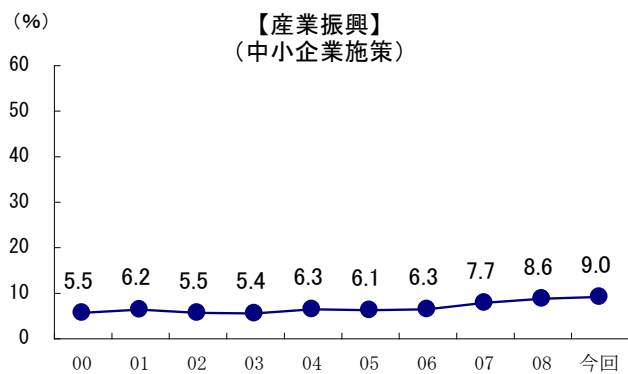
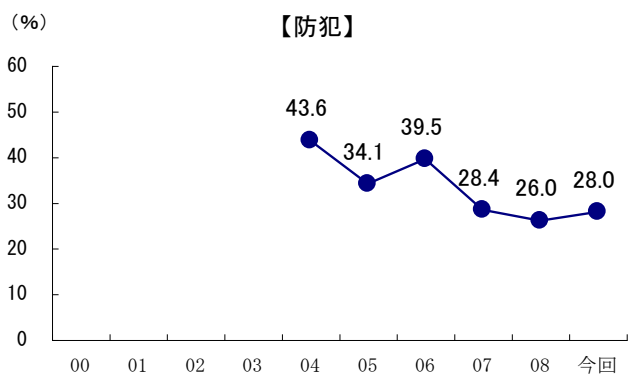
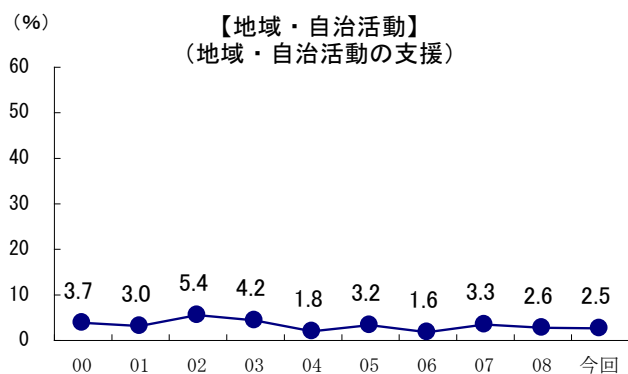
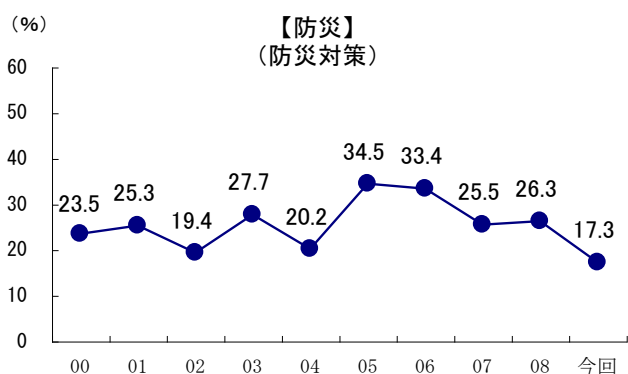
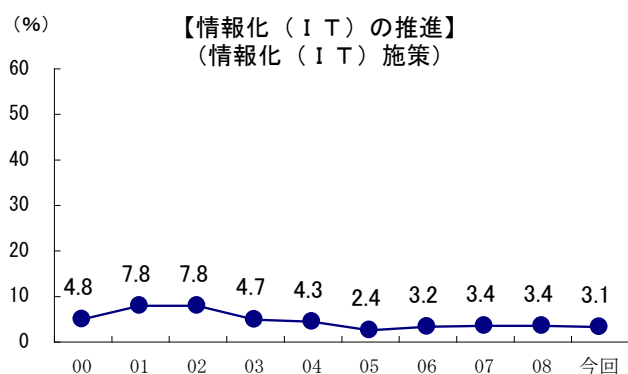
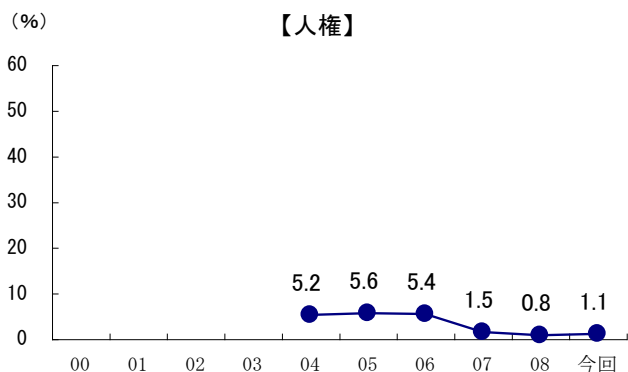
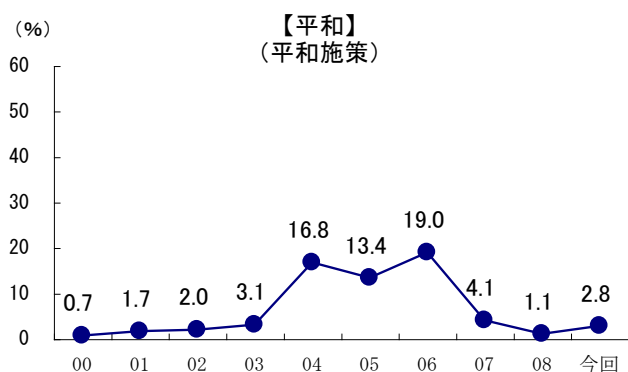


図12-6-② 区の施策への要望 割合の変化

<注> [] は2007年度までの旧名称

() は2003年度までの旧名称

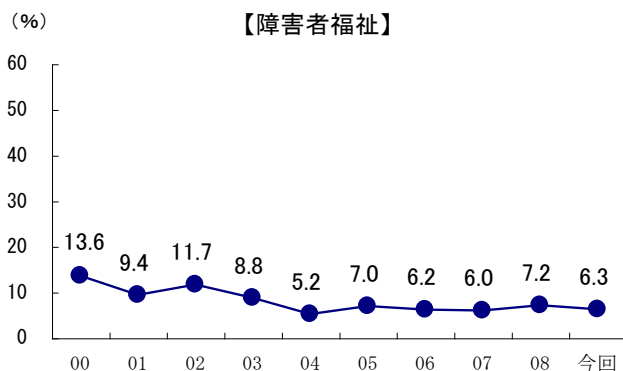
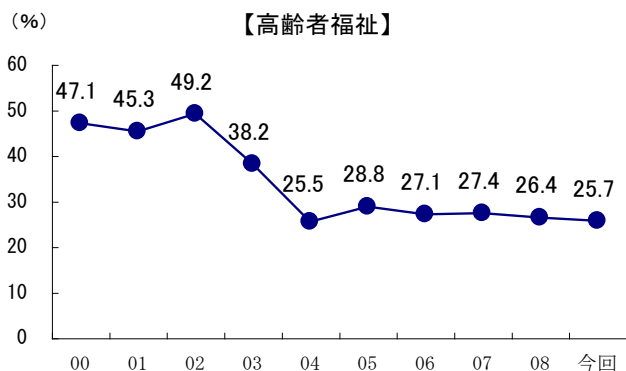
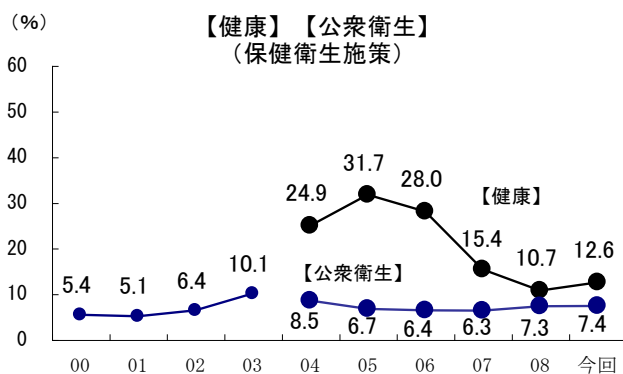
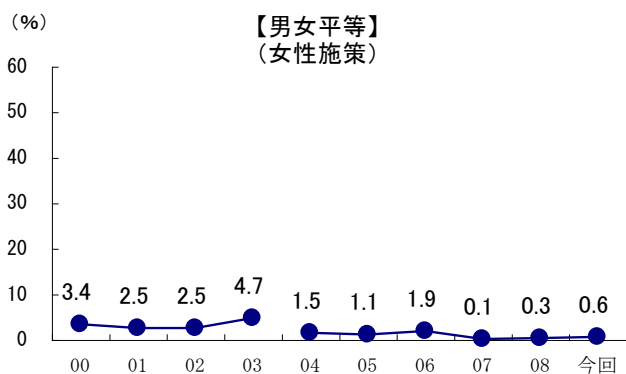
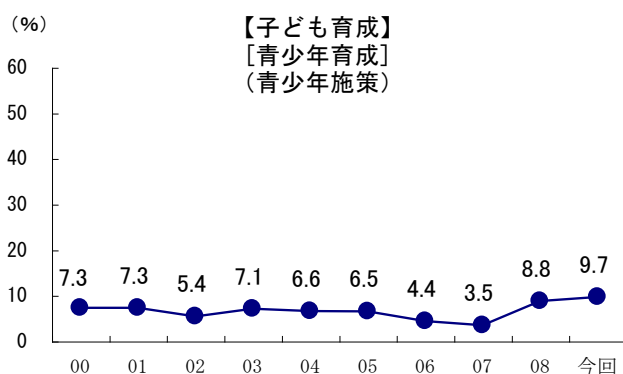
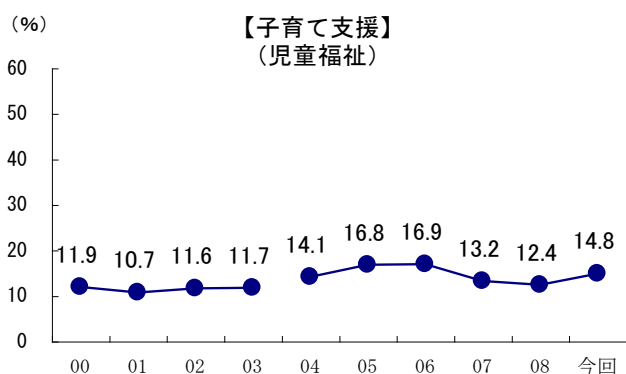
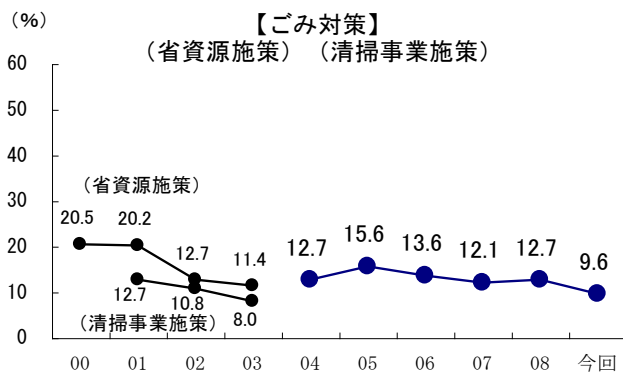
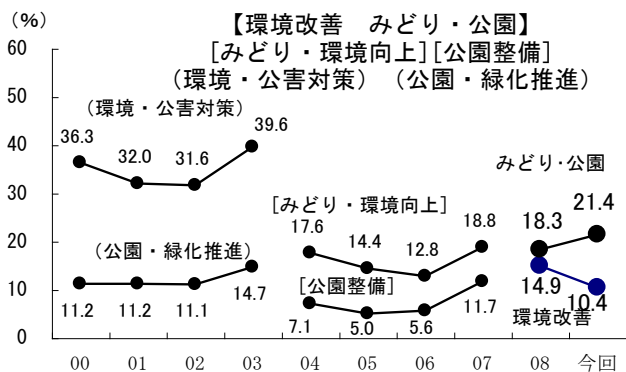
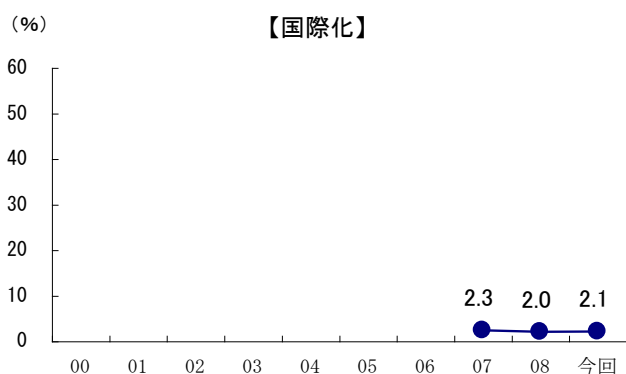
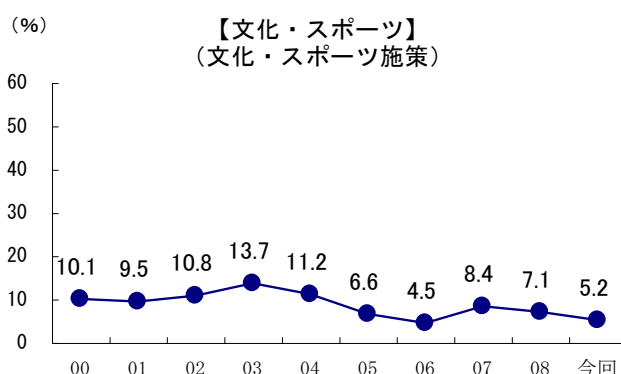
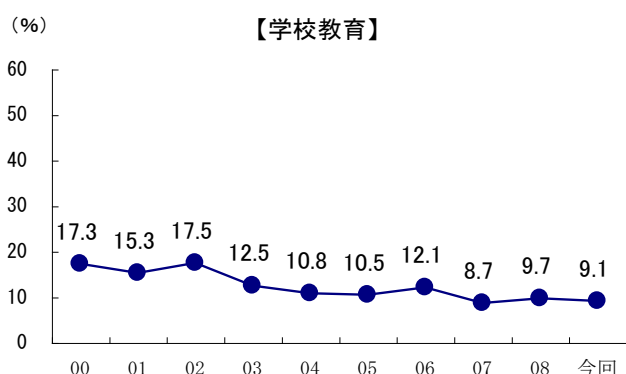
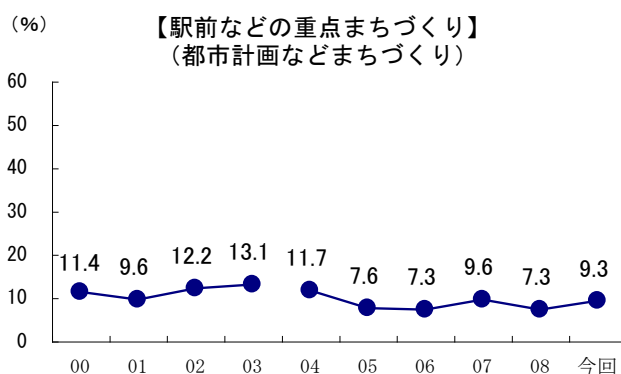
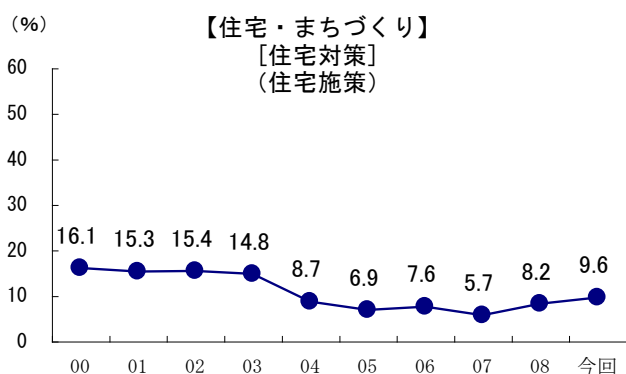
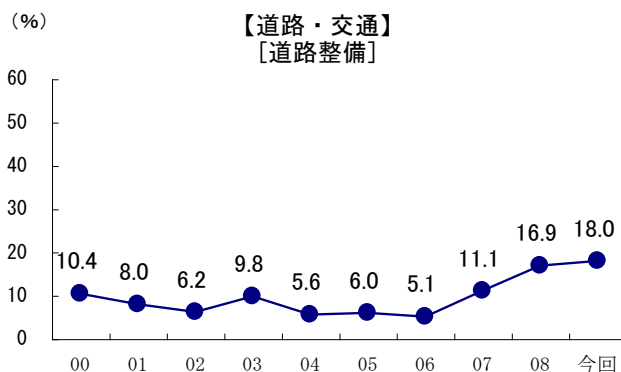
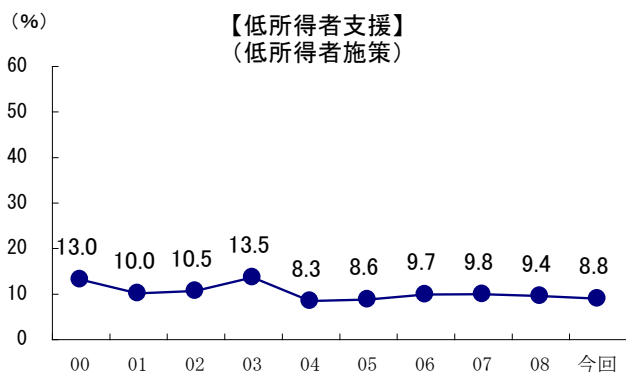


図12-6-③ 区の施策への要望 割合の変化

<注> [] は2007年度までの旧名称

() は2003年度までの旧名称



上位6項目について性別でみると、男女とも順位に違いはあるが同じ項目があげられている。

性・年代別でみると、男女とも50歳以上で「高齢者福祉」が1位となっている。また、女性30代では「子育て支援」が1位となっている。(表12-2)

表12-2 区の施策への要望 性別、性・年代別(上位6項目) (%)

()は回答者数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
総数 (1019)	防犯 28.0	高齢者福祉 25.7	みどり・公園 21.4	道路・交通 18.0	防災 17.3	子育て支援 14.8
男性 (450)	防犯 28.7	みどり・公園 21.8	高齢者福祉 21.6	道路・交通 19.3	防災 17.8	子育て支援 14.2
女性 (550)	高齢者福祉 29.5	防犯 28.0	みどり・公園 21.8	防災/道路・交通 17.3		子育て支援 15.8
男性20代 (81)	みどり・公園 23.5	道路・交通 22.2	防犯 21.0	防災 17.3	駅前などの重点 まちづくり 16.0	産業振興/子育て支援 12.3
30代 (107)	防犯/みどり・公園 30.8		子育て支援 23.4	道路・交通 19.6	住宅・まちづくり 16.8	防災/子ども育成 15.9
40代 (77)	防犯 42.9	道路・交通 22.1	防災/みどり・公園 20.8		子育て支援 15.6	産業振興/健康/住宅・まちづくり 14.3
50代 (56)	高齢者福祉 32.1	防災/産業振興 23.2		防犯 21.4	みどり・公園 17.9	環境改善 12.5
60代 (66)	高齢者福祉 37.9	防犯 25.8	みどり・公園 18.2	健康/道路・交通 16.7		低所得者支援 13.6
70歳以上 (62)	高齢者福祉 48.4	防犯 27.4	道路・交通 22.6	防災 21.0	健康/みどり・公園 12.9	
女性20代 (80)	防犯 27.5	みどり・公園 26.3	道路・交通 21.3	子育て支援 20.0	駅前などの重点 まちづくり 17.5	ごみ対策 16.3
30代 (105)	子育て支援 33.3	みどり・公園 30.5	防犯/子ども育成 25.7		防災 17.1	道路・交通 14.3
40代 (101)	防犯 32.7	高齢者福祉 21.8	みどり・公園 18.8	防災 17.8	道路・交通 16.8	環境改善 15.8
50代 (66)	高齢者福祉 42.4	防災/健康 27.3		防犯 25.8	みどり・公園 22.7	環境改善/ 道路・交通 13.6
60代 (90)	高齢者福祉 44.4	防犯 32.2	道路・交通 23.3	みどり・公園 20.0	防災/健康 16.7	
70歳以上 (107)	高齢者福祉 46.7	防犯 24.3	健康 18.7	防災 16.8	道路・交通 15.0	みどり・公園 13.1

上位6項目について職業別でみると、順位に違いはあるが、すべての職業で「防犯」、「防災」が6位までに入っている。この他学生では、「駅前などの重点まちづくり」が2位にあげられ、「学校教育」、「産業振興」、「ごみ対策」等のさまざまな要望がみられる。また、自営業では「環境改善」が、無職では「低所得者支援」が入るなど、職業別で要望に違いがみられる。(表12-3)

表12-3 区の施策への要望 職業別(上位6項目) (%)

() は回答者数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
総数 (1019)	防犯 28.0	高齢者福祉 25.7	みどり・公園 21.4	道路・交通 18.0	防災 17.3	子育て支援 14.8
自営業 (119)	防犯／高齢者福祉 27.7		防災 19.3	みどり・公園 15.1	環境改善 14.3	子育て支援 12.6
常勤の勤め人 (380)	防犯 31.8	みどり・公園 26.6	道路・交通 20.0	子育て支援 17.6	防災 17.4	高齢者福祉 17.1
パート・臨時・ アルバイト (116)	高齢者福祉 30.2	防犯／子育て支援 22.4		みどり・公園 19.0	防災 16.4	道路・交通 15.5
学生 (41)	道路・交通 36.6	駅前などの重点 まちづくり 24.4	防犯／みどり・公園 19.5		学校教育／防災／産業振興／ごみ 対策 14.6	
家事専業 (151)	高齢者福祉 35.8	防犯 27.8	みどり・公園 24.5	道路・交通 18.5	防災 17.2	子育て支援 16.6
無職 (150)	高齢者福祉 39.3	防犯 26.7	防災 20.0	みどり・公園 18.0	健康 17.3	低所得者支援／ 道路・交通 16.7
その他 (33)	防犯 33.3	高齢者福祉 30.3	道路・交通 21.2	健康 18.2	防災／住宅・まちづくり 15.2	

地域別でみると、すべての地域で「防犯」、「高齢者福祉」が4位までにあげられている。また、南中野では「産業振興」や「低所得者支援」が、上高田・新井では「ごみ対策」があげられるなど地域による違いもみられる。(表12-4)

表12-4 区の施策への要望 地域別(上位6項目) (%)

() は回答者数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
全体 (1019)	防犯 28.0	高齢者福祉 25.7	みどり・公園 21.4	道路・交通 18.0	防災 17.3	子育て支援 14.8
南中野 (112)	高齢者福祉 33.9	防犯 31.3	みどり・公園 19.6	防災 17.9	産業振興 13.4	低所得者支援／ 道路交通／学校 教育 12.5
弥生・東部 (164)	みどり・公園 29.3	防犯 28.0	防災 22.0	高齢者福祉 21.3	子育て支援 15.9	道路・交通 14.0
鍋横・桃園 (103)	高齢者福祉 31.1	防犯 25.2	みどり・公園 24.3	子育て支援 18.4	駅前などの重点 まちづくり 16.5	住宅・まちづくり 15.5
昭和・東中野 (82)	防犯 29.3	みどり・公園 26.8	高齢者福祉 20.7	子育て支援／住宅・まちづくり 17.1	14.6	道路・交通 14.6
上高田・新井 (103)	道路・交通 26.2	防犯 24.3	高齢者福祉 18.4	子育て支援／駅前などの重点 まちづくり 14.6	13.6	ごみ対策 13.6
江古田・沼袋 (127)	防犯 30.7	高齢者福祉 29.9	道路・交通 23.6	防災 18.9	健康 16.5	子育て支援 15.7
野方・大和 (140)	防犯 32.1	高齢者福祉 27.1	防災 22.1	みどり・公園 17.1	子育て支援 15.7	学校教育／ 道路・交通 13.6
鷺宮・上鷺宮 (188)	道路・交通／みどり・公園 26.1	26.1	高齢者福祉／防犯 23.9	23.9	健康 15.4	防災 14.4

区の施策への“評価”と“要望”との関係を見るために、「力を入れていると評価できるもの」を横軸に、「今後特に力を入れてほしいもの」を縦軸にとり、25項目とその他の位置をあらわしたのが以下の図である。

この図では、左下に位置するほど「評価」が低く、「要望」も低い項目であることを、逆に図の右上に位置するものほど「評価」が高く、「要望」も高い項目を意味している。さらに、左上に位置するほど「評価」が低く、「要望」が高い項目であることを、逆に右下に位置するほど「評価」が高く、「要望」が低いことを意味している。

それぞれのカテゴリー別でみると、左上には「防犯」や「高齢者福祉」、「みどり・公園」、「道路・交通」「防災」が位置づけられている。また、右下には、唯一「ごみ対策」が位置づけられている。(図12-7)

図12-7 区の施策への評価と要望 散布図

